

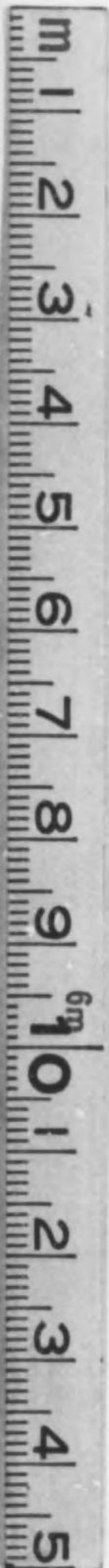
339-690



1200501397245

239

90



始



P-83

昭和四年電氣年鑑

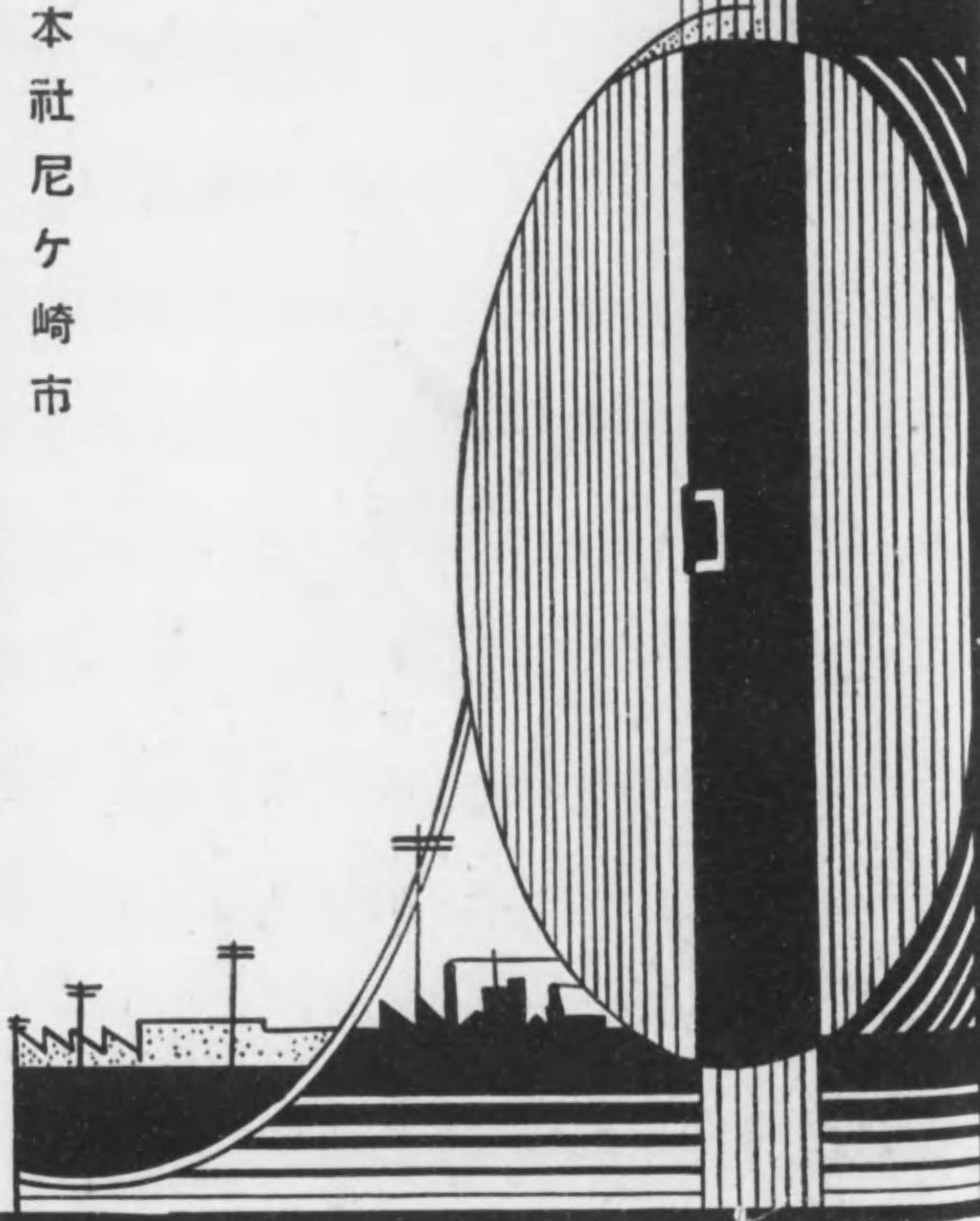
電線と電纜



268

日本電線製造株式会社

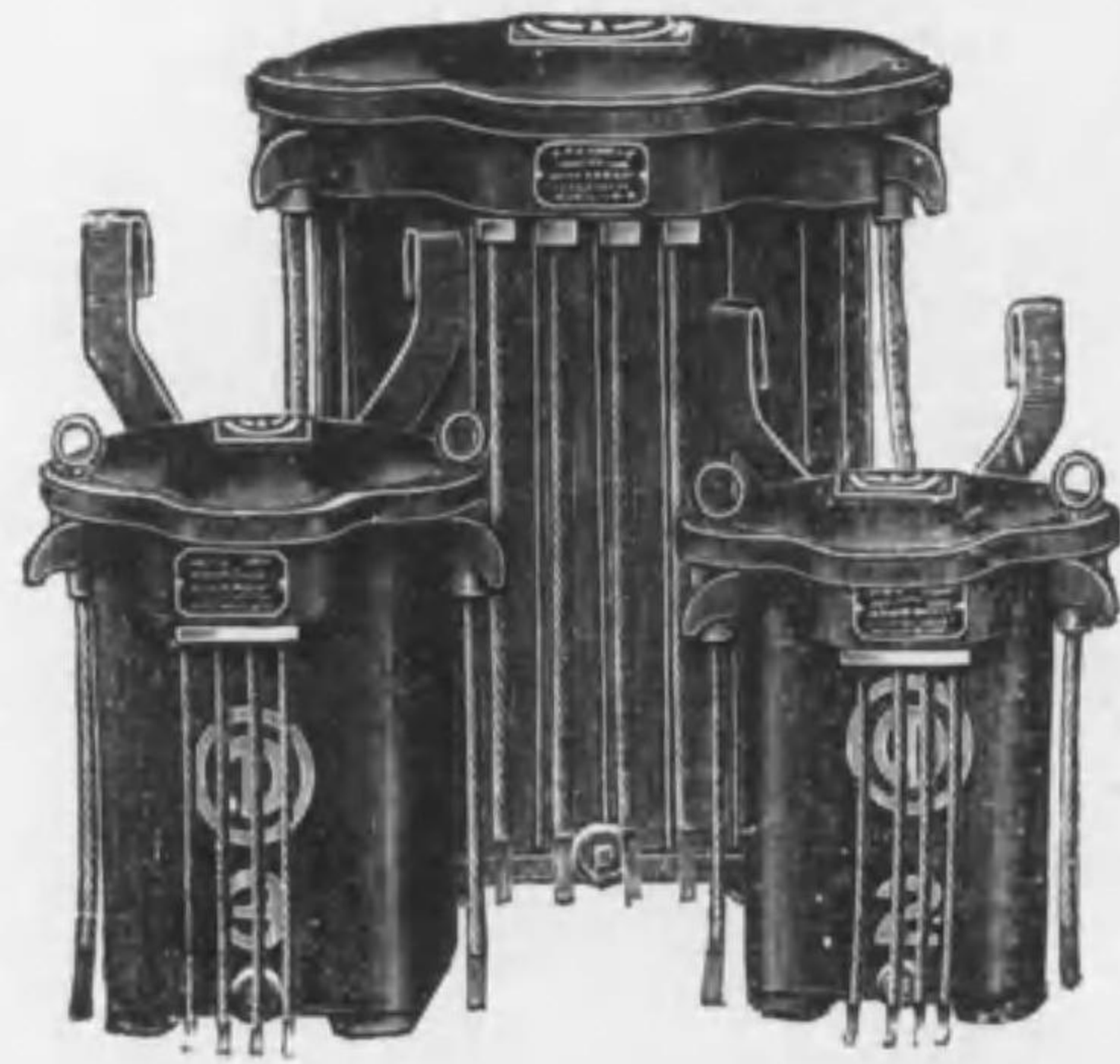
本社 尼ヶ崎市



特一

變壓器

五 全
國 總
割 需
餘 要



四 一
ヶ 年
萬 製
作 高
臺

大阪市東淀川區中津南通

大阪變壓器株式會社

出張所 東京・門司

營業所 西島變壓器株式會社

大型(50KVA-1000KVA)總代理店



METROPOLITAN Vickers

ELECTRICAL

CO., LTD.



View of Metropolitan-Vickers Trefford Park Works.

M·V·社の製品

- 一、發電所、變電所用諸機械。
- 一、電氣鐵道諸機械、配電盤類。
- 一、諸工業用電熱器具、メーター類。
- 一、諸工業用電動機、電熱器類。
- 一、家庭用電氣器具、ランプ、無線電話類。
- 一、電氣絕緣材料並ニ塗料類。

英國メトロポリタン

ヴキツカース電氣會社

日本總代理店

株式會社 高田商會

本店 東京市麴町區丸ノ内二丁目六番地

電話丸ノ内(三)一八二〇、一八二一

支店 大阪、名古屋、小樽、門司、倫敦、紐育

富 豐 庫 在

電氣用薄鋼板
電氣絶縁材料 直輸入販賣
一般電氣工業材料

八幡製鐵所硅素鋼板特約販賣

高島屋飯田株式會社

本社 東京市京橋區西紺屋町壹番地
電話京橋(五六) (自一一二二一
支店 大阪市東區橫堀一丁目十一番地
海外支店 倫敦 紐育 ブエノスアイレス シドニー
出張所 名古屋市中區天場町五ノ切五西東陽ビルディング三階

電 線 電 纜



藤倉電線株式會社

本社及工場

東京市深川區平久町二ノ六

電話七三
(本所)
五四三二一
特特
國國
〇九八七六

出張所

大阪市西區南通二丁目
名古屋市中區大津町二丁目
福岡市上洲崎路
上海英租界四川路

代理店

三井物産株式會社
井物産株式會社
ヒールンク會社

鳥羽電機



1噸ロープラットフォーム
蓄電池式運搬車

500 H.P. 3,300V. 60~180 v.p.m
全密閉型油入式三相同期電動機
マクネチング クラッチ附

本工大東 名古屋 門司 吳須賀 大連 奉天 佐世保 京都府南大門通二丁目五番

本工大東 名古屋 門司 吳須賀 大連 奉天 佐世保 京都府南大門通二丁目五番
 本工大東 名古屋 門司 吳須賀 大連 奉天 佐世保 京都府南大門通二丁目五番
 本工大東 名古屋 門司 吳須賀 大連 奉天 佐世保 京都府南大門通二丁目五番



株式 神戶製鋼所
鳥羽電機部

營業品目

直 流 機 空 氣 壓 搾 器 用 電 動 機、電 車 用
 交 流 機 同 期 進 相 機、誘 導 電 動 機、起 重 機 用 電 動 機、
 變 流 機 單 相 小 型 電 動 機、鑛 山 其 他 特 殊 用 電 動 機
 管 制 裝 置 變 壓 器、誘 導 調 整 器
 特 殊 機 低 壓 高 壓 特 別 高 壓 用 配 電 盤、鑛 山 及 工 場 用
 開 閉 器 及 配 電 兩 用 雷 器 具、保 安 裝 置 一 式
 發 電 機、蒸 汽 及 重 油 機 關 直 結 用 交 直 流
 發 電 機 電 氣 運 搬 車 及 牽 引 車

キヨクト



極東商事株式會社

東京市外下落合

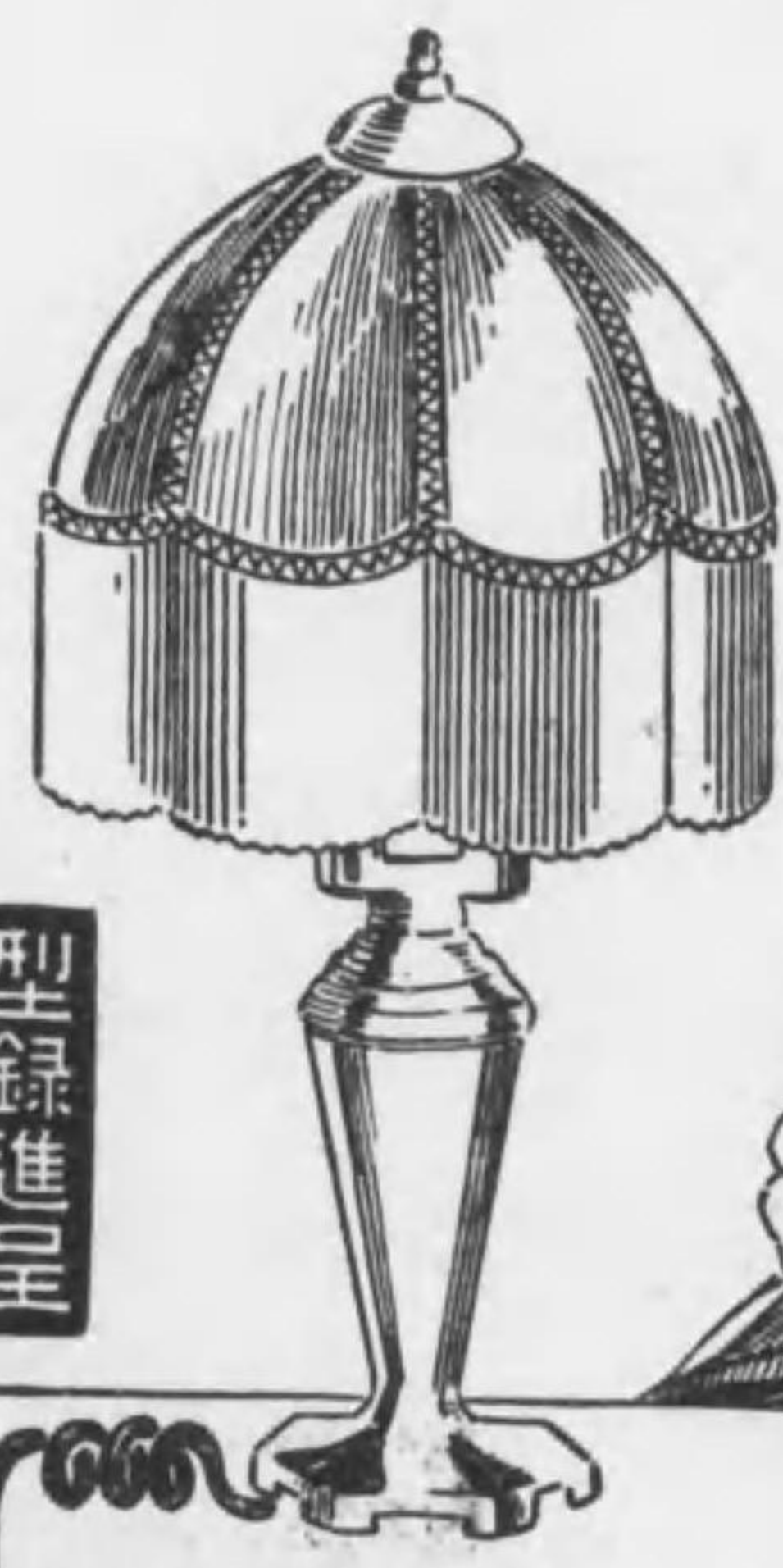
日本ソリテチット株式會社
發電所・水路・舗道・建設
工事材料「ソリテチット」特約販賣店

第一工場 東京市外下落合九七番
電話牛込區三二五番
第二工場 東京市深川區猿江町二七
電話本所二〇五三番

出張所 大阪市 神戸市
金澤市 仙台市
九州 鳥栖



諸官廳
指定品



型録進呈

營業品目
高級配線器具
各種スタンドランプ

セーリス商會

東京市日本橋區通三丁目四番地
電話日本橋二五四三番



特八

營業科目

電氣諸機械、電線、器具、材料、販賣
工事請負設計監督
其他電氣に關する業務一切
特許龜山式碍子型開閉器特約代理店
特許サイト式絶對防水外燈關西一手販賣



株式會社
松重電機商店

大阪變壓器株式會社
日本電線株式會社
東洋フューズ株式會社
大阪電球株式會社
特約品
販賣店

本店 大阪市東區船越町二丁目

電話東長
二二二九九九六五四

出張所 和歌山市屋形町 電話一四四三番

電氣絶縁材料類
電燈器具材料類
電鐵用器具材料類
有線無線電信電話機材料類
ニクローム線及電熱器類
三菱扇風機類
計器測定器類

コムバウンド類
工事用器具材料類
電氣時計時報器類
電燈電力工事請負類
三菱電熱器類
メガー・ブリツヂメガー
架線用材料類

アスベスト製品及材料類
カーボン製品類
電線及電纜類
電氣機械原動機類
三菱モートル類
電球類
ラヂオ用機械器具類



神奈川電氣株式會社

營業案内及
ニクローム線
三菱モートル
説明型錄贈呈

目科業營

電氣、蒸汽、瓦斯
水力及工業用諸
機械、器具材料
電線、電球、絶縁
材料直輸入
製造販賣並
工事設計
監督請負業

本社 東京市芝區中門前二丁目一番地
電話一〇二九〇、〇〇二九四、〇〇二九五
芝 電話一〇二九三、〇〇二九四、〇〇二九五

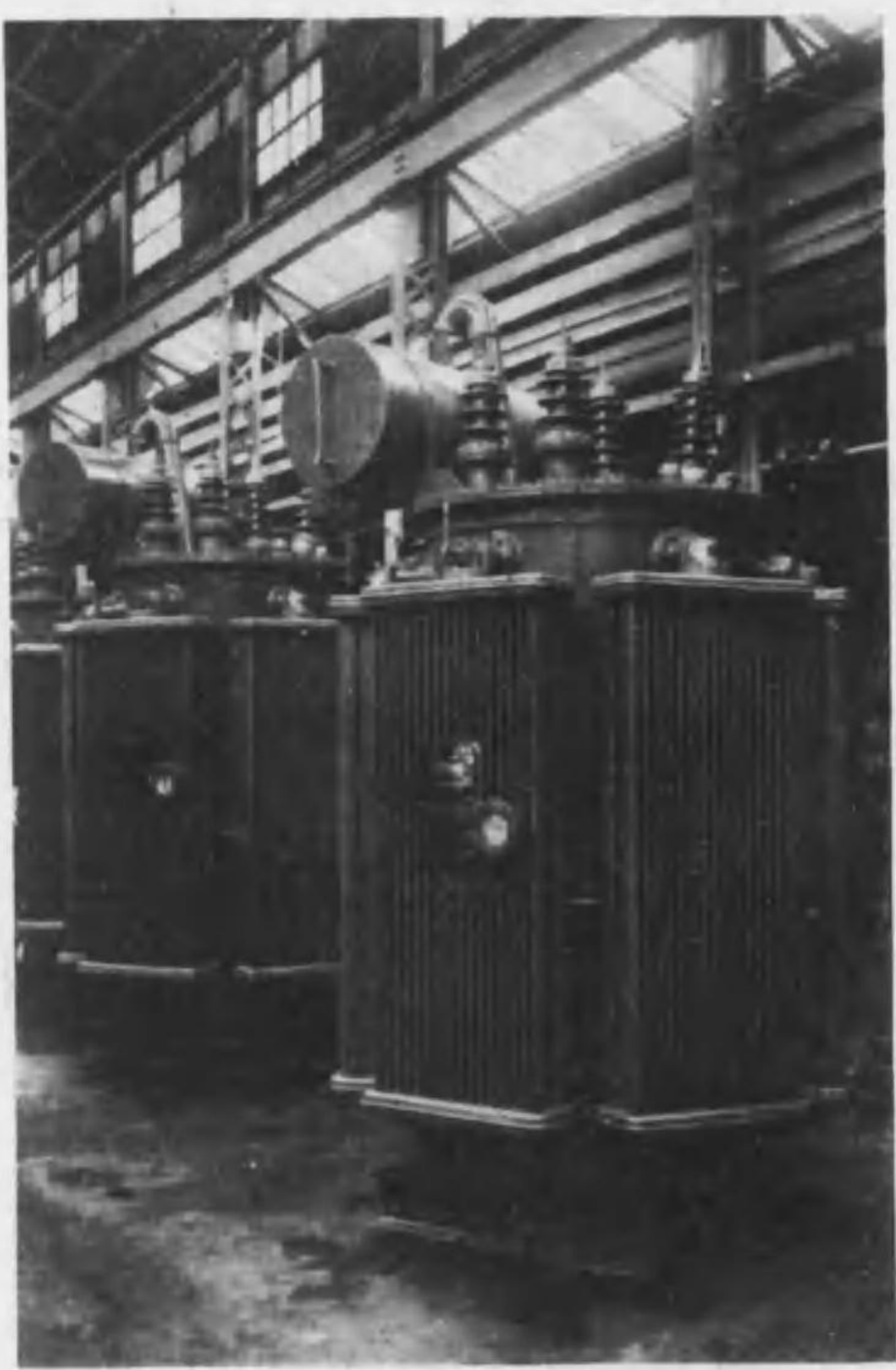
支店 大阪市東區瓦町二丁目八番地
電話本局長三二五三、二〇二五
門司市東本町一丁目三一〇二番地
電話門司特長七五二〇二一

出張所 京城、臺北、大連、新舞鶴
及代理店 橫須賀、吳、佐世保、長崎、熊本

工場 東京市外濫谷町田每八番地
電話青山六七四六



各種開閉器
配電線
送電線
電壓調整機
油入遮斷器
配電盤
變壓器



容量
周波數
二次電壓
一次電壓

二、〇〇〇 「グオルトアムペアー」
五〇 「サイクル」
三、五〇〇 「グオルト」
三、五〇〇〇 「グオルト」

オイルコムサーベーター付
ラヂオエーター付

單相油入自冷式屋外用變壓器

株式會社 高岳製作所
名古屋

關東水力電氣株式會社水壓鐵管及サージタンク



鐵管内徑十五呎、全長四千八百尺、總噸數約五千噸
サージタンク高サ二百八十六呎、タンク内徑四十二呎

最近主ナル納入先

- | | |
|-------------|-------------|
| 關東水力電氣株式會社股 | 延岡電氣株式會社股 |
| 山形電氣株式會社股 | 三河水力電氣株式會社股 |
| 信濃電氣株式會社股 | 東海紙料株式會社股 |
| 東信電氣株式會社股 | |
| 群馬水電株式會社股 | |
| 朝鮮水電株式會社股 | |

營業種目
水壓鐵管 制水門 鐵塔
橋梁 ローリングダム 專門

株式會社 酒井鐵工所

營業所 大阪市港區抱月町四丁目十三番地 電話西(長二〇二一)番
並工場 大阪市港區抱月町四丁目十番地 電話西(長二〇二一)番
第二工場 大阪市港區抱月町四丁目十番地
出張所 東京市麹町區丸ノ内三ノ二(丸ノ内仲通三號館)電話九ノ内(七八五)番

NATIONAL VULCANIZED FIBRE COMPANY

Paper base
Canvas base

PHENOLITE

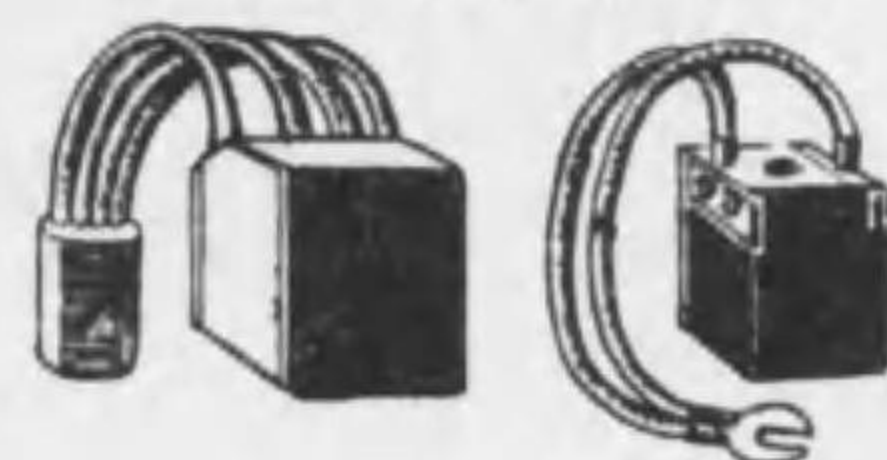
SHEETS
RODS
TUBES
SHAPES

フエノライト板

高級絶縁材料

布入ノ外紙質ニテ板、棒、圓筒アリ
品質ト價格ニ於テ他ノ追隨ヲ許サザル逸品

WORLD FAMOUS RINGSDORFF CARBON BRUSHES NONE BETTER



世界的ニ確認セラレタル標準品 リングズドルフカーボンブラシ

電氣用各種
カーボンブラッシュ
及ピカーボンホルダー

贈呈 説明書

電機材料直輸入 石川商會

九〇一目丁一通濱嶋堂區北市阪大
三五四七・二三六北話電
店支京東
八一町村田區芝市京東
五二〇三芝話電

東京製線株式會社

遞信省・陸海軍省・鐵道省
指定工場

川崎第一工場
神奈川県川崎市古川通六五
電話川崎七〇番

東京市麹町區有樂町三丁目十番地
電話丸ノ内(三)三四九一—三四九五番

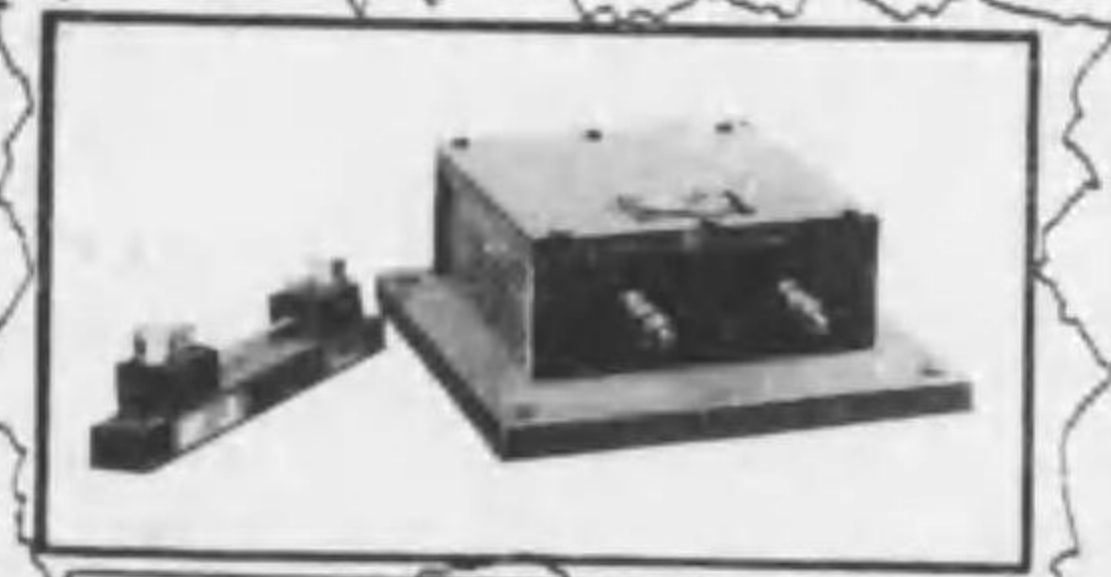
川崎第二工場
神奈川県川崎市新川通一
電話川崎一五〇番

裸銅線 ▲各種被覆電線電纜
▲エナメル線ハ
斯界ノ權威

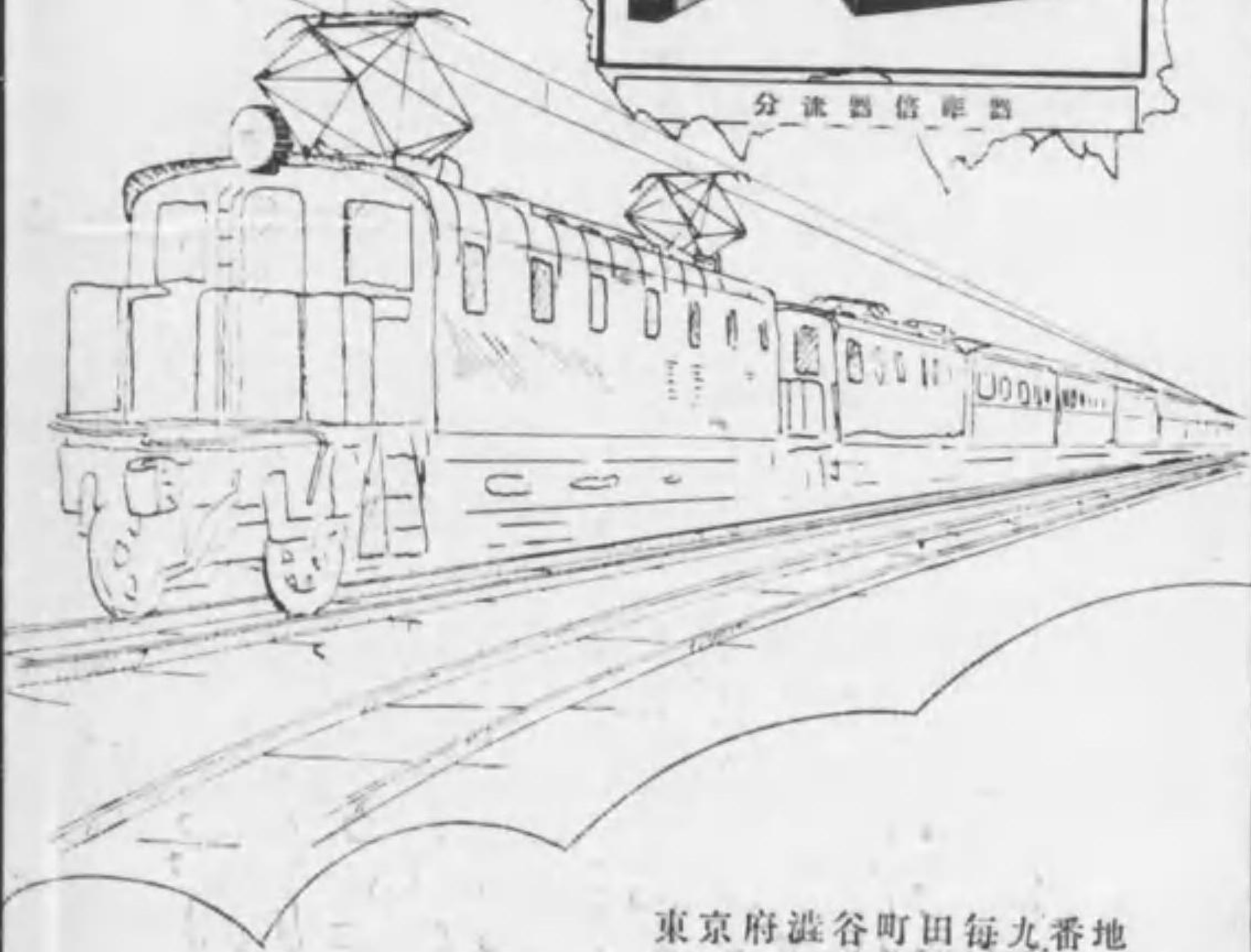
YEW

鐵道省規格による横河電機の

電流計及電壓計



分流器倍率器



東京府澁谷町田每九番地
株式會社 横河電機製作所

電話澁山 { 三三六〇
 五八九三

ニガイタ ディゼーゼル機關



堅牢・確實・經濟的原動機ナリ

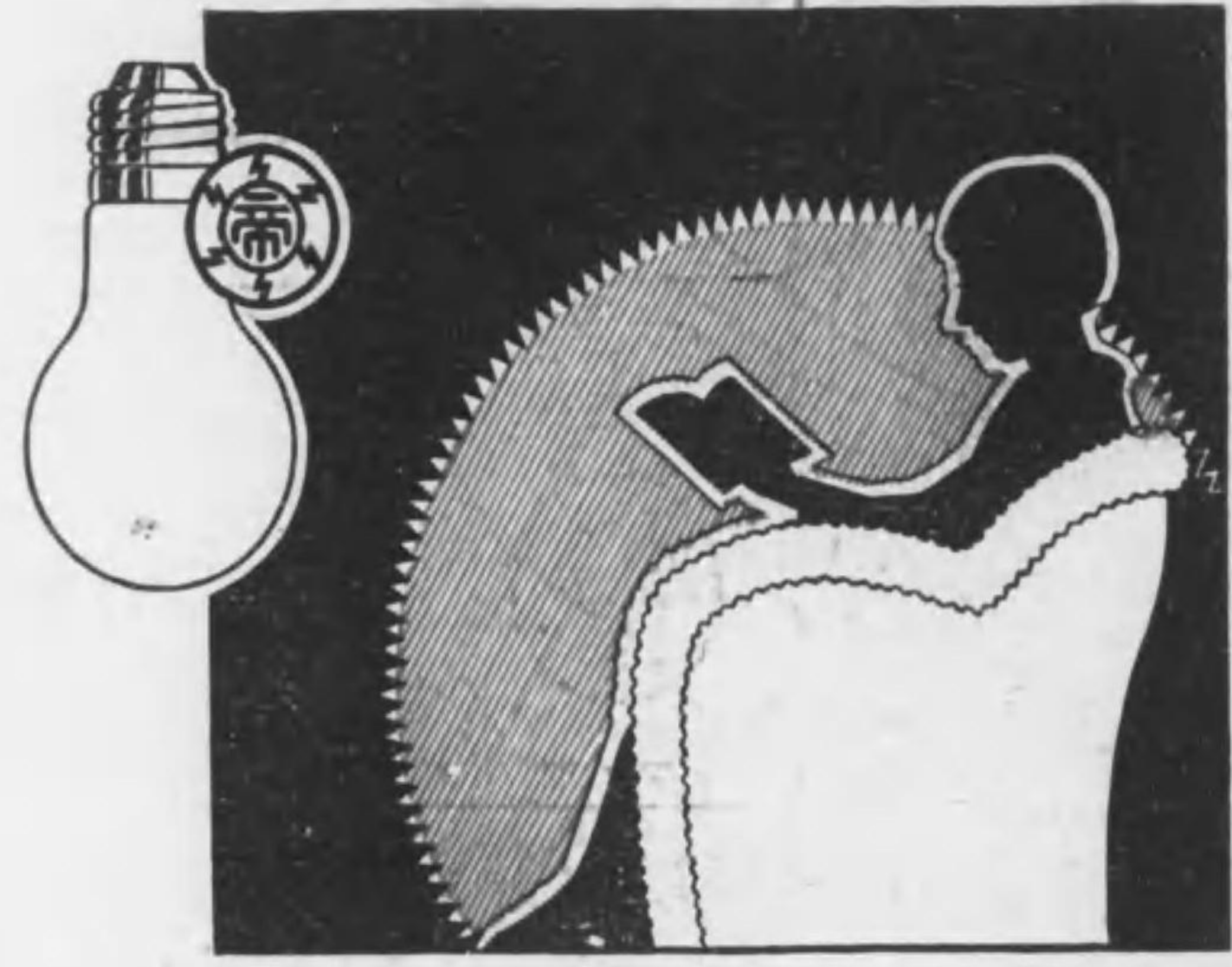
最理想的發電機用原動機ナリ

陸用二千馬力ニガイタディゼーゼル機關
(新瀉電力株式會社發售直結用)

弊社ハ本邦最初ノ國產產業用ディゼーゼル機關製作ナリ
國產產業用ディゼーゼル機關製作數四百五十萬馬力ヲ突破セリ

株式會社
新瀉鐵工所

本社 東京市丸の内三十二號一館
出張所 大阪市西區江戶堀北通一十一
朝鮮京城府旭町一十二



製品

- 帝國ランプ
- 養蠶ランプ
- 帝國電流協定器
- 帝國式柱上用油入開閉器
- T S式コウラシニブリッチ
- 配電盤
- 計器類
- 帝國瓦斯入ランプ
- 帝國列車用ランプ
- 帝國信號用ランプ
- キング電熱器

帝國電氣株式會社

電話高輪(四六四八、五〇六五、六三八二、六三八三)

本社 東京市外北品川小關五三六番地

支店出張所 仙臺、大坂、静岡

第一工場 東京市外北品川小關五三五一七

第二工場 東京市外淀橋町柏木九九五

第三工場 東京市外北品川宿五四七

代理店 東京、大阪、神戸、京都、名古屋、博多、熊本、門司、大連

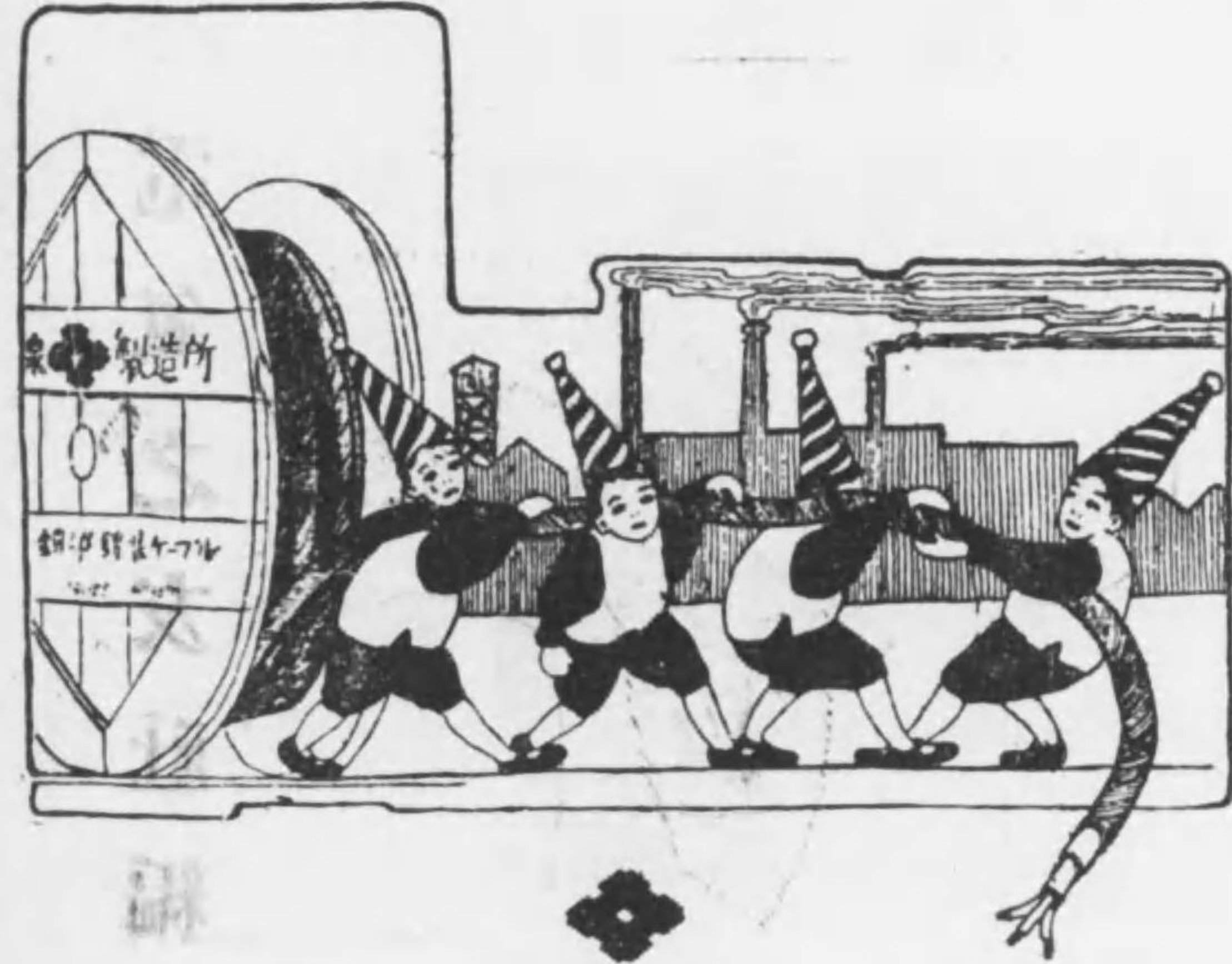
9-83



昭和四年電氣年鑑

電氣之友社編纂

合資
會社
電氣之友社發行



株式會社 住友電線製造所

大阪市此花區恩貴島南之町六十番地

振替口座大阪二五九五一番

停電防止 (Continuity of Service) は刻下の急務であります

送電に配電に通信に信用ある弊社製電線並にケーブルを御使用あつて電線路の障碍を除去せられん事をお勧め致します

凡例

- 一、昭和三年電氣界 は同年中に於ける本邦電氣界に起れる主要事項を電氣之友誌上より抄録し又は更に調査せるもの、電信電話、ラジオ、電燈電力、電氣鐵道諸會社の設立合併譲渡等より、電氣化學工業、電氣機械器具製造並に商況、學事會合、講演、出版物、及法令の改正其他昭和三年に於ける電氣界の大勢を知るべき一切の事項を網羅す。
- 一、各種の統計表 は朝鮮、台灣、樺太等を加へし外昨年版より増補せし事項多し。
- 一、電氣事業一覽 は昭和三年二月末日迄の回答に依れるものなり、尙原稿締切迄に回答を得ざりし分は遺憾ながら前年度電氣年鑑に依り掲載せり、尙五十音順索引の外尙京濱、京阪神、地方別索引を掲載す。
- 一、電氣商工業一覽 は全國に亘りて照會をなし昨年版より約八百の事業者を増加せり、更に營業種別一覽表を加へたり。
- 一、電氣に關する官廳職員、學校、學會、協會並組合、試験所研究所、其他の各一覽 昭和四年三月末現在調査なり。
- 一、昭和四年三月末後及印刷中に於ける異動及變更は翌年の電氣年鑑に之を訂正すべし。



東京電氣株式會社本社
マツダランプ製造元
 東京電氣株式會社主要製品
 神奈川県川崎市

- △新マツダランプ
- 新マツダ瓦斯入電球
- △マツダランプ
- マツダ瓦斯入電球
- △マツダ自動車電球
- 投光器
- △エキステリア
- サテンセード
- △積算電力計
- トロジヤリヤ
- △ソケット
- セードホルダー
- △スキッチ
- ハイウエー・ユニット
- △ケネトロン
- 水銀ランプ
- △ギバ体温計
- △ギバ、レントゲン管球
- クーリツ管球
- △無線電信電話用真空管サイモトロン
- 各種
- △無線電話用受信機
- サイモホン
- △研究所科學製品
- サイン用放電管
- ネオンランプ
- C D X 齒科用レントゲン装置
- タンガーバルブ
- 抵抗式タンガー充電器
- 光學高溫度計
- 熱電氣高溫度計
- マグネシア耐火管及坩堝
- 螢光燈
- 標準カドミウム電池
- ギバ螢光板
- 熔融水晶管
- タンガー整流球
- 石管水銀燈
- ブラウン管
- 光電池

第一版の序

文化の進運は政治に、外交に、實業に、益々其複雑多端なる活躍を要求して止まる處を知らず、殊に日常吾人の生活に直面する實業界は商業に、工業に、其變轉旦夕を待たずして分業的交渉の繁激なる、目を一の電氣事業界に投じてすら尙且然り、況や一業を以て廣く他業の間に介在し、而も敏活有効なる努力を持して勝利者たらんこと、井底望空袖手偷安を許さざるは云ふまでもなし、近年各種の年鑑旗出して一般社會が新聞雜誌と共に年鑑の利用を益々必要視するに至りたるは蓋し自然の要求に出づるものにして、年鑑の使命また重大なりと云ふべし。

弊社は夙に電氣事業一覽の名稱の下に各國電氣界諸種の事項を詳記して之を讀者に頒ちたる以來、毎年一回改訂發行することゝし、大正七年其名稱を電氣年鑑と改め掲載事項を増加し、電氣年鑑編集部を新設して係員數名を置き専心内容の刷新に力めり、電氣年鑑が過去の歴史的縱觀と、現在の狀況報告的横觀とを以て電氣界の紙上表現として遺憾なきを期するは弊社同人の不斷の目標なり、然れども内容の充實と記事の正確とに加ふるに材料の最新を期するは容易の業にあらずして多大の犠牲を拂ひつゝも未だ完璧せるものと云ふ能はざるは勿論なり、追加すべき項目、又は改良すべき事項は逐年改善の實を擧げ、有益なる材料をより多く列記登載し、電氣年鑑として以て名實共に斯界關係者の好伴侶たらしめんことを期す。

編者識

昭和四年電氣年鑑總目次

○昭和三年中本邦電氣界	一	本頁	目次頁
○昭和三年中電氣事業要覽	一	一	一
○昭和三年度末各種統計	五七		
○全國電氣事業會社一覽表(府縣別)	一七		
○一萬キロ以上の發電所表	一四六		二
○東京及大阪に本社、支社、出張所設置の他府縣電氣會社一覽表	一四八		
○電氣事業一覽	一五一		二
○電燈電力電氣鐵道	一五一		
○電氣化學	四六三		一五
○官應用電氣	四七六		一六
○自家用電氣	四七九		一六
○電氣商工業一覽(商工會社個人商工)	五一九		一九
○官廳電氣に關する職員一覽	八五一		三三
○電氣に關する學校一覽	八七一		三三
○電氣に關する學會協會一覽	八九九		三六
○電氣に關する組合一覽	九一五		三六
○電氣に關する試驗所研究所一覽	九一七		三六
○電氣雜誌及新聞社一覽	九二五		三六
○電氣圖書一覽	九二九		三六

昭和四年電氣年鑑

明治廿四年創刊 第三種郵便物認可 (毎月一日十五日二回発行)

電氣之友

現代に於ける電氣の位置、其勢力、其れは考へて見ても餘りに大きい。と同時に如何に其れが大きく有らうとも何と考へて見たい世運の極まり無き進歩、果てし無い電氣の應用、若し其れを完全に縮圖し得るものがあるとしたならば、其れは取りも直さず電氣之友である。斯う考へるときに、電氣之友の使命は頗る重大である。創刊に三十有年、開闢した時の力。電氣之友は常に永遠の進路を開いて居る。電氣之友は斯うした自負の下に、常に電氣新人、電界學才、電界中堅の愛護の輪がである。その新装よりは號を逐ふて益實現しつゝある。

一冊	四拾五錢	送料貳錢
六冊前金	貳圓七拾錢	送料共
十二冊前金	五圓拾錢	同
廿四冊前金	九圓七拾錢	同
同	拾六圓	同
同	同	同

一價定一
 冊
 三ヶ月
 半年分
 一年分
 (外國)

會社 電氣之友發行社
 東京市東區橋本五丁目一〇番地
 東京市北區三軒五郎一丁目三番地
 大阪市東區南船場二丁目三番地
 京都府京都市中區錦町三丁目三番地
 名古屋市東區東區三丁目三番地
 通座銀) 六町六金南區橋京市東
 三〇二二京東替中島堂六
 三日丁二阪六替
 八四五三三三六替

昭和三年中本邦電氣界目次

電燈電力電氣鐵道	一	全國地方鐵道現況	四七
新設事業會社	二	電氣化學工業	四七
開業事業會社	三	電氣化學製産高	四七
準用事業認定	四	電氣商工界	四七
新設發電所	五	電氣機械器具材料其他生産高	四七
落成發電所	六	電氣労働爭議一覽表	四七
發電所出力變更	七	電氣労働團體設立並解散一覽	四七
發電所廢止	八	特許	四九
合併讓渡認可	九	特許及實用新案登錄出願及登錄件數類別表	四九
合併讓渡終了	一〇	電信電話	五〇
水利使用許可	一一	内地電信取扱局所數、臺灣、其他の電信取扱局所數、電話取扱局所數、電報通數、電話加入者數、電信線路、電話線路	五〇
供給區域擴張及軌道延長	一二	ラヂオ	五〇
資本ノ増減	一三	日本放送協會各支部聯取者	五〇
社債	一四	日本放送所一覽	五〇
昭和二年末本邦電氣事業統計	一七	學事及會合	五九
事業種類別事業類、事業種別發電力、原動力別發電力、電燈需用狀況、電力需用狀況、電氣鐵道電氣事業資本金	一七	學事會合一覽	五九
臺灣電氣事業統計	一八	各學校電氣科卒業生一覽	五九
樺太電氣事業統計	一九	電氣事業主任技術者資格檢定試驗合格者	五九
朝鮮電氣事業統計	二〇	資格檢定合格者	五九
滿洲電氣事業統計	二一	同	五九
電氣事業故障件數	二二	私設無線電信從業者資格檢定試驗合格者	五九
電氣事業災害數	二三	第八回實業學校教員檢定試驗合格者	五九
各府縣電柱稅率一覽	二四	法令	六八
鐵塔の課稅區別表	二五	人事	七二
扇風機檢査表	二六	電氣出版界	七三
各府縣發電水利使用表	二七		
全國地方軌道現況	二八		

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical projects and power plants for 1929, categorized by region (e.g., 上ノ保電氣, 桂電燈, 本更津電燈, etc.) with page numbers.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical projects and power plants for 1929, categorized by region (e.g., 慶州電氣, 小南電燈, 參宮急行電鐵, etc.) with page numbers.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical projects and companies, categorized into sections like '七之部' (Section 7), '夕之部' (Section 8), and '予之部' (Section 9). Includes entries such as '常北電氣鐵道(茨城)', '大正電氣(福井)', and '豐橋電氣鐵道(愛知)'.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical projects and companies, categorized into sections like 'ツ之部' (Section 10), 'テ之部' (Section 11), and 'ト之部' (Section 12). Includes entries such as '鎮南浦電氣(朝鮮平安南道)', '東京電燈(東京)', and '南海電力(和歌山)'.

昭和四年電氣年鑑目次

二之部 野母電燈(長崎) 野津原電氣(大分) 野邊地電氣(青森) 能美電氣(富山) 能越電氣(富山) 能勢電氣(兵庫) 濃勢電力(愛知) 延岡電氣(宮崎) 八之部 阪神急行電鐵(大阪) 阪神電氣鐵道(兵庫) 阪和電氣鐵道(大阪) 阪堺電氣鐵道(大阪) 羽幌電氣(北海道) 白山水力(福井) 白山電氣鐵道(石川) 伯陽電氣(鳥取) 柏根登山鐵道(神奈川) 箱島播磨鐵道(兵庫) 播磨鐵道(兵庫) 播磨電氣鐵道(兵庫) 播磨電氣鐵道(長野) 濱益電氣(北海道) 博多灣鐵道汽船(福岡) 花巻温泉電氣鐵道(岩手) 函館水電(北海道) 後橋電氣(朝鮮全羅南道) 范家屯電氣(南滿洲) 八丈電氣(東京) 八王子電氣鐵道(東京) 八崎電氣(群馬) 八戸水力電氣(青森) 羽津發電(群馬) 羽東川電氣(兵庫) 東白浦電氣(樺太) 廣島電氣(廣島) 廣島瓦斯電軌(廣島) 廣瀨鐵道(鳥根) 廣尾電氣(北海道) 日立電力(茨城) 日高電燈(北海道) 日野川水力電氣(福井) 日橋水電(福島) 水川電氣(東京) 水坂電氣(岐阜) 平戸電燈製水(長崎) 平戸電燈(長崎) 尾北鐵道(愛知) 飛騨電燈(岐阜) 飛越電氣(富山) 姫島電氣(大分) 姫川電力(新潟) 弘形電氣(愛媛) 弘前電氣(青森) 比叡山鐵道(滋賀) 琵琶湖鐵道汽船(滋賀) 肥前電氣鐵道(佐賀) 肘折電氣(山形) 檜枝岐水力電氣(福島) 鏡子高電燈(關東州)

昭和四年電氣年鑑目次

北海道電燈秋田事務所(秋田) 北海道電燈(北海道) 北海道合同電氣(北海道) 北海電力電氣(北海道) 北海道炭礦汽船室蘭電燈所(北海道) 北道電氣(靜岡) 北洋電氣(北海道) 北陸共同電氣(石川) 北但電氣(兵庫) 北土水力電氣(高知) 北薩電氣(鹿児島) 北越水力電氣(新潟) 北滿電氣(滿洲) 北青電氣(朝鮮咸鏡南道) 北鮮商事(朝鮮咸鏡南道) 本庄電氣鐵道(埼玉) 本溪湖煤鐵有限公司(南滿洲) 本郷電氣製材(愛知) 鳳來寺鐵道(愛知) 鳳至電氣(石川) 母畑水電(福島) 洞川電氣(奈良) 洞山川電力(高知) 保倉川電氣(新潟) 奉天電車(滿洲) マ之部 松坂電氣鐵道(三重) 松島電車(宮城) 松山水力電氣(新潟) 馬野川水電(三重) 馬見原水力電氣(熊本) 馬淵川電氣(岩手) 眞狩電氣(北海道) 丸山電氣合資(群馬) 丸子鐵道(長野) 摩耶鋼索鐵道(兵庫) 増田水力電氣(秋田) 前佐渡水電(新潟) 滿鮮殖産電氣(朝鮮) 滿洲電氣(滿洲) 三井礦山(樺太) 三原田電氣(群馬) 三方原水力電氣(靜岡) 三河鐵道(愛知) 三河水力電氣(愛知) 三國蘆原電鐵(福井) 三重合同電氣(三重) 三重合同電氣(德島支店) 三重電氣鐵道(岐阜) 美濃電力(岐阜) 美濃水電(山口) 美馬水力電氣(德島) 御藏入電氣(福島) 見島電燈(山口) 水戸電氣鐵道(茨城) 水波電氣鐵道(富山) 水窪州水力電氣(愛知) 水間鐵道(大阪) 宮川電燈(山梨) 宮川電業所(和歌山) 宮ノ下水力電氣合資(神奈川) 宮古電燈(沖繩) 宮崎電氣鐵道(宮崎) 宮崎電氣鐵道(宮城) 宮城送電興業(宮城) 妙島鋼索鐵道(兵庫) 南朝鮮電氣(朝鮮全羅北道) 南滿洲電氣(滿洲) 南滿洲鐵道撫順炭礦(滿洲) 武蔵野鐵道(埼玉) 陸奥電力(岩手) 村上水電(新潟) 日黒浦田電鐵(東京) 日黒玉川電氣鐵道(東京) 日屋電氣(青森) 明治水力電氣(大分) 盛岡電燈(岩手) 茂住電燈(岐阜) 茂木鐵道(長崎) 森水力電氣(大分) 門司築港(福岡) 元泊電燈(樺太) 水浦電氣(朝鮮全羅南道) 山田電燈(兵庫) 山印電燈(千葉) 山中電燈(山梨) 山鹿水力電氣(熊本) 山武電燈(千葉) 山邊電氣(長野) 山崎水電(富山) 山形電氣(山形) 山川電氣(福島) 八瀨川水力電氣(栃木) 八重山電氣(沖縄) 柳谷登山鐵道(京都) 矢作水力(岐阜) 野積川水力電氣(富山) 屋久島水力電氣(鹿児島) 屋島登山鐵道(香川) 元泊電燈(樺太) 水浦電氣(朝鮮全羅南道) 山田電燈(兵庫) 山印電燈(千葉) 山中電燈(山梨) 山鹿水力電氣(熊本) 山武電燈(千葉) 山邊電氣(長野) 山崎水電(富山) 山形電氣(山形) 山川電氣(福島) 八瀨川水力電氣(栃木) 八重山電氣(沖縄) 柳谷登山鐵道(京都) 矢作水力(岐阜) 野積川水力電氣(富山) 屋久島水力電氣(鹿児島) 屋島登山鐵道(香川) 湯原水力電氣(大分) 湯原水電(岡山) 橋原水力電氣(愛媛) 勇拂電燈(北海道) 雄基電氣(朝鮮咸鏡北道) 吉野鐵道(奈良) 吉野山架空ケーブル(奈良)

昭和四年電氣年鑑目次

吉野水電(奈良)……………204
 吉田川水力電氣(岐阜)……………205
 米山水電(新潟)……………206
 四日市鐵道(三重)……………207
 四倉電氣(福島)……………208
 米子電車軌道(鳥取)……………209
 養老電氣鐵道(岐阜)……………210
 米代川水電(秋田)……………211
 兩毛電氣(群馬)……………212
 兩毛電氣(千葉)……………213
 兩野電氣製氷(栃木)……………214
 兩河內電燈(靜岡)……………215
 兩羽電氣(山形)……………216
 利尻水力電氣(北海道)……………217
 遠陽電燈公司(南滿洲)……………218
 龍泉寺鐵道(愛知)……………219
 ル之部……………220
 留壽都電氣(北海道)……………221
 レ之部……………222
 麗水電氣(朝鮮全羅南道)……………223
 靈法電氣(朝鮮慶尙南道)……………224
 六甲越有馬鐵道(兵庫)……………225
 芦安電燈(山梨)……………226
 口之部……………227
 熊村營(靜岡)……………228
 口明方村營(岐阜)……………229
 來島村營(島根)……………230
 葛卷村營(岩手)……………231
 兼二浦面(朝鮮黃海道)……………232
 コ之部……………233
 高知縣電氣局(高知)……………234
 神戸市營(兵庫)……………235
 香燒村營(長崎)……………236
 サ之部……………237
 札幌市電氣局(北海道)……………238
 酒田町電氣部(山形)……………239
 崎口村營(長崎)……………240
 沙里院面(朝鮮黃海道)……………241

(2) 府縣市町村營之部(町村組合)

了之部……………242
 足尾町營(栃木)……………243
 秋野村營(奈良)……………244
 明世村營(岐阜)……………245
 明知町電氣事務所(岐阜)……………246
 朝姪村營(鹿兒島)……………247
 イ之部……………248
 伊香保町營(群馬)……………249
 石川村營(京都)……………250
 池田村營(群馬)……………251
 大原村營(靜岡)……………252
 ウ之部……………253
 宇治町營(京都)……………254
 梅ヶ島電業所(靜岡)……………255
 大阪市營(大阪)……………256
 大石村營(山梨)……………257
 落合村營(岐阜)……………258
 落部村營(北海道)……………259
 力之部……………260
 金澤市營(福井)……………261
 鹿兒島電氣局(鹿兒島)……………262
 川場村營(群馬)……………263
 上神津電氣組合(群馬)……………264
 上久下村營(兵庫)……………265
 上波佐見村(長崎)……………266
 神川村營(群馬)……………267
 箱根町營(埼玉)……………268
 加子母村營(岐阜)……………269
 加治田村營(岐阜)……………270
 嘉南大川組合(臺灣)……………271
 熊本市營(熊本)……………272
 久萬町營(愛媛)……………273
 黑瀧村營(奈良)……………274
 久芳村營(廣島)……………275
 キ之部……………276
 京都市營(京都)……………277
 氣多村營(靜岡)……………278
 木古内村外二ヶ村組合(北海道)……………279
 金州民政署(滿洲)……………280
 關東廳旅順民政署(滿洲)……………281
 ク之部……………282
 熊本市營(熊本)……………283
 久萬町營(愛媛)……………284
 黑瀧村營(奈良)……………285
 久芳村營(廣島)……………286
 ケ之部……………287
 兼二浦面(朝鮮黃海道)……………288
 コ之部……………289
 高知縣電氣局(高知)……………290
 神戸市營(兵庫)……………291
 香燒村營(長崎)……………292
 サ之部……………293
 札幌市電氣局(北海道)……………294
 酒田町電氣部(山形)……………295
 崎口村營(長崎)……………296
 沙里院面(朝鮮黃海道)……………297

昭和四年電氣年鑑目次

シ之部……………298
 静岡市營(靜岡)……………299
 靜波村營(岐阜)……………300
 湘南村營(神奈川)……………301
 下波佐見村營(長崎)……………302
 湘南電燈所(岐阜)……………303
 ス之部……………304
 須賀川町營(福島)……………305
 洲原村營(岐阜)……………306
 鈴木電燈所(靜岡)……………307
 セ之部……………308
 仙臺市營(宮城)……………309
 リ之部……………310
 曾木村營(岐阜)……………311
 タ之部……………312
 谷村町營(山梨)……………313
 駄知町營(岐阜)……………314
 高野村營(京都)……………315
 高橋村營(兵庫)……………316
 竹仁村營(府島)……………317
 ツ之部……………318
 鶴來町營(石川)……………319
 萬澤村營(兵庫)……………320
 坪電氣組合(青森)……………321
 東京市營(東京)……………322
 富山縣營(富山)……………323
 富山市營(富山)……………324
 豐田村營(栃木)……………325
 苫小牧町營(北海道)……………326
 萩茂村營(島根)……………327
 萩原村營(島根)……………328
 外山村營(岐阜)……………329
 土肥庄平(富山)……………330
 ナ之部……………331
 名古屋市營(愛知)……………332
 長井町營(山形)……………333
 南保村營(富山)……………334
 長瀬村營(岐阜)……………335
 七郷村外二ヶ村組合(高知)……………336
 中津村營(長野)……………337
 中村營(島根)……………338
 ニ之部……………339
 仁賀保四ヶ町村組合(秋田)……………340
 西氣村清瀬村電氣事業組合(兵庫)……………341
 西濱電燈局(山梨)……………342
 西村茂(滿洲)……………343
 ネ之部……………344
 根野村營(廣島)……………345
 ノ之部……………346
 野田町營(熊本)……………347
 ハ之部……………348
 原町營(群馬)……………349
 奏野町營(神奈川)……………350
 白老村營(北海道)……………351
 八田電燈所(福島)……………352
 ヒ之部……………353
 日吉村營(岐阜)……………354
 蛭川村營(岐阜)……………355
 東置賜郡總町村組合(山形)……………356
 正見上村營(島根)……………357
 東田郡島外外二十七ヶ村(山形)……………358
 東白川村營(岐阜)……………359
 フ之部……………360
 船津町營(岐阜)……………361
 福岡村營(群馬)……………362
 福知村營(岐阜)……………363
 府中村營(岐阜)……………364
 ヘ之部……………365
 平壤府營(朝鮮)……………366
 ホ之部……………367
 穗坂村營(山梨)……………368
 細江村及小鷹利用組合(岐阜)……………369
 マ之部……………370
 牧田村營(岐阜)……………371
 ミ之部……………372
 宮城縣營(宮城)……………373
 郡城市營(宮城)……………374
 三穗村營(長野)……………375
 三郷村營(岐阜)……………376
 御笠村營(福岡)……………377
 宮地村營(岐阜)……………378
 宮村營(岐阜)……………379
 南那珂郡十六ヶ町村組合(宮城)……………380
 宮川電業所(和歌山)……………381
 ヤ之部……………382
 山口縣營(山口)……………383
 八百津電燈所(岐阜)……………384
 夜久野水電組合(京都)……………385
 ヨ之部……………386
 湯澤村營(新潟)……………387
 橋原村營(高知)……………388
 ヨ之部……………389
 橫濱市營(神奈川)……………390
 吉井村營(新潟)……………391
 吉田村電氣部(鹿兒島)……………392

(3) 利用組合之部

昭和四年電氣年鑑目次

了之部	安都那信用利用組合(山梨).....三二
	安樂電氣利用組合(鹿兒島).....三九
	阿指電氣利用組合(愛知).....三六
	阿川電氣利用組合(德島).....三七
	芦見電氣利用組合(福井).....三六
	餘部村電氣利用組合(兵庫).....三〇
	朝日電氣利用組合(岐阜).....三二
イ之部	岩淵浦信用利用組合(長崎).....三五
	石野電氣利用組合(愛知).....三五
	石徹白電氣利用組合(福井).....三六
	一字電燈利用組合(德島).....三七
	一ノ木信用販賣利用組合(福島).....三六
	倭文西電氣利用組合(岡山).....三三
	大迫信用販賣利用組合(鹿兒島).....三三
	入鹿電氣利用組合(三重).....三三
ウ之部	宇坂大谷電氣利用組合(福井).....三六
	梅地水電利用組合(静岡).....三三
	内成信用購買販賣利用組合(大分).....三〇
	浦田信用購買販賣利用組合(新潟).....三三
エ之部	江刈電氣組合(岩手).....三六
	江田水電利用組合(德島).....三七
オ之部	大津共同電氣利用組合(栃木).....三六
	大島信用利用組合(山口).....三六
	大島村信用購買販賣利用組合(長崎).....三三
	大島信用購買組合(福岡).....三三
	大瀧區信用組合(静岡).....三三
	大瀧電氣利用組合(岡山).....三六
	大平購買利用組合(岐阜).....三五
	大原農園電氣利用組合(京都).....三六
	大伴和利信用組合(岡山).....三六
	大谷電氣利用組合(大分).....三七
	大砂川自家用電燈組合(秋田).....三六
	大曲西根耕地整理組合(秋田).....三六
	大岡水電氣利用組合(静岡).....三三
	小原東部電氣利用組合(愛知).....三六
	小來川村電氣利用組合(栃木).....三六
	尾崎電氣利用組合(熊本).....三六
	奥津利用組合(岡山).....三六
	折平電氣利用組合(愛知).....三七
	帶島電氣組合(岩手).....三六
カ之部	川宇連電氣利用組合(愛知).....三六
	川井電氣利用組合(德島).....三七
	川井電氣使用組合(岩手).....三六
	川路信用組合(長野).....三六
	河原田信用利用組合(大分).....三七
	上川口電氣利用組合(愛知).....三七
	上藤田電氣利用組合(福岡).....三六
	上水電氣利用組合(長野).....三六
	上見村信用組合(富山).....三六
	上野野信用購買利用組合(和歌山).....三六
	上賀茂産業利用組合(岡山).....三六
	上戸電氣利用組合(福井).....三六
	上津電氣利用組合(大分).....三六
	神倉共同自家用電氣組合(鳥取).....三七
	神門購買販賣利用組合(宮崎).....三七
	蒲生電氣利用組合(鹿兒島).....三七
	鎌瀨電氣利用組合(岐阜).....三七
	片貝自家用電氣(福島).....三六
	關子嶺利用組合(臺灣).....三六
キ之部	木頭水電氣利用組合(德島).....三六
	木屋平電燈利用組合(德島).....三六
	北郷産業水電利用組合(静岡).....三六
	北一色電氣利用組合(愛知).....三七
	北山村信用組合(佐賀).....三七
	共力信用利用組合(岩手).....三六
ク之部	桐木信用購買利用組合(大分).....三七
	京ヶ島共同自家用電氣利用組合(群馬).....三六
ケ之部	久保信用購買販賣利用組合(大分).....三七
	黒丸信用購買利用組合(福岡).....三六
コ之部	小茂田電力利用組合(長崎).....三六
	琴似信用購買販賣利用組合(北海道).....三六
	駒倉利用組合(京都).....三六
	古賀水力利用組合(福岡).....三六
	五箇村電氣利用組合(鳥根).....三六
カ之部	佐久間電氣利用組合(静岡).....三六
	佐開電氣利用組合(福井).....三六
	作原電氣利用組合(栃木).....三六
	魁電氣利用組合(岐阜).....三六
	坂井原村信用購買利用組合(廣島).....三六
	坂谷電氣利用組合(福井).....三六
	狭川信用購買組合(富山).....三六
	里壠電氣利用組合(臺灣).....三六
サ之部	廣澤電氣利用組合(愛知).....三六
	彦山電氣利用組合(熊本).....三六
	平等寺利用組合(福岡).....三六
	姫栗電氣利用組合(岐阜).....三六
シ之部	藤澤電氣生産組合(長野).....三六
	福原電燈利用組合(德島).....三六
	深田電氣利用組合(愛知).....三六
	服巻水電利用組合(佐賀).....三六
	普代電氣組合(岩手).....三六
ス之部	北榮電氣利用組合(愛知).....三六
	本砂金電氣利用組合(宮城).....三六
	寶慶寺電氣利用組合(福井).....三六
	傍示電燈利用組合(德島).....三六
セ之部	松平信用利用組合(愛知).....三六
	眞砂信用販賣利用組合(静岡).....三六
	満願寺利用組合(熊本).....三六
	京ヶ島共同自家用電氣組合(群馬).....三六
ソ之部	馬淵電氣利用組合(岐阜).....三六
タ之部	水澤電氣組合(岩手).....三六
	三波川電氣購買利用組合(群馬).....三六
	御船電氣利用組合(愛知).....三六

昭和四年電氣年鑑目次

シ之部	自家用電氣發電組合(群馬).....三六
	四字信用組合(愛知).....三六
	四浦電氣利用組合(熊本).....三六
	白川信用購買利用組合(福岡).....三六
	新九村信用利用組合(石川).....三六
	鳥原電氣利用組合(愛知).....三六
	下佐見利用組合(岐阜).....三六
	下内野共同自家用電燈組合(岩手).....三六
	下若生子電氣利用組合(福井).....三六
	志比内信用購買販賣利用組合(北海道).....三六
ス之部	小基隆興業組合(臺灣).....三六
セ之部	菅生利用組合(岡山).....三六
	杉谷信用利用組合(福井).....三六
	杉尾電氣利用組合(富山).....三六
セ之部	千手電氣利用組合(福岡).....三六
ソ之部	空知電力利用組合(北海道).....三六
タ之部	高尾共同電氣組合(山梨).....三六
	高山電氣利用組合(岐阜).....三六
	高根電氣利用組合(岐阜).....三六
チ之部	高峯電燈利用組合(德島).....三六
	玉川水電信用利用組合(静岡).....三六
	龍丘電氣利用組合(長野).....三六
	田澤電氣利用組合(岐阜).....三六
	田野口電燈利用組合(德島).....三六
	寶坂電氣消費組合(福島).....三六
	多摩信用利用組合(山梨).....三六
	只持電氣利用組合(愛知).....三六
	龍谷村電氣利用組合(愛知).....三六
	段嶺電氣利用組合(愛知).....三六
	鷹栖信用購買販賣利用組合(北海道).....三六
チ之部	千代信用組合(長野).....三六
	千屋電燈消費組合(秋田).....三六
	血ヶ平電氣利用組合(福井).....三六
	近川自家用電氣利用組合(青森).....三六
ツ之部	津野利用組合(福岡).....三六
	月原電氣利用組合(愛知).....三六
ト之部	豊松電氣利用組合(廣島).....三六
	富澤電氣利用組合(鳥取).....三六
	徳定電氣利用組合(愛知).....三六
	留崎村自家用電燈組合(青森).....三六
	戸津川電氣利用組合(京都).....三六
ナ之部	中川電氣利用組合(岐阜).....三六
	中瀬耕地整理組合(新潟).....三六
	長島水電利用組合(静岡).....三六
	七郷電氣利用組合(愛知).....三六
	中島電氣利用組合(福井).....三六
	永山村電燈電力利用組合(北海道).....三六
ニ之部	西山信用利用組合(愛知).....三六
	西野電氣利用組合(長野).....三六
	西俣電氣利用組合(石川).....三六
	西原電氣利用組合(奈良).....三六
	似島電氣利用組合(廣島).....三六
	西河原柑橋販賣購買組合(和歌山).....三六
ハ之部	坂京水電利用組合(静岡).....三六
	羽布電氣利用組合(愛知).....三六
	羽瀨電氣利用組合(長野).....三六
	如利用販賣組合(京都).....三六
	如利用組合(福岡).....三六
ヒ之部	東山田信用販賣生産組合(長野).....三六
	東久留女木電氣利用組合(静岡).....三六
	東萩間信用組合(静岡).....三六
	東園目電氣利用組合(愛知).....三六
	東青根信用購買販賣利用組合(佐賀).....三六
ヘ之部	廣澤電氣利用組合(愛知).....三六
	彦山電氣利用組合(熊本).....三六
	平等寺利用組合(福岡).....三六
	姫栗電氣利用組合(岐阜).....三六
フ之部	藤澤電氣生産組合(長野).....三六
	福原電燈利用組合(德島).....三六
	深田電氣利用組合(愛知).....三六
	服巻水電利用組合(佐賀).....三六
	普代電氣組合(岩手).....三六
ホ之部	北榮電氣利用組合(愛知).....三六
	本砂金電氣利用組合(宮城).....三六
	寶慶寺電氣利用組合(福井).....三六
	傍示電燈利用組合(德島).....三六
マ之部	松平信用利用組合(愛知).....三六
	眞砂信用販賣利用組合(静岡).....三六
	満願寺利用組合(熊本).....三六
	京ヶ島共同自家用電氣組合(群馬).....三六
ミ之部	馬淵電氣利用組合(岐阜).....三六
	水澤電氣組合(岩手).....三六
	三波川電氣購買利用組合(群馬).....三六
	御船電氣利用組合(愛知).....三六

昭和四年電氣年鑑目次

▲之部	衛生村信用購買利用組合(奈良) 三〇	鹿原信用販賣購買利用組合(鹿兒島) 三九
●之部	盛岡信用利用組合(愛知) 三三	養老信用購買利用組合(大分) 三九
	森友電氣利用組合(栃木) 一五	黒堀電氣利用組合(臺灣) 四〇
	毛鹿母電氣利用組合(岐阜) 二五〇	口之部
ヤ之部	山本村信用購買販賣利用組合(長野) 二六四	六軒電氣組合(岩手) 三六六
	山口共同電氣利用組合(栃木) 一五〇	
	山田村信用利用組合(富山) 二八三	
	山梨信用利用組合(岐阜) 二五〇	
	山家村信用組合(福岡) 二六三	
	山相川電氣利用組合(新潟) 二六三	
	八千代信用購買販賣組合(徳島) 二七	
	柳町販賣利用組合(石川) 二七四	
工之部	湯原電氣利用組合(福岡) 二五三	
ヨ之部	吉川信用購買販賣利用組合(鳥根) 三六	
	横川日電氣組合(岩手) 三六六	
	吉川村信用組合(岡山) 三六六	
	吉上電氣利用組合(廣島) 三六六	
	四ノ谷電氣利用組合(京都) 二六四	

電氣化學工業目次

昭和四年電氣年鑑目次

了之部	旭硝子株式會社 四三	信濃電氣株式會社 四六	東海曹達株式會社 四六	株式會社日本電解製鐵所 四八
	旭電化工業株式會社 四三	信越窒素肥料株式會社 四六	東京鋼材株式會社 四六	日東硝子株式會社 四八
イ之部	揖斐川電氣株式會社 四三	諏訪電氣株式會社 四六	株式會社東邦製糖工場 四六	新潟電氣工業株式會社 四八
ウ之部	宇島酸水素株式會社 四三	株式會社住友肥料製造所 四六	東洋夕口I.M株式會社 四六	新潟硫酸株式會社 四八
エ之部	大阪アルカリ土地株式會社 四三	株式會社多木製肥料 四六	東洋曹達株式會社 四六	福岡酸素株式會社 四八
	大阪曹達株式會社 四三	株式會社大正電氣製鐵所 四六	東洋人造肥料株式會社 四六	福島電燈株式會社 四八
	大阪酸水素株式會社 四三	株式會社大同電氣製鐵所 四六	東洋窒素工業株式會社 四六	藤田電氣株式會社 四八
	株式會社大島製鐵所 四三	大日本人造肥料株式會社 四六	東洋電氣工業株式會社 四六	古河電氣工業株式會社 四八
	大淀川水力電氣株式會社 四三	大日本特許肥料株式會社 四六	東洋塗料製造株式會社 四六	保土ヶ谷曹達株式會社 四八
カ之部	加納嶺山事務所 四三	第一窒素肥料株式會社 四六	南海硝子株式會社 四六	北越水力電氣株式會社 四八
キ之部	九州電氣工業株式會社 四三	臺灣興業株式會社 四六	日本硫黃株式會社 四六	北海道曹達株式會社 四八
	共立鐵業株式會社 四三	臺灣肥料株式會社 四六	日本化學工業株式會社 四六	北海道電化工業株式會社 四八
	京都電燈株式會社 四三	中央電氣株式會社 四六	日本黑鉛工業株式會社 四六	北海電氣工業株式會社 四八
ク之部	株式會社小松製作所 四三	朝鮮窒素肥料株式會社 四六	日本鋼管株式會社 四六	北陸電氣工業株式會社 四八
	神戶人造肥料株式會社 四三	帝國人造肥料株式會社 四六	日本仲鋼株式會社 四六	三井鐵山株式會社 四八
シ之部	四國水力電氣株式會社 四三	帝國電化株式會社 四六	日本染料製造株式會社 四六	三菱鐵業株式會社 四八
	協成化學工業株式會社 四三	鐵興社(京都電力株式會社) 四六	日本曹達工業株式會社 四六	盛岡電燈株式會社 四八
		電氣化學工業株式會社 四六	株式會社日本鋸鋼所 四六	株式會社安來製鐵所 四八
		株式會社電氣興業所 四六	日本窒素肥料株式會社 四六	ラサ島嶼株式會社 四八

官應用電氣目次

Table listing various government applications of electricity, including Tokyo Railway Bureau, Osaka Railway Bureau, and various industrial plants, with associated page numbers.

昭和四年電氣年鑑目次

Table of contents for the 1929 Electrical Yearbook, categorized by department such as '了之部', 'イ之部', 'ウ之部', 'エ之部', 'オウ之部', and 'カ之部'.

自家用電氣 (五百キロボット以上)

昭和四年電氣年鑑目次

Table of contents for the 1929 Electrical Yearbook, categorized by department such as 'キ之部', 'ク之部', 'コ之部', 'ク之部', 'セ之部', 'タ之部', 'チ之部', 'ツ之部', 'テ之部', and 'ナ之部'.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing companies and organizations under various categories: 二之部 (2nd Department), 又之部 (Again Department), 八之部 (8th Department), etc., with page numbers.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing companies and organizations under various categories: 〇京濱之部 (0 Tokyo Bay Department), 一 東京之部 (1 Tokyo Department), ア之部 (A Department), etc., with page numbers.

電氣商工業一覽(イロハ順)目次

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their locations, including sections for 'イ之部' (I-section) and 'ウ之部' (U-section).

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their locations, including sections for 'エ之部' (E-section) and 'オ(ヲ)之部' (O section).

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their locations, including entries like 加賀谷電氣商會, 加藤電氣商會, 金子電機製作所, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their locations, including entries like 株式會社神奈川電氣製造工場, 合資會社北井商店, 久保電氣商會, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical associations and companies with their corresponding page numbers. Includes entries like 小島商店, 小坂商店, 小浦電氣商行, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical associations and companies with their corresponding page numbers. Includes entries like 鎌谷商會, 澤電氣商會, 澤電氣工業所, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their page numbers, including sections like 'ス之部', 'セ之部', and '夕之部'.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their page numbers, including sections like '子之部' and '夕之部'.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their page numbers, including entries like 鐵道工業合資會社, 東京電氣株式會社, and 東京電氣工業株式會社.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their page numbers, including entries like 東邦商會, 東邦電氣株式會社, and 東京電氣株式會社.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and their page numbers, categorized by department (e.g., 西之部, 北之部, 南之部, 東之部, 中ノ部).

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and their page numbers, categorized by department (e.g., 西之部, 北之部, 南之部, 東之部, 中ノ部).

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and their page numbers, including entries like ホマレ電球製作所, 北辰電機製作所, 北辰電氣商會, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and their page numbers, including entries like 三星電氣商會, 三九電機製作所, 三森電球製作所, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and their page numbers, organized by department (e.g., 山岸電球製作所, 山中電機製作所, etc.).

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and their page numbers, organized by department (e.g., 安達金次郎, 阿部政治, etc.).

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and organizations in the Kanto region (関東地方) and surrounding areas, including entries like 仲田製作, 北東工業社, 山下製作所, and 宇山電機商會.

神奈川縣之部

三六

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and organizations in the Kansai region (關西地方) and surrounding areas, including entries like 堀山電機工業所, 北東工業社, 松風工業株式會社, and 千歲電氣商會.

京都之部

三七

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical associations and companies in the Osaka region (京阪神之部) and the Osaka area (大阪之部), categorized by department (A through W). Includes entries like '朝比奈電氣商會' and '合資會社アヤマ電氣工業所'.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical associations and companies in the Kyoto region (京都之部) and the Kyoto area (京都市部), categorized by department (A through W). Includes entries like '永田電機商會' and '合資會社ミヤコ電機器商會'.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their locations, including entries like 大阪モートル商會, 大島榮三郎商會, 大島電機製作所, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their locations, including entries like 木村修商店, 木村電機商店, 木下電球營業所, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and their locations, categorized by department (e.g., 三電社, シ之部, ス之部, セ之部, タ之部). Includes entries like 三電社, 酒井電機店, 五月電機商會, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and their locations, categorized by department (e.g., 竹本電機計器製作所, ツ之部, ト之部, ナ之部). Includes entries like 竹本電機計器製作所, 千鳥屋電機製作所, etc.

昭和三十四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their page numbers, categorized into sections like 一之部, 二之部, etc.

昭和四十四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical companies and their page numbers, categorized into sections like 一之部, 二之部, etc.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical associations and their page numbers, categorized by region (e.g., 山田電機製作所, 山田電機商會, etc.).

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical associations and their page numbers, categorized by region (e.g., 大野電氣商會, 大野電氣ラヂオ部, etc.).

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical associations and their page numbers, including sections like 'ナ之部', 'ノ之部', 'ハ之部', 'ヒ之部', 'フ之部', 'マ之部', 'メ之部', 'ヤ之部', '地方之部', and '愛知縣'.

愛知縣

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing various electrical associations and their page numbers, including sections like 'ナ之部', 'ノ之部', 'ハ之部', 'ヒ之部', 'フ之部', 'マ之部', 'メ之部', 'ヤ之部', '地方之部', and '愛知縣'.

愛知縣之部

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical associations and their page numbers, categorized by region: 静岡縣之部, 山梨縣之部, 三重縣之部.

静岡縣 靜岡縣 山梨縣 三重縣

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical associations and their page numbers, categorized by region: 愛知縣, 埼玉縣, 群馬縣, 千葉縣, 茨城縣, 栃木縣, 東京縣, 千葉縣之部, 茨城縣之部, 栃木縣之部.

愛知縣 埼玉縣 群馬縣 千葉縣 茨城縣 栃木縣

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and associations in Gifu, Nagano, and Fukui prefectures, including names like 岐阜縣之部, 中央精工社, and various regional branches.

昭和四年電氣年鑑目次

Table listing electrical companies and associations in Aichi, Nagano, and other regions, including names like 合資會社金城電機製作所, 大原電機商會, and 滋賀縣之部.

次目鑑年氣電年四和昭

井上源雄	八〇〇	三宅惣平次	八〇〇	粕谷商店電機部	八〇六	瀧口商店	八〇七
石原喜代太	八〇〇	合名會社ミツノ電氣商會	八〇〇	片山嘉一商店	八〇六	東西電氣合資會社	八〇七
株式會社江口商會	八〇〇	村岡電氣商會	八〇〇	桂田健一商店	八〇六	東洋電機商會	八〇七
尾崎小美津	八〇〇	村田道雄	八〇〇	影久商店	八〇六	中川商店	八〇七
小原弘	八〇〇	矢吹常太郎	八〇〇	合資會社川村電機製作所	八〇六	中井鐵工所	八〇七
合資會社岡山電氣工業所	八〇〇	山羽電機工場	八〇〇	川原石製作所	八〇六	合資會社中村佳吉商會	八〇七
岡山電業株式會社	八〇〇	山部石造	八〇〇	木原定三	八〇六	西田硝子屋	八〇七
親郁文堂	八〇〇	山部工務所	八〇〇	其阿彌商店	八〇六	新見鐵工所	八〇七
片山安二郎	八〇〇	廣島縣之部	八〇〇	清政電氣商會	八〇六	合資會社日本電氣工業社	八〇七
梶原清南	八〇〇	愛電社	八〇〇	岸野電機商會	八〇六	長沼電工部	八〇七
金光電機工場	八〇〇	秋本又吉商店	八〇〇	國友彦一	八〇六	長井基一商店	八〇七
岡成會電氣部	八〇〇	有廣電機商會	八〇〇	熊野研究所	八〇六	秦政太郎	八〇七
小西和吉	八〇〇	朝日商事合資會社	八〇〇	廣原電機商店	八〇六	原田電氣商店	八〇七
小林光治商店	八〇〇	風電氣商店	八〇〇	株式會社佐伯便利社	八〇六	橋本敏商店	八〇七
株式會社木原商店電氣部	八〇〇	市畑友太郎	八〇〇	山陽合名會社	八〇六	合資會社服部吳本店	八〇七
佐々木支店	八〇〇	池田商事株式會社	八〇〇	昭陽電機商店	八〇六	平田商店	八〇七
島英造	八〇〇	合資會社池谷商會	八〇〇	合資會社昭和電氣商會	八〇六	坂田商店	八〇七
高橋タネ	八〇〇	今井電工商會販賣部	八〇〇	榮原商店	八〇六	株式會社廣島鐵工所	八〇七
合資會社竹井電機店	八〇〇	内田野村兄弟商會	八〇〇	菅紋之助	八〇六	廣島電機商會	八〇七
中央電氣商會	八〇〇	植田靜一商店	八〇〇	末田屋	八〇六	株式會社廣島電機製作所	八〇七
筑波要四郎	八〇〇	木下五一鐵工所	八〇〇	鈴木商店	八〇六	福永商店	八〇七
ツタヤ商會	八〇〇	大田工業商會	八〇〇	スタングード商會	八〇六	合資會社藤本組	八〇七
富山電機商會	八〇〇	大西電氣商店	八〇〇	ベニまら商會	八〇六	太組電氣商會	八〇七
東備電機商會	八〇〇	大原定三商店	八〇〇	田上電機商店	八〇六	藤山宗太	八〇七
長尾電氣工業所	八〇〇	沖清一商店	八〇〇	田坂電機工業所	八〇六	本郷純一商店	八〇七
長島電機商店	八〇〇	岡林正雄	八〇〇	谷岡商會	八〇六	本田電氣商會	八〇七
西田完志四郎	八〇〇	梶鶴三郎	八〇〇	太刀掛電機商會	八〇六	每本俊藏	八〇七
沼本重吉	八〇〇	柏木電機店	八〇〇	谷岡商會	八〇六	松本和助商店	八〇七
人見貞一	八〇〇	柏木電氣商店	八〇〇	谷口電氣商會	八〇六	宮崎工業所	八〇七
二葉商會	八〇〇					宮本電機商會	八〇七
福井靜夫商店	八〇〇						

次目鑑年氣電年四和昭

宮地弘商店電機部	八〇九	白野卯三郎	八〇〇	澤田電機修理工場	八〇三	埴田電機商會	八〇四
港屋商店	八〇九	正電合	八〇〇	尖道富次郎商會	八〇三	植松常吉	八〇四
合資會社村上電機工業商會	八〇九	下關電氣工業所	八〇〇	染田直市	八〇三	鎌倉電氣商會	八〇四
村上助次商店	八〇九	合資會社周陽商會	八〇〇	日光商會	八〇三	川津梅彌商會	八〇四
村上電機商會	八〇九	鈴木電氣商會	八〇〇	合名會社廣原電氣商會	八〇三	小橋兄弟電氣工業所	八〇四
本利商店	八〇九	末廣順治商會	八〇〇	株式會社藤原忠太郎商會	八〇三	共榮商會	八〇四
本勤商店	八〇九	盛電社	八〇〇	朝日館	八〇三	高田工業所	八〇四
森元製作所	八〇九	田尾商會	八〇〇	鳥取縣之部	八〇三	西山竹一	八〇四
山崎電機商會	八〇九	合名會社高崎商會	八〇〇	大坪電機商會	八〇三	日獨電機商會	八〇四
湯本商店	八〇九	高橋才治	八〇〇	合資會社加藤電氣商會	八〇三	乃村久彌	八〇四
吉井電氣商店	八〇九	武重實祐	八〇〇	カドヤ電氣商會	八〇三	藤澤電氣商會	八〇四
吉村電氣商會	八〇九	巴電機商會	八〇〇	春日電機商會	八〇三	藤村清吉	八〇四
横山電氣店	八〇九	中村美昌堂	八〇〇	山陰電氣工業株式會社	八〇三	宮井篤治郎商會	八〇四
横山電氣商會	八〇九	長谷川電氣商會	八〇〇	初鹿野芳藤商會	八〇三	合資會社四國電機工業所	八〇四
山口縣之部	八〇九	日名電氣商會	八〇〇	ヤマサ商會	八〇三	愛媛縣之部	八〇四
池谷電氣商會	八〇九	株式會社對谷商會	八〇〇	德島縣之部	八〇三	今治電氣商會	八〇四
石澤孫宗	八〇九	合名會社三井電機工作所	八〇〇	阿波電氣工業所	八〇三	岩本電氣商會	八〇四
岩崎電氣商會	八〇九	三木正藏	八〇〇	川島電氣商會	八〇三	宇和島工業所	八〇四
梅田直太郎	八〇九	三田尻電氣商會	八〇〇	木田政雄	八〇三	浮田富之進	八〇四
梅地弘市	八〇九	宮崎商會	八〇〇	佐野電氣工業所	八〇三	江口商會	八〇四
加藤春人	八〇九	ミカド商會	八〇〇	富田電氣商會	八〇三	三光堂	八〇四
河村電機商會	八〇九	村谷龍之助商會	八〇〇	株式會社德島電氣商會	八〇三	合資會社電業社	八〇四
株式會社西電工社	八〇九	吉村電機店	八〇〇	平尾電氣店	八〇三	富田寛商會	八〇四
小泉電業社	八〇九	島三縣之部	八〇〇	藤江滿龜雄	八〇三	内外商品株式會社	八〇四
小林重吉	八〇九	池田電氣商會	八〇〇	福島寫眞機店	八〇三	西河物産電氣株式會社	八〇四
小森商會電池部	八〇九	清原商會	八〇〇	山水電氣商會	八〇三	フナヤ電氣器具店	八〇四
何野工業所	八〇九	忌部寛一商會	八〇〇	香川縣之部	八〇三	堀江工業所	八〇四
笹岡鐵男	八〇九	後藤敏郎	八〇〇	朝倉翠商會	八〇三	前田電機商會	八〇四
合資會社山陽商會	八〇九	工藤社	八〇〇			山口元實	八〇四
合名會社山陽電機製作所	八〇九					吉田伊勢吉商會	八〇四

鳥取縣 島根縣 香川縣 愛媛縣

昭和四年電氣年鑑目次

吉村第一商店	八五	日本電機鐵工株式會社	八七
高知縣之部		深川製鐵株式會社	八七
合名會社桑原電機商會	八五	福岡縣之部	
組合入交電機商會	八五	合資會社安部電氣商會	八七
公家諸君	八五	安藤悅次郎商會	八七
高知電機株式會社	八五	足立松之助商會	八七
電工會	八五	青柳直彦	八七
中山電氣商會	八五	合資會社青柳商會	八七
西内電氣商會	八五	合資會社九州出張所	八七
西本電氣商會	八五	茂木電機商會	八七
原電機商會	八五	茂卷電機商會	八七
山本電氣商會	八五	有江啓次郎商會	八七
吉岡商會	八五	伊藤重三郎商會	八七
佐賀縣之部		伊與田商會	八七
合名會社青木商店	八六	井上澤商會	八七
合資會社今泉商店	八六	池末喜一	八七
上野山商店	八六	石川秀夫	八七
江口孝商店	八六	石田商會	八七
尾崎商店	八六	岩谷商會	八七
大隈碍子商店	八六	内田商事株式會社門司出張所	八七
唐津電機工業所	八六	内納鐵作商店	八七
株式會社唐津鐵工所	八六	受田榮一	八七
香蘭合名會社	八六	植村順次郎商店	八七
佐賀電業社	八六	鶴池房一	八七
三電合	八六	株式會社管電社	八七
中橋彌吉郎	八六	管電社	八七
西村貞一商會	八六	岡田商店	八七
西村彌六	八六	奥村電機商會博多出張所	八七
株式會社戶上電機製作所	八六	大熊久雄商店	八七
大野甚太郎	八八	小川電氣商會	八八
加藤商會第一機械部	八八	海喜日猛商店	八八
藤矢嘉市商店	八八	柏原林之助商店	八八
神奈川電氣株式會社門司支店	八八	合名會社河部電氣商會	八八
金井商會	八八	株式會社北電氣企業社出張所	八八
木村商會	八八	北九商會	八八
九州電氣商會	八八	合資會社黃蘗商會	八八
共榮電氣製作所	八八	株式會社共和工業所	八八
合資會社久留米電機商會	八八	極光電氣商會	八八
熊谷久治商店	八八	香月電氣商會	八八
合名會社河野電氣商會	八八	西部電氣工業所	八八
照明堂電氣店	八八	合資會社藤原電器製作所	八八
七三商行	八八	新川富太郎	八八
新宅商店	八八	株式會社島津製作所出張所	八八
正興商會	八八	清瀧組電氣部	八八
盛電社	八八	日高行庫	八八
藤兒島縣之部		赤松電氣鐵工商店	八八
江坂電氣商會	八八	岡積電氣工業所	八八
同積電氣工業所	八八	龍原商會	八八
神國料勝	八八	シオタ電氣鐵工商會	八八
田邊菊太郎	八八	タタノ商會	八八
別府電氣商會	八八	孫田武三郎商店	八八
池邊龍一商店	八八	大久保電機商會	八八
太田開助商店	八八	オームレントゲン製造株式會社	八八
川下商會	八八	企業社	八八
菅井商店電氣部	八八	田尾商店	八八
高倉商會	八八	合資會社高田工作所	八八
電業社	八八	巴商會	八八
中西商會	八八	長崎企業社	八八
長崎企業社	八八	野田硝子店	八八

昭和四年電氣年鑑目次

東洋車輛株式會社	八二	株式會社安川電機製作所	八三
野上工業所	八二	山一工業事務所	八三
原電機工作所	八二	山本電氣商會	八三
原田電氣商會	八二	合資會社有隣商會	八三
合資會社服部商店	八二	吉岡電機製作所	八三
株式會社林商會	八二	吉岡電氣商會	八三
蓮尾電氣興業所	八二	合資會社渡邊商會	八三
長谷川電柱製作所	八二	渡邊商店	八三
株式會社日立製作所	八二	渡邊電氣商會	八三
平岡電氣商店	八二	渡邊藤吉商店	八三
平田熊吉	八二	熊本縣之部	
株式會社福岡電氣工業社	八二	株式會社北電氣企業社熊本出張所	八三
福岡電機工業所	八二	古閑電氣工業社	八三
福岡ラヂオ陳列所	八二	酒見電氣商店	八三
合資會社福榮商會	八二	スタアル商會	八三
富士電機製造株式會社	八二	電盛社	八三
古河電氣工業株式會社門司販賣店	八二	電友會	八三
星加政勝	八二	馬場電機店	八三
松井商店	八二	原敬夫商店	八三
松永電氣商會	八二	原田三商店	八三
松野直幹商店	八二	松藤友三	八三
町田電機金物店	八二	正清電機商會	八三
合資會社九十商店	八二	行光電氣商會	八三
凡本治三郎商店	八二	吉田電氣商會	八三
合資會社マシソ商會	八二	吉本定	八三
水野茂	八二	合名會社ヨナソ商會	八三
瑞穂商會	八二	大分縣之部	
三浦電機商會	八二	井上電機工業所	八三
ミナテ電氣商會	八二		
株式會社八洲商會出張所	八二		
福岡縣 熊本縣 大分縣 宮崎縣 長野縣			

昭和四年電氣年鑑目次

萬成會	八二六	三光社	八二六	合資會社池田商店	八三二	丹野商店	八三三
平尾商會	八二六	三昌博商店	八二六	合資會社勢城工業會社	八三三	東條吉次郎商店	八三三
沖繩縣之部		株式會社新電社	八二六	植松合名會社	八三三	東北佐藤電氣商會	八三三
比嘉盛昇	八二六	關安電機店	八二六	エスビー電機商會	八三三	西田工場	八三三
古田伊太郎商店	八二六	田邊商店	八二六	小倉清太郎	八三三	日東商會	八三三
眞榮城玄明	八二六	多田電氣店	八二六	小倉清太郎	八三三	日東電機鐵工株式會社	八三三
眞瀨榮保	八二六	竹前電機製作所	八二六	岡村商店機械部	八三三	芳賀電機商會	八三三
新潟縣之部		中外電機商會	八二六	龜岡產商會	八三三	早川電氣商會	八三三
朝山電氣商會	八二六	永喜多謙吉商店	八二六	笠原倉吉商店	八三三	初瀬七郎商店	八三三
池田電氣商會	八二六	新潟電氣保全社	八二六	釜清商店	八三三	平電氣株式會社	八三三
石井電光社	八二六	新潟電機工業所	八二六	川口電氣商會	八三三	株式會社福島製作所	八三三
石野電氣商會	八二六	西山電機店	八二六	岸工場	八三三	北東電業社	八三三
石山電氣商會	八二六	日本電氣工業株式會社	八二六	共立電氣商會	八三三	前川工業株式會社	八三三
岩崎岩治	八二六	日本アールト株式會社	八二六	小松原文三商店	八三三	前川喜代造商店	八三三
入澤市郎	八二六	濱商店電氣部	八二六	古岡商會	八三三	松田電氣商會	八三三
大井商會	八二六	長谷川久治郎	八二六	郡山鐵工所	八三三	松本電氣商會	八三三
大谷商會	八二六	廣川電氣商會	八二六	郡山工業社	八三三	水野電機商會	八三三
大忠商店	八二六	北越電氣商會	八二六	佐藤電氣工業所	八三三	宮森電氣店	八三三
大原器機店	八二六	丸山電氣店	八二六	佐藤電氣商會	八三三	矢野電機店	八三三
刈部作藏商店	八二六	保野宗治商店	八二六	坂内定商店	八三三	山口工場	八三三
金井電機商店	八二六	三木商店	八二六	三光電氣工業社	八三三	ヤマノ商会	八三三
金谷新太郎商店	八二六	三ツ星電機工場	八二六	三共電氣商會	八三三	湯澤角治	八三三
金谷善次商店	八二六	日黒商店	八二六	合資會社秀榮會	八三三	吉田啓助	八三三
株式會社川村組	八二六	八木電氣商會	八二六	排名電機企業會	八三三	吉川工場	八三三
久住電氣商會	八二六	山本電機商會	八二六	須藤電氣工業所	八三三	宮城縣之部	
櫛谷商店	八二六	株式會社菱電社	八二六	鈴木商店	八三三	天野キヨ	八三三
小林商會	八二六	阿都傳吉商店	八二六	鈴木鐵工所	八三三	淺野電氣商店	八三三
小林電機商會	八二六	旭屋商店	八二六	田中電機商會	八三三	岩瀨電氣商會	八三三
小林萬藏商店電機部	八二六	五十川商會	八二六	田邊商店	八三三	柏芳男	八三三

昭和四年電氣年鑑目次

金華工業商會	八二六	菅原電氣商店	八二六	越前谷電氣工業所	八三二	阿部金兵衛	八三三
小松原電氣商會	八二六	高橋助吉	八二六	杉山電氣中業所	八三二	青木政次商店	八三三
三共電氣商會	八二六	丹野商店	八二六	鎌田電氣商會	八三二	淺賀商會	八三三
佐兵衛商店	八二六	合名會社長井電氣商會	八二六	川邊泰治商店	八三二	芥川圭太郎商店	八三三
鹿野逸郎	八二六	東電氣商會	八二六	菊地忠七商店	八三二	越中屋	八三三
島田敏	八二六	布川商店	八二六	小林電機商會	八三二	岩佐宮太郎	八三三
鈴木未藏	八二六	合資會社福岡商會	八二六	高橋電氣工業所	八三二	市川直七商店	八三三
高橋電氣商會	八二六	藤平電機商會	八二六	田口電機商會	八三二	今井良三郎	八三三
高平徳夫	八二六	松機商會	八二六	富野電機商會	八三二	今田福馬商店	八三三
合資會社千代電氣商會	八二六	三崎忠藏	八二六	藤井電氣部	八三二	一報商會	八三三
童子商會	八二六	岩手縣之部		北東電氣工業所	八三二	植木武市商店	八三三
永田電機事務所	八二六	石川電氣商會	八二六	三星電氣商會	八三二	合資會社榮陽基	八三三
仁田工務所	八二六	大畑商會	八二六	阿部商店	八三二	大澤初太郎	八三三
日本電熱線製造合資會社	八二六	川越電氣商會	八二六	青森電機商會	八三二	大野三商店	八三三
松田電氣商會	八二六	菊地忠七商店	八二六	伊藤電氣店	八三二	合名會社小倉茂商店	八三三
ミカド電機商會	八二六	佐々木勲次郎商店	八二六	茶澤朝吉商店	八三二	帶廣電氣機械工場	八三三
合資會社明電コンパニイ	八二六	齊藤電機工場	八二六	石川電氣商會	八三二	加藤電氣商店	八三三
柳澤商店	八二六	合資會社常勢電氣工業所	八二六	大和田電氣商會	八三二	合資會社共立電氣工作所	八三三
山口電氣商店	八二六	北越屋支店	八二六	小島電氣商店	八三二	越山商會	八三三
若生機械製作工場	八二六	福田鐵工所	八二六	甲州屋商店	八三二	工業商會	八三三
山形縣之部		藤井甚吉	八二六	佐藤電氣商會	八三二	近藤工務所	八三三
阿都電氣商會	八二六	吉田金太郎商店	八二六	佐々木鐵工所	八三二	佐々木商店	八三三
伊藤合資會社	八二六	吉田彌助商店	八二六	鈴木電氣商店	八三二	佐野研子店	八三三
石崎電氣店	八二六	米久商店	八二六	平田電機商會	八三二	貞廣製作所	八三三
石澤電氣商會	八二六	秋田縣之部		關土忠吉商店	八三二	三省堂	八三三
川崎新渡商店	八二六	青木電氣工業所秋	八二六	藤田幸二商店	八三二	札幌電氣商會	八三三
水村電氣商店	八二六	秋田電機工業所	八二六			合資會社豐谷商會	八三三
五明虎太郎商店	八二六	内田電氣商會	八二六			合資會社豐谷製作所	八三三
齋藤操太郎	八二六					白井商會	八三三
正電社	八二六						

次目鑑年氣電年四和昭

スライソ電氣商會	八三九	山田商會	八四二	臺北電機事務所	八三三	岩崎商店	八三三
瀨川商會	八三九	山田電機商會	八四二	臺北電機商會	八三三	入船清三郎商店	八三三
太陽電機商會	八三九	山本富之助商店	八四二	電氣社	八三三	一柳商店	八三三
武市商店電氣部	八三九	安富工務所	八四二	電工所	八三三	合資會社イナラ商會	八三三
谷内電工場	八三九	湯川電氣商會	八四二	源和商店	八三三	大富屋商店	八三三
中東電氣商會	八三九	吉岡電氣部	八四二	電鈴商店	八三三	同部長平商店	八三三
寺井電氣店	八三九	米久商店札幌支店	八四二	光明電機商店	八三三	岡本電氣商會	八三三
合資會社電工社	八三九	若林貞三商店	八四二	德源商店機械部	八三三	加藤商會京城支店	八三三
德田哲造	八三九	渡邊惣八	八四二	中山商店	八三三	梶田照乃商會	八三三
波多野與三郎商店	八三九	伊藤電氣商會	八四二	日新金物店電氣部	八三三	川崎電氣會社	八三三
兩館電球株式會社	八三九	小田切商店	八四二	野村電氣工場	八三三	カナヘ會會	八三三
日の丸商店	八三九	奧村商店	八四二	林輪電氣商會	八三三	河浪惣助商店	八三三
福田重商店	八三九	胸村健三	八四二	三星商店	八三三	河村商會	八三三
福田與四郎商店	八三九	田中商會	八四二	松林商店	八三三	木村商會	八三三
福屋大正堂	八三九	合資會社吉原清昭商店	八四二	茂源商店	八三三	黒野電氣工業所	八三三
福本商店	八三九	臺灣之部	八四二	葉發商店	八三三	兄弟工業所	八三三
北海道電機製作所	八三九	淺沼工場	八四二	合資會社山下商會	八三三	五島電氣部	八三三
株式會社北海道電機製作所	八三九	栗野機具事務所	八四二	岩目商店	八三三	見島電氣商會	八三三
北都電氣商會	八三九	同本電氣商會	八四二	朝鮮之部	八三三	越田電氣商會	八三三
前田六右衛門商店	八三九	合名會社嘉義商事社	八四二	阿波屋電機商店	八三三	コヤマ商會	八三三
松井商會	八三九	河本電氣具製作所	八四二	伊藤直敬商店	八三三	佐藤電業社	八三三
松本清次郎商店	八三九	株式會社共益社	八四二	株式會社伊藤商行	八三三	櫻木芳吉商店	八三三
松本清次郎商店	八三九	重松電機商會	八四二	伊藤電機修繕販賣部	八三三	サンダール商會	八三三
マスカタ商店	八三九	進通電氣商會	八四二	井澤龍一商店	八三三	志造三介	八三三
丸カ三商店	八三九	振興成電氣商會	八四二	石塚商會	八三三	松榮電氣商會	八三三
杉原電氣商會	八三九	シイオー商會	八四二	岩井商店	八三三	城南電氣商會	八三三
三宅嘉重商店	八三九	高橋時計電氣事務所	八四二	泰榮商會	八三三	杉本常雄	八三三
三宅嘉重商店	八三九	泰榮商會	八四二		八三三	鈴木尙重商店	八三三
三宅嘉重商店	八三九		八四二		八三三	忽那商店	八三三

次目鑑年氣電年四和昭

朝鮮電機工業所	八四〇	大寺榮次郎	八四〇	橫川電機事務所	八四〇	蓬萊洋行	八四〇
電文社	八四〇	恩田洋行	八四〇	津田雄二郎	八四〇	義和洋行	八四〇
宮尾文明社	八四〇	勝本機械製作所	八四〇	舟橋商店	八四〇	合資會社實信洋行	八四〇
富田商會	八四〇	喜野商店	八四〇	盛電社	八四〇	株式會社中華電氣製作所	八四〇
東洋電氣商會合資會社	八四〇	北川電氣工務所	八四〇	成和公司	八四〇	大澤洋行	八四〇
中村昌太商店	八四〇	是枝干規商店	八四〇	東洋商店	八四〇	義昌洋行	八四〇
合資會社日興社	八四〇	宏榮洋行	八四〇	飯田工業所	八四〇	太平洋行營業部電線工場	八四〇
ハライ電機商會	八四〇	佐藤電氣株式會社	八四〇	今西米次郎	八四〇	華南洋行	八四〇
合資會社弘中會社	八四〇	齊藤公司	八四〇	大島洋行	八四〇	黒木洋行	八四〇
藤田成三郎	八四〇	榮電氣工業所	八四〇	源隆洋行	八四〇	兒玉貿易商行	八四〇
藤野商會	八四〇	大連電機製作所	八四〇	華東洋行	八四〇	興隆洋行	八四〇
二葉電氣商會	八四〇	泰預洋行電氣部	八四〇	源隆洋行	八四〇	佐藤商會出張所	八四〇
松下商店	八四〇	武重商會	八四〇	三興洋行	八四〇	上海便利社	八四〇
松本電氣商會	八四〇	谷澤電氣企業所	八四〇	慎昌洋行	八四〇	合資會社須藤電氣店	八四〇
滿鮮電工社	八四〇	中和電氣行	八四〇	中華電氣商會	八四〇	正電社	八四〇
三村清治商店	八四〇	電工公司	八四〇	同和洋行	八四〇	千代田電氣水道公司	八四〇
三好商會	八四〇	都甲一雄	八四〇	藤岡電氣商會	八四〇	合資會社三友電氣公司	八四〇
御手洗堂	八四〇	合資會社登喜和商店	八四〇	實信洋行	八四〇	中國工業株式會社	八四〇
森電氣商會	八四〇	內藤商店	八四〇	滿洲電機商會	八四〇	日本電氣材料公司	八四〇
山川茂藏商店	八四〇	中島電氣工社	八四〇	和登商行支店	八四〇	中桐洋行	八四〇
若泉電氣事務所	八四〇	日電會	八四〇	東興電料公司	八四〇	眞崎洋行	八四〇
安河内鐵工所	八四〇	荻野電氣工務所	八四〇	長沼商店	八四〇	泰信洋行	八四〇
橫山商店	八四〇	繁榮洋行	八四〇	合資會社弘瀨工務所	八四〇	追加之部	八四〇
	八四〇	福田二郎商店	八四〇	田中電機商會	八四〇	森盛電會	八四〇
	八四〇	増尾十郎商店	八四〇	高田商行	八四〇	山田組電氣部	八四〇
	八四〇	岡橋電氣合資會社	八四〇	大島商行	八四〇	渡邊商店	八四〇
	八四〇	合資會社隆商會	八四〇	高山電機商會	八四〇	渡邊電氣店	八四〇
	八四〇	毛利顯一	八四〇		八四〇	原田電氣商會岡山支店	八四〇
	八四〇	山形洋行	八四〇		八四〇		八四〇

滿洲 支那 追加

官廳に關する職員(事務官、技師、教官)一覽

Table listing government offices and their staff. Columns include office names (e.g., 逓信省, 陸軍省, 海軍省, 外務省) and staff counts (e.g., 八五二, 八六二, 八六四, 八六七).

昭和四年電氣年鑑目次

Table of contents for the 1929 Electrical Yearbook, listing various departments and their page numbers.

電氣に關する學校一覽

Table listing schools related to electricity. Columns include school names (e.g., 東京帝國大學, 京都帝國大學, 大阪工業大學) and their page numbers.

昭和四年電氣年鑑目次

Table of contents for the 1929 Electrical Yearbook, listing various departments and their page numbers.

成所……………八六
電信協會管理無線電信講習所……………八六
電氣協會工手養成所……………八七

電氣に關する 學會及協會一覽

社団法人人工學會……………八九
社団法人電氣學會……………八九
日本電氣工藝委員會……………九〇
社団法人電信電話學會……………九〇
電信電話用品標準調查委員會……………九〇
社団法人日本動力協會……………九〇
社団法人照明學會……………九〇
社団法人工業化學會……………九〇
社団法人機械學會……………九〇
社団法人土木學會……………九〇
社団法人建築學會……………九〇
社団法人火兵學會……………九〇
社団法人造船協會……………九〇
農事電氣協會……………九〇
社団法人日本鐵鋼協會……………九〇
社団法人日本鐵業協會……………九〇
社団法人帝國鐵道協會……………九〇
社団法人鐵道同志會……………九〇
財團法人工政會……………九〇
社団法人電氣協會……………九〇

社団法人帝國發明協會……………九七
化學工業協會……………九七
社団法人衛生工業協會……………九七
社団法人帝國瓦斯協會……………九七
財團法人通信協會……………九八
社団法人電信協會……………九八
社団法人日本度量衡協會……………九八
社団法人大日本電氣協會……………九八
社団法人家庭電氣普及會……………九八
社団法人日本ラヂオ協會……………九八
日本放送協會……………九八
東京放送局(關東支部)……………九八
大阪放送局(關西支部)……………九八
名古屋放送局(東海支部)……………九八
廣島放送局(中國支部)……………九八
熊本放送局(九州支部)……………九八
仙臺放送局(東北支部)……………九八
札幌放送局(北海道支部)……………九八
京城放送局……………九八
大連放送局……………九八
日本工業俱樂部……………九八
大阪工業會……………九八
電氣俱樂部……………九八
中央電氣俱樂部……………九八
朝鮮電氣協會……………九八
臺灣發明協會……………九八
滿洲技術協會……………九八

電氣に關する 組合一覽

東京電氣業組合……………九五
マツダ助成會……………九五
國產電球聯合會……………九五
蓄電池同業組合……………九五
東京電燈組合……………九五
東京電友會……………九五
東京磁子業組合……………九五
瀨戶電磁氣同業組合……………九五
會津陶磁同業組合……………九五
靜岡電氣業組合……………九五
名古屋電氣業組合……………九五
小樽電氣業組合……………九五
大阪電氣商工組合……………九五
關西電業會……………九五
京都電業會……………九五
東京ラヂオ商組合……………九五
日本西部ラヂオ商組合……………九五
CKラヂオ商組合……………九五
小樽ラヂオ商組合……………九五

電氣に關する 試驗所研究所 一覽

逓信省電氣試驗所……………九〇
鐵道省大臣官房研究所……………九〇
商工省燃料研究所……………九〇
商工省東京工業試驗所……………九〇
商工省大阪工業試驗所……………九〇
朝鮮總督府燃料運轉研究所……………九〇
臺灣總督府中研究部工業部……………九〇
東京市電氣局研究所……………九〇
大阪市立工業研究所……………九〇
社団法人電氣協會……………九〇
同電氣計器大阪試驗所……………九〇
同關西試驗所……………九〇
財團法人理化學研究所……………九〇

次 目 録 年 氣 電 年 四 和 昭

合資會社電氣之友社(東京)……………九五
電氣自由新聞社……………九五
株式會社オーム社……………九五
電氣工學社……………九五
カレント社……………九五
電通社……………九五
日立評論社……………九五
通訊社……………九五
電氣青年社……………九五
電氣經濟研究會……………九五
電氣報知社……………九五
合資會社東京電氣與信所……………九五
株式會社電氣日報社(同)……………九五
無線タイムス社……………九五
無線實驗社……………九五
社団法人日本ラヂオ協會……………九五
日本無線電話普及會(同)……………九五
株式會社電氣新報社(大阪)……………九五
合資會社電界社……………九五
株式會社電氣生活社(屬)……………九五

電氣雜誌及新聞社一覽

電氣新聞社……………九七
電氣之日本社……………九七
電熱社……………九七
電氣通信社……………九七
大阪電氣商報社……………九七
電氣評論社……………九七
電氣公論社……………九七
電氣と運輸社……………九七
初等電氣雜誌發行所(愛知)……………九七
電力と産業社……………九七
東北の電氣社……………九七

電氣圖書一覽

電氣理論及電氣工學……………九五
測定……………九五
電力輸送、配電……………九五
發電所及原動機……………九五
電燈及照明、附電熱……………九五
電氣鐵道……………九五
電氣機械及器具、附材料……………九五
電池……………九五
電氣化學及物理……………九五
電信電話……………九五
無線電信電話……………九五
電氣一般、附法令、問答、雜、講義錄……………九五
電氣試驗所研究報告……………九五
東京工業試驗所報告……………九五
大阪工業試驗所報告……………九五

昭和四年電氣年鑑廣告目次

次 目 告 廣

(ア)安藤鐵工所	二四	(ヲ)大阪亞鉛鐵工所	特四九	(サ)齊藤電氣株式會社	三四
愛國電氣株式會社	一六	大阪電球株式會社	特四五	酒井鐵工所	特一三
淺野物産株式會社	特二五	大阪變壓器株式會社	特三	櫻田機械製造所	一五
旭電氣株式會社	特二三	沖電氣株式會社	特五〇	三光電球製作所	特三二
朝日乾電池株式會社	二九	(カ)川北電氣企業社	特四二	三陽社製作所	四四
麻布電機工業所	特二一	神奈川電氣株式會社	特一〇	サンデン電氣株式會社	特四七
蘆田工業所	特三三	龜山商店	特四一	(シ)島田電氣商會	二五
旭濾紙製造所	三七	(キ)北村石油店	表紙ノ存	シーベル・ヘグナー商會工業部	四六
アメリカン電氣商會	特三九	共榮電氣商會	三一	(ス)菅原電氣商會	表紙ノ三
(イ)井上電機製作所	特二四	京三製作所事務所	特二七	住友電線製造所	特一八
今中工場	一一	京都電球株式會社販賣部	特二二	ブルツェルブラザース工業事務所	四七
石川商會	特二二	京都電燈株式會社	三	(セ)整電社製作所	三八
岩田兄弟商會電氣部	二五	桶東商事株式會社	特六	精工社製作所	二六
岩瀨電氣工業株式會社	五	(ク)黒坂電球製作所	一四	セーリス商會	特八
(ウ)宇治川電氣株式會社	三	(キ)協立興業社	一一	(タ)大正電機製作所	一三
植松合名會社東京支店	八	(コ)弘電社	一〇	大日本電球株式會社	三二
(エ)エビス電球株式會社	特三六	合同電機製作所販賣部	特四〇	竹田商會	二四
エル・レイホルド商會	四五	神戸製鋼所島羽電機部	特七	泰東社	特三八

次 目 告 廣

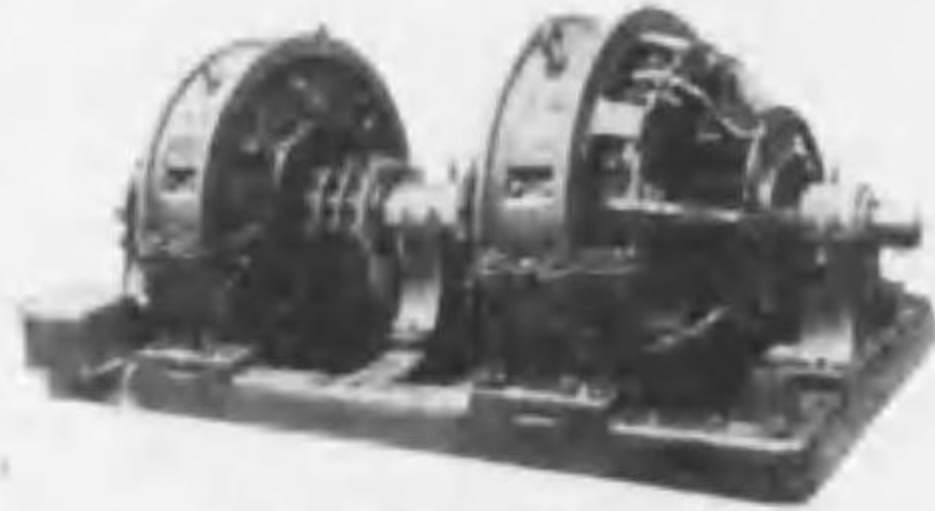
高岳製作所	特一一	常盤商會	六	セ・ブリティイシ・トムソン・ハウス・トナ	特三〇
高島屋飯田株式會社	特四	(ナ)永江鐵工所	特四八	コムパニイ・リミテッド	七
高柳電氣工業所	特二	(ニ)日本ワエスチングハウス電氣株式會社	表紙ノ一	(ホ)北斗電球株式會社	二八
(チ)チエルベルウス繼續合資會社	特四三	日本碍子株式會社	特二八	(マ)馬來工業株式會社	特九
(テ)帝國電氣株式會社	特一七	日通電氣商會	三三	松重電機商店	一九
電業社原動機製造所	特三五	日本電氣株式會社	特二三	三菱造船株式會社	表紙ノ四
電成社	記事中	日本電線株式會社	特一	三菱電機株式會社	特二一
電友社	中扉(本邦電氣界)	日本電線製造株式會社	特一	三森電球製作所	一九
寺岡製作所	特三七	日本特殊鋼台資會社	特三一	宮田商店	三三
(ト)東海電機製造株式會社	三〇	新潟鐵工所	特一六	都電機製作所	一八
東京イーシー工業株式會社	八	(ノ)野口商會	二七	水谷拾吉商店	二二
東京工機製作所	三六	(ハ)高中工場	二〇	(メ)明電會	表紙ノ二
東京製紙工業所	四	服部製作所	特一九	(モ)森廣商店	三一
東京製線株式會社	特一五	(ヒ)日立製作所	二一	(ヤ)尾井乾電池合資會社	特三四
東京電氣株式會社	一	日之出乾電池製造所	二一	山下商店	一七
東京電燈株式會社	二九	平野製油所	一七	山田電線製造所	三七
東洋コムバンド製造所	三九	(フ)富士製線所	三五	(ヨ)横河電機製作所	特一四
東洋電機製造株式會社	四八	二葉商店	特五		
東洋パブコック株式會社	二	藤倉電線株式會社	特二六		
東邦電力株式會社	二	古河電氣工業株式會社	特二六		

昭和四年電氣年鑑

日立製作所

東京丸ノ内仲通十五號館

日立製品各種



迴轉變流機
型 A2 式 Ts
容量 2000KW. 相數 6相



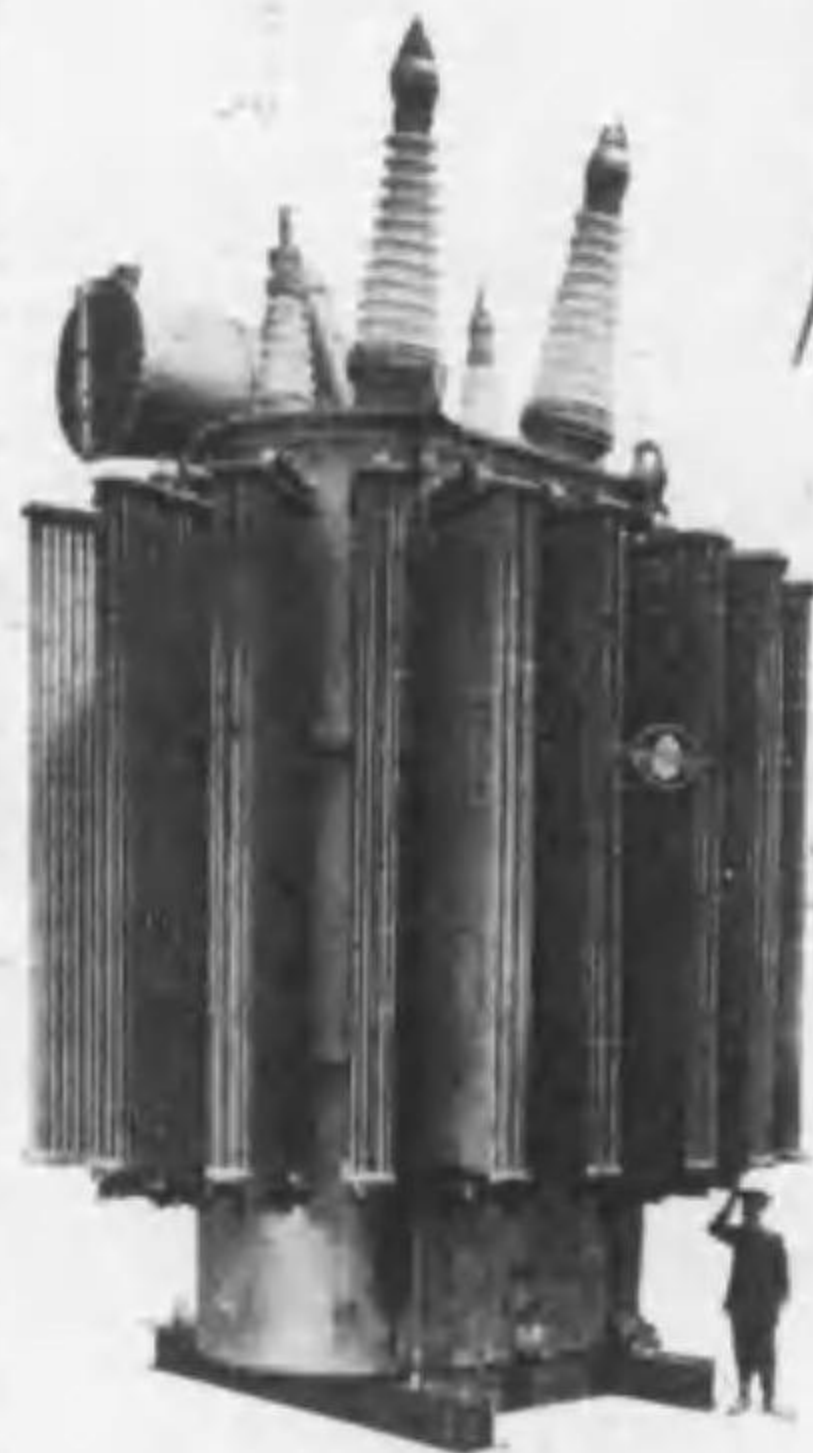
豎軸型發電機
容量 10000K.V.A 電壓 6600V
周波數 50 サイクル
迴轉數 500 (毎分)



油入遮斷器
遮斷容量 1500000K.V.A.



豎軸型水車
容量(馬力) 1400 落差 392 呎
水量 470 個 迴轉數 500 (毎分)



單相油入自冷式變壓器
容量 13,340 K.V.A.
一次電壓 7000V-7350V-7700V
二次電壓 13400V-13900V-14500V
接續 Δ-Y 系統



鐵道省 EF-52 型 電氣機關車
重量 100 噸

特一九

最新刊

送電及配電

工學士 藤田經定 共著 前編 送電の部

紙數 三百九十餘頁
圖表 百數十個
定價 三圓九十錢
送料 二十七錢

本書は電氣界の先輩にして藤田電燈工學其他各種の著述を以て斯界に貢獻せられたる故工學士藤田經定氏が晩年更に本書の著述を企圖し、其の遺稿を繼承して、最新の學理と多年實際の研究とを融合せられたる工學士藤田經定氏の遺稿と新鋭なる研究とを以て渾成せられたる本書の内容に至りては類書數卷に匹敵す。其の意義は、老練の遺稿と新鋭なる研究とを以て渾成せられたる本書の内容に至りては類書數卷に匹敵す。其の意義は、老練の遺稿と新鋭なる研究とを以て渾成せられたる本書の内容に至りては類書數卷に匹敵す。

九州帝國大學教授工學博士 森 兵吾氏著

交流理論

菊判 洋裝
紙數 三六〇餘頁
定價 金三圓五十錢
送料 二十七錢

九州帝國大學教授森博士の新著、多年の實地指導から齎した本書は徹頭徹尾、正確なる根柢を作らんとする篤學者のため最新の學說を親切に記述せるもの、本書の如く實力養成の爲めに細心の注意を拂ひし良著は他にありや？本書の發表機許もなく既に各學校より教科書として採用の光榮を得たり。

東京市京橋區南金六町五(新橋際) (電話銀座二五二五) 振替東京二二〇三

合資 電氣之友社發行

大阪市北區堂島中一丁目三 電話一九〇六 振替大阪三三五四八



營業品目

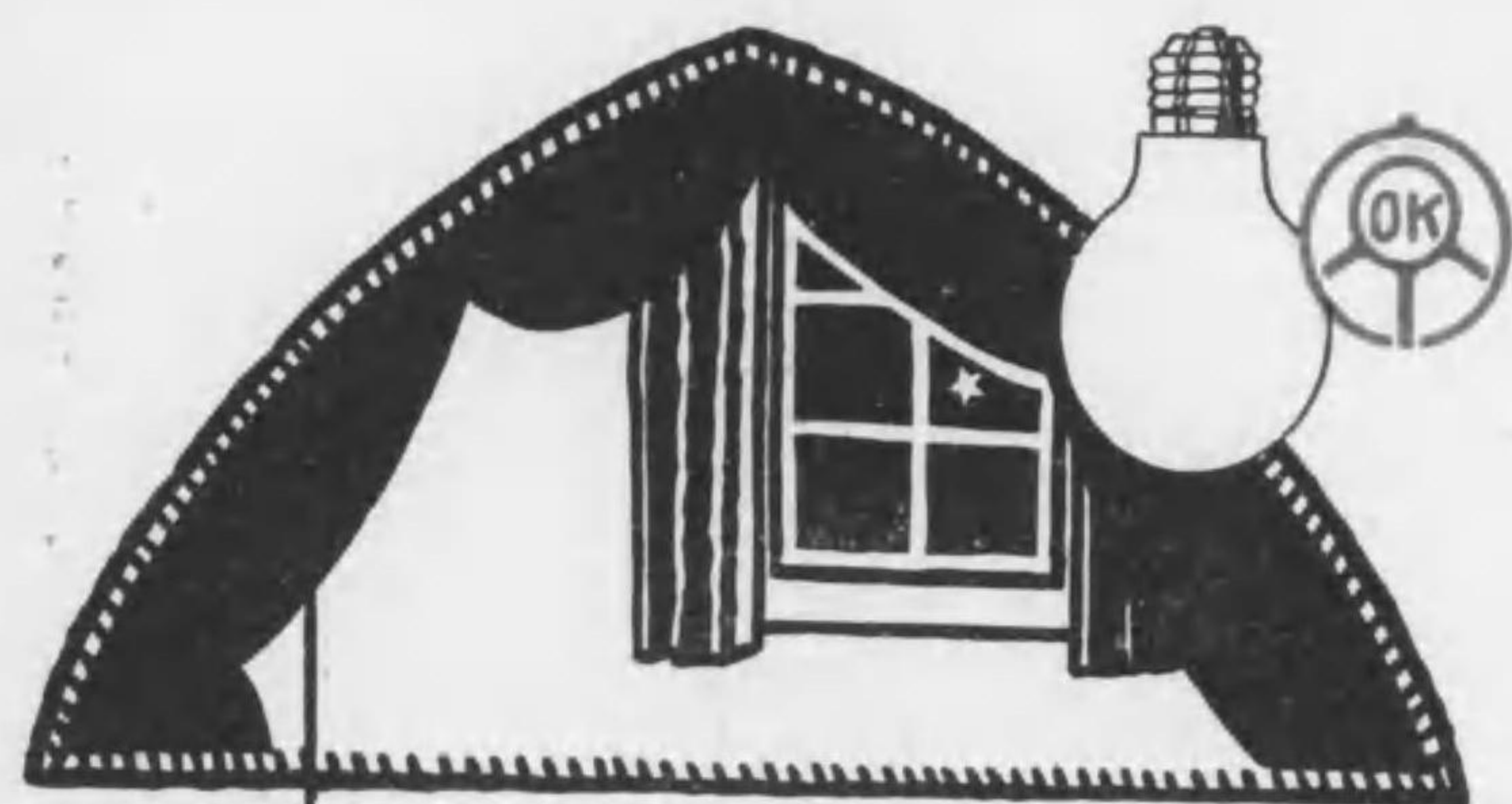
手働、自働、電話機、交換機、各種電燈、各種電燈、電熱、電磁用諸材料、器具、電氣測定器、電氣時計、工業用品、電燈電話諸工事設計監督施工、請負

NEC

大阪支社 大阪市東區北酒田丁目
 京城出張所 京城市府前町二丁目
 大連出張所 大連市大連通り五二番
 臺北出張所 臺北市本町一丁目
 九州總代理店 門司市東本町門司商會

日本電氣株式會社

町國四田三區芝市京東
 (10) 00-四 (45) 田三話電
 五〇-四 川直宿



**オーケーランプ
 エコミー
 半瓦斯入ランプ**

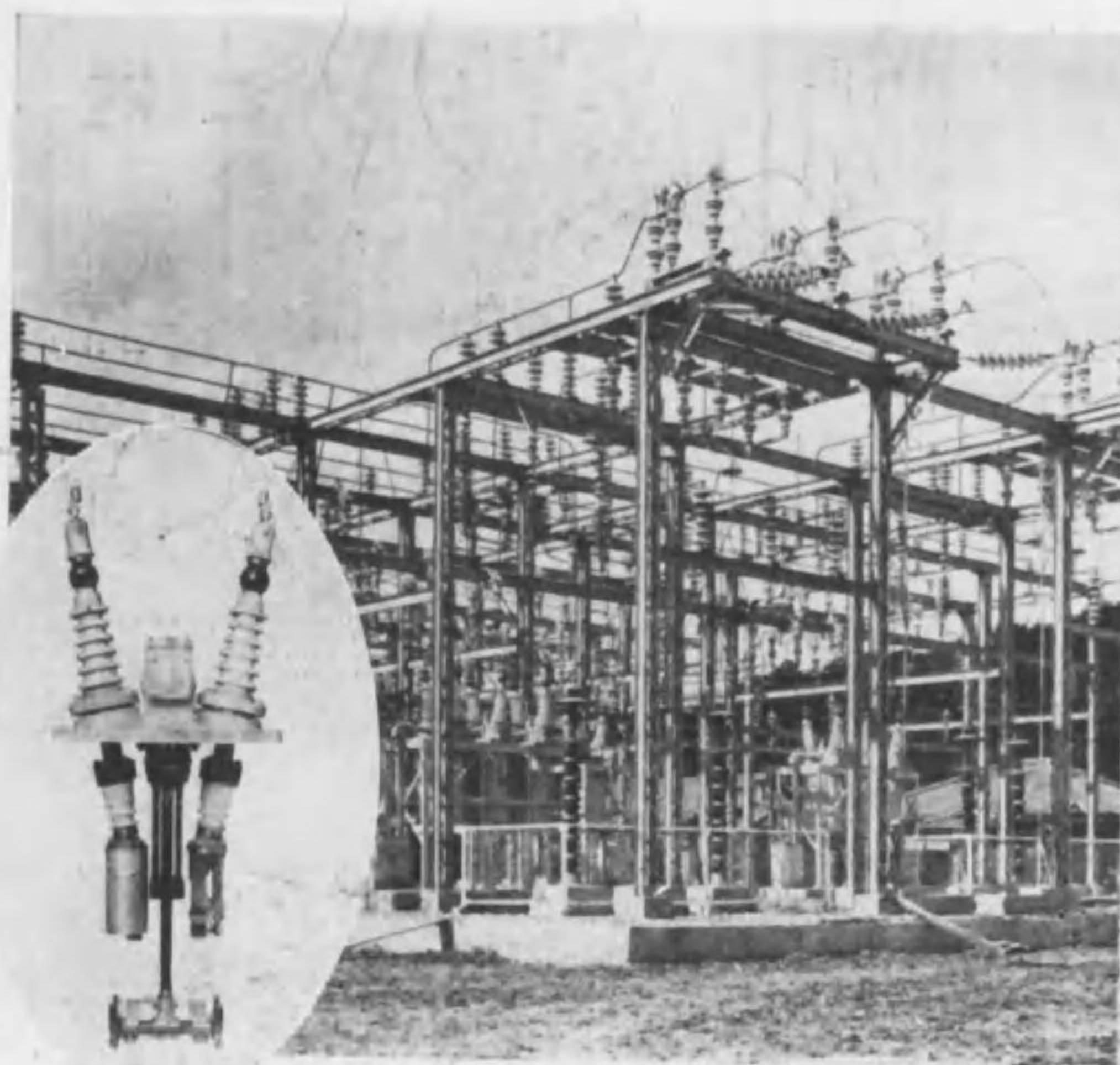
京都電球株式會社
 大阪市北區堂島ビルテイツク四階
 電話北二九八四番

販賣部

本社及工場 京都市京都駅南
 電話下二八五五番

東部發賣元 東京市麹町區丸の内ビルテイツク
 共栄電氣會社
 電話丸の内一七三〇番

配電上盤



超高速接觸部

置裝安保、具器壓高、具器高特

井上電機製作所 株式會社

本及工場 東京都下市京 區油小路八條電話 長九六一
 〇六九
 東京出張所 東京市丸の内昭内和比叡路二五
 電話九一三
 大阪出張所 大阪西區土佐堀一丁目大比叡路
 電話一七三
 八五四六

東洋第一の發電所

機械の爲に
經濟の爲に

優秀潤滑油



ルーブリン

タービンオイル
 ガヴァナーオイル
 トランスフォーマーオイル
 スキッチオイル

米國シンクレア製油會社

總代理店 淺野物産株式會社

本店 東京市丸の内海上ビル六階
 支店 大阪市東區瓦町山口銀行ビル



關東水力電氣株式會社
作久發電所 (75,000 K.W.)

古河製衣高壓電纜

超高壓電纜

HHH
TTT
SSS
LLL
型型型

特別高壓電纜

TTT
SSS
LLL
型型型



古河電氣工業株式會社

本邦電氣界

昭和三年

○電燈、電力、電氣鐵道	○電氣事業統計	○電氣化學工業	○電氣商工業	○特許	○有線無線電信電話	○學事及會合	○法令	○人事	○電氣圖書	○日誌
.....
一頁	二七	四七	四七	四九	五九	五九	六六	七三	七三	七九

創業明治二十四年

工 事 部

都市建築附帯電気設備工事
送電線路配電線路發電所工事
電話電鈴避雷針、家庭電化工事
其他内外一般電気工事設計監督請負



株式 電 友 社

販 賣 部

電気機械器具輸入製造販賣修理
特許屋井乾電池特約販賣店
森式亞鉛引外燈總代理店
ダイヤモンド印テーパー發賣店

東京市京橋區南金町六番地(銀座通新橋) (電話銀座四二番 八五七番)

昭和三年中本邦電気界

一 電 燈 電 力、電 氣 鐵 道

昭和三年電氣年報

電燈電力 昭和三年の電燈電力事業界は其の前年の歳末に當りて關東電力戰の餘波、東京電燈、東京電力が急激に握手を交はしたる後、電力戰の猛烈なる深刻化は一時鎮まりたるの感ありしと雖も、尙且つ東京電燈の名古屋進出問題が決定認可に至る迄に相當の注目を惹き、或は又神戸市を對象とせる日本電力の電力争闘の如きも一種の緊張を以て迎へらるゝあり、總てに尙電力戰の氣分何となく残存せるやを思はしむるは蓋し發電事業本来の性質上自然の勢の然らしむる處なるべし。

殊に本邦電燈電力供給史上未だ嘗て見ることを得ざりし電燈料金値下要求の難問題が、富山縣下其他に極めて深刻なる電燈争議を惹起し、全國の電氣事業者に革新氣運を傳へたり。

富山電燈争議は既に前昭和二年の頃よりして會社對需要家の反目を來たしつゝありしものにして、昭和三年に至つては形勢全く惡化して料金値下要求より料金不拂同盟となり、七月下旬會社側が消燈を斷行するに及んで争議の深刻は漸く外觀上の險惡を露出するに至れるものなり、之と前後して全國各方面に亘り料金値下争議は流行的の勃發を見るに至りたり、電氣料金に關して供給者需要者間に面倒なる問題を惹起せし事は既に可なり遠き以前より起り來りし處なるが、富山縣下の如く争議同盟の形體を比較的大規模に完成したる事は、我國電氣事業史上未だ嘗て見ざる處、而かも之に依りて、電氣事業根本調査の本義が眞剣味を加へ、

昭和三年中本邦電気界

事業經營上に新時代のヒントを與へたるものと解すべく、昭和三年は確かに我國電氣史上に電燈争議なる全國的事實を加へたるの年なりき。

電力戰に就ては前項争議の如き特筆すべき大なる事柄も無く、東京電燈の名古屋進出は一月中認可を得ると同時に一方には對東京電力との暫定的協定も遂げ得たる形となり、東京電燈の専會長は是等の段落を機として民間事業者の電力統制會議を幹旋するに至れり。東京電燈は昭和三年中に亘り電力戰の創規を極すべく、數次營業方針の研究を發表し職制改正を斷行する處ありき。殊に財的方面の活躍としては五月末舊社債其他整理のため、新しく低利内外債二億四千餘萬圓の契約を完成して斯界にショックを與へたり。關西方面にては、神戸市を對象として日本電力並宇治川電氣が電力戰を稍變態的の形式にて實現せり。而も斯種の事實は本邦今後の電力問題に關聯して注目すべき價値を有す。最近數年間に亘り東京進出の計畫を進めたる日本電力は、先づ神奈川県下を活躍の地盤として昭和三年早々に小田原電氣鐵道との合併手續を終り、更に七月には相武電力をも併合して其勢力を横濱市迄進展せるが、同社の東京進出活躍は鶴見火力發電の許可と共に大に將來を注目せられつゝあり、

昭和三年中に臺灣日月潭發電問題の工事再燃運動を見たる事は電力界の將來に對して相當注目すべき價値を有するものと謂ふべし。

電力普及問題としてはレッドシールプランの研究など幾分具體化の形

一

を整へたりと雖も、尙未だ纏りたる意見のものとはならざる様子なり、昭和三年中電燈電力界の工事として大規模のものを擧ぐれば、完成水力新發電所に、關東水力の佐久發電所五萬五千キロ、東信電氣阿賀川第一發電所四萬キロ、梓川電力霞澤發電所の二萬五千キロ等あり。火力發電所としては東京市電芝浦の一萬キロが昭和三年中完成せり、送電線工事としては九州送電が新設發電地宮崎縣東千穂より大分縣の九州水力女子畑發電所迄四十六哩十一萬ワルト幹線を竣工せり。

電氣鐵道 昭和三年中に於て電氣關係の鐵道免許、軌道特許等新に發表せられたるものは、其數相變らず多く一時自動車問題其他にて兎角悲觀せられたる地方鐵道にも、自ら復活の方途を見出したるもの、如く觀察せらる、自動車經營線の監督權が鐵道方面に移りたる事も恐らく一つの理由を成立せしむるものと謂ふべし、鐵道の出願計畫等は相當に盛運な思はしめたりと雖も、其等の實質的方面は一般事業界の沈滞時期に際會して必ずしも華やかならず、電氣鐵道界は總括して昭和三年中に比較的平穩なる一歳を過したるものと考ふるを得べし。

東京地下鐵道は昭和二年の十二月廿日上野淺草間を初開通したるものにして實質上には昭和三年早々の開業と考へて差支無く、而も我國最初の都市地下鐵道として名實共に好成績を擧げ得たり。

鐵道省熱海線電化は三月初を以て熱海迄全部完成し、鐵道省の關係官は三月廿五日を以て熱海町に、熱海線横須賀線電化祝賀會を開催せり、又昭和三年中に實現したる特殊型式の電車としては阪神急行沿線の新花屋温泉土地株式會社經營にて本邦最初の無軌條電車が八月一日より開通又京都電燈經營山ヶケールの空中旅客索道が六百餘米を十月廿一日より開始せる等注目特筆すべきもの多し。

電氣鐵道關係の事業として昭和三年中設立又は設立許可せられたるも

の、内比較的大資本の事業を擧ぐれば左記の如し。

榮老電氣鐵道(岐阜縣、二月設立、資本金五百萬圓)、三信鐵道、(東京府、資本金一千萬圓)、筑波高速電氣鐵道(東京府、七月設立、資本金千五百萬圓)東京山手急行電鐵(東京府、十月設立許可、資本金三千四百萬圓)愛知中央鐵道、(愛知縣、五月設立許可、資本金五百萬圓)等。

地方鐵道として昭和三年中新線運輸開通せるものは頗る多く、其主なものは、新京阪鐵道(淡路、京都間其他)、富士身延鐵道(甲府迄)、池上電氣鐵道(五反田驛に超高架線完成)、高野山電氣鐵道(延長)、長野電鐵(延長)、上毛電氣鐵道(群馬縣下約一六哩新線)、奈良電氣鐵道(京都西大寺間二一哩餘、中途宇治川鐵橋のノーヒーア構造等注目すべし)、神戸有馬電氣鐵道(淡川有馬間一四哩新線)。

昭和三年中の鐵道免許下付は約五〇件、軌道特許約二二件なり、其の内には相當注目すべき計畫多し

最後に特筆すべきは、從來唱道せられたる電氣統制問題は愈々眞劍の度を加へ、昭和三年中に於て所謂五大電力會社調査會、電氣事業根本調査會の如き異常の協議機關の成立なり、斯種の調査會は電力戰の深刻化、料金問題、資金問題、等につき當然の產物ともいふべく、電氣界の現在及將來に對して大に矚目すべき機關なり。

昭和三年中電氣事業一覽

(逓信省電氣事業月報ニ依ル)

地方	事業名	目的	供給區域又ハ軌道經過地概略	原動力	電氣力	資本金	事務所ノ位置	備考
群馬	新三河鐵道株式會社	供給	山田郡福正村、勢多郡黒保根村	電氣力	一五〇	三三〇,〇〇〇	山田郡福岡村淺原	十月
鳥根	濱益電氣株式會社	供給	飯石郡來島村	水力	三〇	八二,八八八	飯石郡來島村	
靜岡	遠三鐵道株式會社	供給	濱益郡濱益村	水力	三〇	四〇,〇〇〇	札幌市北四條西三丁目	
兵庫	播磨電氣鐵道株式會社	供給	自引佐郡氣賀町廣岡	電氣力	五〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	名古屋市南區熱田東町	三月
高知	沖島電氣株式會社	供給	自播磨郡新宮村井野原	電氣力	一五〇	八五〇,〇〇〇	安栗郡山崎町麻澤	
鳥根	中村	供給	幡多郡沖ノ島村	水力	一〇	五〇,〇〇〇	幡多郡沖ノ島村母島	
東京	東京大宮電氣鐵道株式會社	供給	自埼玉縣北埼玉郡大宮町	電氣力	一,五〇〇	六,〇〇〇,〇〇〇	北足立郡大宮町	四月
北海道	洞爺湖電氣鐵道株式會社	供給	自札幌市北區洞爺湖町	電氣力	一〇〇	四〇〇,〇〇〇	札幌市南一條西六丁目	
東京	御嶽登山鐵道株式會社	供給	自西多摩郡三田村御嶽本入	電氣力	一〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	龜町區内幸町一ノ三	五月
群馬	上毛電氣鐵道株式會社	供給	自前橋市曲輪町至榑生市安樂土	電氣力	一,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	龜町區永樂町一ノ一	
神奈川	大山鋼索鐵道株式會社	供給	自兒玉郡大畑町中道	電氣力	一〇〇	五〇〇,〇〇〇	龜町區内幸町二ノ四	
愛知	愛知中央鐵道株式會社	供給	自名古屋市中區高針東	電氣力	五〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	名古屋市中區新榮町三ノ二九	

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

地方	事業	事業者名	目的	供給區域	原動力	電氣力	資本金	事務所位置	備考	月
愛知	鐵道	三信鐵道株式會社	鐵道	自北設樂郡三輪村川合至伊那郡下川路村瀨田	受電	1,000	10,000,000	豐町區有樂町二ノ一		六月
高知	供給	高知電氣株式會社	供給	高知郡上野村	受電	200	6,000,000	高知郡橋原村		七月
群馬	供給	群馬電氣株式會社	供給	多野郡中里村	受電	200	5,000,000	多野郡上野村		七月
埼玉	供給	南毛電燈株式會社	供給	秩父郡倉尾村	受電	200	4,800,000	千葉縣山武郡日向村		七月
愛知	供給	佐久島電氣株式會社	供給	幡豆郡佐久島村	受電	200	1,500,000	名古屋市中區岩井町		七月
大阪	鐵道	信貴山電鐵株式會社	鐵道	自中河內郡中安村山如至中河內郡中安村大鶴	受電	300	7,000,000	大阪市天王寺區上本町六丁目一		八月
岡山	鐵道	稻荷山ケ一株式會社	鐵道	自佛郡高松町稻荷山地內至筑波郡田井村白井	受電	300	1,500,000	吉備郡高松町稻荷		八月
東京	鐵道	筑波高速電氣鐵道株式會社	鐵道	自東京府瀧野川町下田端至筑波郡田井村白井	受電	3,000	10,000,000	豐町區八重洲町一ノ一		八月
愛知	鐵道	城北電氣鐵道株式會社	鐵道	自名古屋市中區西區押切町至東春日井郡小牧町小牧	受電	1,500	1,500,000	名古屋市中區東區大曾根町		八月
北海道	鐵道	大沼電鐵株式會社	鐵道	自釧路郡標津村至茅野郡麻郡村麻郡知	受電	1,500	7,000,000	札幌市南一條西三十三丁目		八月
北海道	鐵道	標津電氣株式會社	鐵道	自釧路郡標津村至釧路郡標津村	受電	300	1,700,000	釧路市旗砂町		八月
東京	鐵道	澁谷急行電氣株式會社	鐵道	自澁谷町上通八哩七至北多摩郡武藏野村吉祥寺	受電	1,000	4,000,000	豐町區永樂町二ノ七		九月
岐阜	鐵道	金華登山鐵道株式會社	鐵道	自岐阜市右衛門町至岡崎市金華山頂	受電	100	2,500,000	岐阜市竹屋町		九月
岐阜	供給	東山手急行電氣株式會社	供給	自加茂郡福地村至深川郡西平井町	受電	700	11,100,000	加茂郡福地村		十月
東京	鐵道	東京山手急行電氣株式會社	鐵道	自深川郡西平井町至香取郡佐原町仁井宿	受電	6,000	3,000,000	府下千駄谷町		十月
千葉	鐵道	九十九里電氣鐵道株式會社	鐵道	自香取郡佐原町仁井宿至海上郡飯岡町新畑	受電	700	2,400,000	京橋區山下町一七		十月
靜岡	鐵道	濱松電氣鐵道株式會社	鐵道	自濱松市松江町馬込堤西至濱名郡中ノ町北裏	受電	700	2,000,000	濱松市東田町		十月
長野	鐵道	善光寺登山株式會社	鐵道	自長野市湯田川添至同市坂中	受電	100	3,500,000	豐町區八重洲町一ノ一		十月

昭和四年電氣事業

地方	事業	事業者名	目的	供給區域	原動力	電氣力	資本金	事務所位置	備考	月
香川	鐵道	琴平急行電鐵株式會社	鐵道	自綾歌郡坂出町至仲多度郡琴平町	受電	100	1,500,000	綾歌郡坂出町		十一月
宮崎	鐵道	宮崎電氣鐵道株式會社	鐵道	自宮崎郡廣島町至東諸縣郡綾村北俣灰原	受電	400	1,300,000	宮崎市太田町		十一月
青森	鐵道	八戸水力電氣株式會社	鐵道	自三戸郡八戸町新野至同郡小中野町新野	水力	100	—	三戸郡八戸町	從來供給事業ノ電氣化セムトス	十一月
山形	鐵道	庄内電氣鐵道株式會社	鐵道	自鶴岡市大寶寺至同郡川島郡加茂町	水力	200	1,100,000	西田川郡加茂町		十一月
北海道	鐵道	雄武電氣株式會社	鐵道	自釧路郡雄武村至同郡新井町	水力	100	1,100,000	札幌市北三條西一丁目		十一月
千葉	鐵道	北總鐵道株式會社	鐵道	自東葛飾郡柏町至同郡野田町東下町	受電	1,500	4,500,000	東葛飾郡柏町		十二月
兵庫	鐵道	住吉鋼索鐵道株式會社	鐵道	自武庫郡住吉村赤塚山至同郡同村稻森	受電	100	200,000	武庫郡住吉村		十二月
地方	事業	事業者名	目的	供給區域	原動力	電氣力	資本金	事務所位置	備考	月
三重	鐵道	松坂鐵道株式會社	鐵道	自飯南郡松坂町日野至同郡大石村小今野	受電	100	200,000	飯南郡松坂町		一月
三重	鐵道	桑名電軌株式會社	鐵道	自桑名郡大山田村桑名至同郡桑名町本町	受電	300	100,000	桑名郡桑名町今一色片町		一月
長野	電力供給	天龍川電力株式會社	電力供給	長野縣一圓電力百馬力以上供給	水力	1,500	6,000,000	豐町區永樂町一ノ一	既設鐵道電化	二月
秋田	鐵道	小坂鐵道株式會社	鐵道	自鹿角郡小坂町小坂鐵山至秋田郡長木村雪澤	受電	200	1,000,000	鹿角郡小坂町小坂鐵山		四月
東京	供給	八丈島興業株式會社	供給	八丈島三根村	水力	300	1,500,000	豐町區永樂町一ノ一		四月
群馬	供給	安謐水力電氣株式會社	供給	山田郡福岡村勢多郡黒保根村	水力	100	3,500,000	山田郡福岡村		五月
和歌山	供給	美濃郡都茂村	供給	有田郡安謐村	水力	200	3,000,000	有田郡安謐村		五月
和歌山	供給	高野山電氣鐵道株式會社	供給	美濃郡都茂村	水力	400	4,500,000	美濃郡都茂村		六月
和歌山	供給	高野山下神谷間六哩九	供給	高野山下神谷間六哩九	水力	1,000	1,500,000	大阪市南區難波新地六番町		六月

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

地方	事業名	發電所名	發電所位置	原動力	電氣	事業所在地	備考	月
愛媛	士佐吉野川水力電氣株式會社	供	土佐郡大川村	水力	汽力二、六七〇	新居郡新居濱町	六	七月
栃木	兩毛電氣株式會社	供	安蘇郡野上村、飛騨村、新合村、水室村、三好村、上都賀郡永野	受電	一〇〇	安蘇郡三好村		
秋田	雄勝鐵道株式會社	供	自雄勝郡湯澤町清水	受電	一〇〇	雄勝郡西馬音内町		
高知	沖島電氣株式會社	供	至同郡西馬音内町中野	受電	八	幡多郡沖島村		
鳥取	廣瀬鐵道株式會社	供	自能義郡荒島村荒島	受電	五、〇〇〇	能義郡廣瀨町		
京都	鞍馬山電氣鐵道株式會社	供	自新瀨山	受電	七、〇〇〇	京都市下京區備前島町		
京都	奈良電氣鐵道株式會社	供	至愛宕郡野市村市原	受電	三、〇〇〇	京都市下京區備前島町		
岐阜	東美鐵道株式會社	供	伏見支線	受電	一、〇〇〇	久世郡宇治町		
山梨	安電電氣株式會社	供	至同郡堀内村金森	受電	五〇	可兒郡中村		
山梨	光明電氣鐵道株式會社	供	自可兒郡今渡町下惠土	受電	三〇	中瓦屋郡明穗村		
静岡	光電電氣株式會社	供	至同郡中村	受電	一〇〇	磐田郡見付町		
愛知	佐久島電氣株式會社	供	自磐田郡中泉町小浦	受電	一、〇〇〇	磐田郡見付町		
岡山	稻荷山ケーブル株式會社	供	至同郡光明寺村川久保	受電	一、〇〇〇	幡豆郡佐久島村		
地方	阿賀川水力電氣株式會社	供	吉備郡稻荷	受電	七	吉備郡高松町		
地方	北海電氣株式會社	發	飯石郡來島村下來島	電力	瓦	阿寒郡新地村、山郷村		
地方	濱益電氣株式會社	發	阿寒郡香辛村別原野	電力	瓦	瓦		

新設發電所

(昭和三年新設ノ許可ヲ受ケタルモノ)

地方	事業名	發電所名	發電所位置	原動力	電氣	事業所在地	備考	月
北海道	王子製紙株式會社	落合	札幌郡豐平町大字岸村	水力	尖頭三、三五〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	白井川	同郡同町村白井御料地	水力	尖頭一、一三〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	横澤第二	小縣郡長村下中井	水力	尖頭二、二〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	第二	天田郡下夜久野村額田	水力	尖頭一、七〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	第ニ	天田郡下夜久野村額田	水力	尖頭一、七〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	母島	天田郡岩尾村母島	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	光大寺	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月

昭和四年電氣事業一覽表

地方	事業名	發電所名	發電所位置	原動力	電氣	事業所在地	備考	月
北海道	王子製紙株式會社	落合	札幌郡豐平町大字岸村	水力	尖頭三、三五〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	白井川	同郡同町村白井御料地	水力	尖頭一、一三〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	横澤第二	小縣郡長村下中井	水力	尖頭二、二〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	第二	天田郡下夜久野村額田	水力	尖頭一、七〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	第ニ	天田郡下夜久野村額田	水力	尖頭一、七〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	母島	天田郡岩尾村母島	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	光大寺	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月
北海道	王子製紙株式會社	田村	田村郡澤村光大寺	水力	尖頭一、〇〇〇	特殊	七	二月

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

Table of electricity companies in Japan, 1928. Columns include: 地方 (Location), 事業者名 (Company Name), 發電所名 (Power Station Name), 發電所位置 (Power Station Location), 原動力 (Prime Mover), 電力 (Power), 備考 (Remarks), and 落成 (Completion Date). Rows list various companies like 富士電力株式會社, 伊那電氣鐵道株式會社, etc.

昭和四年電氣年鑑

Table of electricity companies in Japan, 1929. Columns include: 地方 (Location), 事業者名 (Company Name), 發電所名 (Power Station Name), 發電所位置 (Power Station Location), 原動力 (Prime Mover), 電力 (Power), 備考 (Remarks), and 落成 (Completion Date). Rows list various companies like 安謐水力電氣株式會社, 伊豫鐵道電氣株式會社, etc.

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

發電所出力變更

(昭和三年發電所ノ出力ヲ變更シタルモノ)

地方	事業者名	發電所名	原動力	既設	出カ	變更	出カ	備考
埼玉	東京電燈株式會社	平水	水力	常時一、一〇〇	特殊	常時一、一〇〇	特殊	
長野	山邊電氣株式會社	入水	水力	常時	特殊	常時	特殊	
宮城	仙臺市	土樋	水力	補給	二、〇〇〇	補給	二、〇〇〇	
山梨	東京電力株式會社	田代川第一	水力	尖頭六、七三三	常時七、一五〇	尖頭五、五〇〇	常時七、一五〇	
新潟	新潟水力電氣株式會社	沼垂	水力	補給	三、〇〇〇	補給	三、〇〇〇	
北海道	札幌送電株式會社	札幌	水力	常時一、〇九二	常時	常時一、〇九二	常時	
山梨	東京電力株式會社	田代川第一	水力	尖頭六、七三三	常時	尖頭五、五〇〇	常時	
德島	越前電氣株式會社	持田	水力	常時	三、〇〇〇	常時	三、〇〇〇	
福井	三重合同電氣株式會社	米谷	水力	補給	三、〇〇〇	補給	三、〇〇〇	
鳥取	廣島電氣株式會社	宮子	水力	常時	二、〇〇〇	常時	二、〇〇〇	
大分	竹田水電株式會社	御藏入	水力	常時	三、〇〇〇	常時	三、〇〇〇	
福岡	御藏入水電株式會社	西鬼	水力	常時	二、〇〇〇	常時	二、〇〇〇	
山梨	德島電氣株式會社	西鬼	水力	常時	二、〇〇〇	常時	二、〇〇〇	
山梨	越前電氣株式會社	持田	水力	常時	三、〇〇〇	常時	三、〇〇〇	
香川	中國合同電氣株式會社	高松	水力	常時	一、〇〇〇	常時	一、〇〇〇	
長野	信濃電氣株式會社	高平	水力	常時	一、〇〇〇	常時	一、〇〇〇	
長野	信濃電氣株式會社	鳥居川第一	水力	常時	八〇〇	常時	八〇〇	
長野	信濃電氣株式會社	鳥居川第二	水力	常時	六〇〇	常時	六〇〇	
長野	天龍川電力株式會社	大久保	水力	常時	一、一〇〇	常時	一、一〇〇	
長野	安曇電氣株式會社	内馬	水力	常時	一、四〇〇	常時	一、四〇〇	
石川	大同電力株式會社	春日	水力	常時	六、〇〇〇	常時	六、〇〇〇	
大阪	宇治川電力株式會社	春日	水力	常時	六、〇〇〇	常時	六、〇〇〇	

昭和四年電氣年鑑

地方	事業者名	發電所名	原動力	既設	出カ	變更	出カ	備考
大阪	宇治川電力株式會社	春日	水力	常時	六、〇〇〇	常時	六、〇〇〇	
兵庫	阪神電氣株式會社	高知	水力	常時	三、〇〇〇	常時	三、〇〇〇	制限解除
廣島	廣島電氣株式會社	兩羽	水力	常時	四、〇〇〇	常時	四、〇〇〇	大手町發電所設 止ニ依リ變更
山形	八丈電氣株式會社	三浦	水力	常時	一、〇〇〇	常時	一、〇〇〇	
東京	三浦合同電氣株式會社	船津	水力	常時	一、〇〇〇	常時	一、〇〇〇	
岐阜	土佐吉野川水力電氣株式會社	高津	水力	常時	二、〇〇〇	常時	二、〇〇〇	未落成
愛媛	土佐吉野川水力電氣株式會社	高津	水力	常時	二、〇〇〇	常時	二、〇〇〇	未落成
愛媛	土佐吉野川水力電氣株式會社	高津	水力	常時	二、〇〇〇	常時	二、〇〇〇	未落成
青森	上北電氣株式會社	馬場	水力	常時	三、〇〇〇	常時	三、〇〇〇	
秋田	増田水力電氣株式會社	川門	水力	常時	三、〇〇〇	常時	三、〇〇〇	
北海道	北海道電燈株式會社	千住	水力	常時	四、〇〇〇	常時	四、〇〇〇	
東京	東京電燈株式會社	赤川	水力	常時	五、〇〇〇	常時	五、〇〇〇	
岐阜	中央水力電氣株式會社	中央	水力	常時	三、〇〇〇	常時	三、〇〇〇	
高知	高知縣	大川	水力	常時	二、〇〇〇	常時	二、〇〇〇	
島根	出雲電氣株式會社	出雲	水力	常時	一、八〇〇	常時	一、八〇〇	
佐賀	東邦電力株式會社	小川	水力	常時	一、八〇〇	常時	一、八〇〇	
群馬	赤城電力株式會社	朝比	水力	常時	一、八〇〇	常時	一、八〇〇	
群馬	朝比奈水力電氣株式會社	朝比	水力	常時	一、八〇〇	常時	一、八〇〇	
三重	尾呂志水力電氣株式會社	尾呂志	水力	常時	一、九〇〇	常時	一、九〇〇	
山口	富山電氣株式會社	錦川	水力	常時	二、〇〇〇	常時	二、〇〇〇	
富山	富山電氣株式會社	川野	水力	常時	一、九〇〇	常時	一、九〇〇	
兵庫	日本電力株式會社	尼崎	水力	常時	一、〇〇〇	常時	一、〇〇〇	
大阪	南海鐵道株式會社	西宮	水力	常時	一、〇〇〇	常時	一、〇〇〇	
大阪	京阪電氣鐵道株式會社	西宮	水力	常時	一、〇〇〇	常時	一、〇〇〇	
岡山	山陽中央水電株式會社	山陽	水力	常時	一、〇〇〇	常時	一、〇〇〇	未落成

昭和四年電氣年鑑

Table of electric power supply and demand in Shōwa 4, listing various companies, their locations, and operational status.

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

昭和四年電氣年鑑

Table of electric power supply and demand in Shōwa 4, listing various companies, their locations, and operational status.

供給區域擴張及軌道延長

Text describing the expansion of supply areas and extension of tracks, including specific locations and dates.

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

Table listing electrical companies and their projects in February, March, April, May, and June. Includes entries for companies like 久慈電氣株式會社, 名古屋鐵道株式會社, etc.

一四

二月

三月 (海面埋立地) (第六號埋立地)

四月

五月

六月

既設鐵道電化

七月

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

Table listing electrical companies and their projects in July, August, and September. Includes entries for companies like 東京電燈株式會社, 東京電氣鐵道株式會社, etc.

一五

八月

九月

十月

昭和三年電氣事業一覽表

Table of electric utility companies in 1933, including names like 德島三合同電氣株式會社, 熊本電氣株式會社, and 鹿島電氣株式會社. Columns include company name, capital, and date.

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

昭和三年電氣事業一覽表

Table of electric utility companies in 1933, including names like 石川能州電氣株式會社, 富山越水電氣株式會社, and 愛媛小田水電氣株式會社. Columns include company name, capital, and date.

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

合併讓渡終了

(昭和三年合併又ハ讓渡ノ手續終了ノ届出アリタルモノ)

Table of electricity companies and their mergers/acquisitions. Columns include location (地方), company name (事業者名), merger/acquisition type (合併又ハ讓渡ノ別), location (地方), company name (事業者名), and date (一月 to 八月).

水利使用許可報告

(昭和三年新ニ水利使用ノ許可報告アリタルモノノ但十馬力未滿ヲ除ク)

Table of water usage permits. Columns include location (地方), company name (事業者名), permit type (使用河川名), water volume (使用水量), effective power (有效落差), theoretical power (理論馬力數), purpose (目的), and date (一月 to 十二月).

昭和四年電氣年鑑

Table of electrical companies in 1929 (昭和四年). Columns include company name, location, and details. Includes entries for various prefectures like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc.

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

六月

五月

昭和四年電氣年鑑

Table of electrical companies in 1929 (昭和四年). Columns include company name, location, and details. Includes entries for various prefectures like Tohoku, Kanto, Chubu, etc.

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

二月

三月

四月

昭和三年中本邦電氣界(電氣事業一覽表)

Table listing electrical companies in Japan for the year 1934 (昭和三年). Columns include company name (e.g., 兵庫山陽中央水電株式會社), capital amount, interest rate, and repayment terms. Includes a sub-table for '地方' (Local) companies.

昭和四年電氣年鑑

Table listing electrical companies in Japan for the year 1935 (昭和四年). Columns include company name (e.g., 愛知豊川鐵道株式會社), capital amount, interest rate, and repayment terms. Includes a sub-table for '米貨(英貨) 邦貨(圓)' (Rice goods/Foreign goods, Domestic goods/Yen).

地域	電氣事業者	資本額	業務種類	業務時間	備考
東京	小田原急行電氣株式會社	7,500,000	電力	六分	昭和十三年九月十五日迄ニ臨時償還
神奈川	京濱電氣鐵道株式會社	5,000,000	電力	六分	發行日ヨリ三ヶ年据置七ヶ年内ニ臨時償還
岐阜	掛斐川電氣株式會社	10,000,000	電力	六分	昭和三年九月十日ヨリニヶ年据置十ヶ年間ニ臨時償還
岐阜	美濃電氣鐵道株式會社	3,000,000	電力	六分	發行日ヨリニヶ年据置五ヶ年間ニ臨時償還
大阪	日本電力株式會社	15,000,000	電力	六分	昭和三年八月二十日ヨリニヶ年据置五ヶ年内ニ臨時償還
大阪	京阪電氣鐵道株式會社	10,000,000	電力	五分五厘	昭和三年九月二十日ヨリニヶ年据置五ヶ年内ニ償還
新潟	新潟水力電氣株式會社	1,000,000	電力	六分二厘	昭和十年八月十五日迄ニ償還
新潟	東部電力株式會社	14,000,000	電力	六分二厘	昭和十年八月十五日迄ニ償還
岩手	盛岡電燈株式會社	8,500,000	電力	六分三厘	昭和十年二月二ヶ年据置以後五ヶ年間ニ臨時償還
静岡	富士電力株式會社	7,500,000	電力	六分	昭和十一年十一月十五日迄据置
岡山	岡山電燈株式會社	5,000,000	電力	五分五厘	昭和十三年十一月十五日迄ニ臨時償還
群馬	吾妻川電力株式會社	2,000,000	電力	六分五厘	昭和十年十月一日迄ニ臨時償還
東京	日黒蒲田電燈株式會社	3,000,000	電力	六分五厘	昭和五年十一月三十日ヨリ
愛知	名古屋鐵道株式會社	2,000,000	電力	六分三厘	昭和八年十一月三十日迄ニ臨時償還
熊本	熊本市電	1,500,000	電力	五分五厘	發行日ヨリニヶ年据置其後三ヶ年間ニ臨時償還
北海道	北海道電燈株式會社	5,000,000	電力	六分	償還最終期昭和二十年九月三十日
			電力	六分	發行日ヨリニヶ年据置其後三ヶ年間ニ臨時償還

電氣事業統計

(昭和二年末 逓信省電氣局調査に據る)

事業種類別事業数	電力		火力		受電		合計	
	開業	未開業	開業	未開業	開業	未開業	開業	未開業
電力供給事業	1,214	101	47	5	141	3	1,402	109
	1,315	116	52	5	156	3	1,584	127
	1,315	116	52	5	156	3	1,584	127
電氣鐵道營業事業	1,001	101	33	1	1,101	1	1,101	101
	1,001	101	33	1	1,101	1	1,101	101
	1,001	101	33	1	1,101	1	1,101	101
標準用電氣工作物	1,101	101	33	1	1,101	1	1,101	101
	1,101	101	33	1	1,101	1	1,101	101
	1,101	101	33	1	1,101	1	1,101	101
官廳施設電氣工作物	1,101	101	33	1	1,101	1	1,101	101
	1,101	101	33	1	1,101	1	1,101	101
	1,101	101	33	1	1,101	1	1,101	101
合計	2,315	212	80	6	2,395	4	2,395	212
	2,315	212	80	6	2,395	4	2,395	212
	2,315	212	80	6	2,395	4	2,395	212

電燈需要狀況

總電燈取付數	六〇五、六〇〇、〇〇〇
總電光數	三三二、三二〇、〇〇〇
全國現在世帯數及人口に割當つれば世帯數一〇〇に付二六九燈	七三六、一六九KW
人口一〇〇に付五三燈九五〇燭光、	
六大都市に於ける需要狀況	

東京市	二、二八八、〇〇〇燈
大阪市	二、〇七五、〇〇〇燈
京都市	九一三、〇〇〇燈
名古屋市	六六五、〇〇〇燈
神戸市	六二四、〇〇〇燈
横浜市	四四〇、〇〇〇燈

電力需要狀況

種別	取付臺數	馬力數
電氣供給事業者の供給	二八一、〇〇〇	一、〇七二、〇〇〇
官廳及自家用施設	五八、〇〇〇	一、三三三、〇〇〇
計	三三九、〇〇〇	二、四〇五、〇〇〇

電氣鐵道

軌道延長	二四九、一五九、〇〇〇哩
客車走行哩數	一、九八八、四三三、〇〇〇人

電氣事業資本

總資金(圓)	拂込資金(圓)	固定資金(圓)	社債、借入(圓)
一、一〇一、〇一九、〇〇〇	七九〇、八五五、〇〇〇	一、〇八六、九六〇、〇〇〇	五二四、七四七、〇〇〇
一、四八〇、九四四、〇〇〇	三六七、五〇三、〇〇〇	三六七、一七〇、〇〇〇	一九一、三九七、〇〇〇
一、九〇一、一八六、〇〇〇	一、六八七、七六六、〇〇〇	二、一〇二、三三七、〇〇〇	七九九、九六六、〇〇〇
三、五二四、一九九、〇〇〇	二、六六七、一五三、〇〇〇	三、六六七、三三七、〇〇〇	一、五〇六、〇四〇、〇〇〇

臺灣電氣事業統計(昭和二年末 臺灣總督府調査)

事業別	未開始	合計
電力	八	八
自家用	七	七
官廳用	二	二
計	八	八

發電量

水汽	七、六七二
瓦斯	二、五二二
油	三、九七二
計	一四、一六六
未落成	一、〇〇〇
計	一五、一六六

發電所數

三四内 未落成

水汽	一二五、四六〇、九三四KW
瓦斯	八、八二九、九六二KW
油	七七〇、三二三KW
計	一三五、六〇九、〇二二KW
未落成	一、〇〇〇KW
計	一三六、六〇九、〇二二KW

電線路及支持物數

線路延長	二、六一八、二KM
支持物數	八、三六一、五KM
電線路延長	五〇、三九二本
支持物數	八、〇二六箇

電燈需要狀況

電燈需要家數	一三五、九四五
取付燈數	四一四、〇六一
燭光數	九、三八六、三八一
內從量	四、九四四
內從量	九二、〇七〇

電力需要狀況

電動機需要家數	二、九五二
裝置臺數	三、五五〇
馬力數	二一、二五七

電力用途別

紡織	三、二六四
機械	一、九六六
化學	五二二
食品	三三七
雜糧	一、八六二
計	六四四
未落成	三、五五〇
計	一〇、〇一四

資本

總資本	四三、八七〇、〇〇〇圓
拂込資本	三五、五一八、六〇〇
固定資本	二七、三六三、九六九
社債及借入金	二二、二六三、一三八
積立金	六、〇三五、九二二

樺太電氣事業統計(昭和三年末 樺太廳調査)

事業數及發電力(其一)	八ヶ所
内王製紙	三ヶ所
同太子製紙	三ヶ所
同富士製紙	二ヶ所
同出士製紙	二ヶ所
計	三〇、一六〇キロ

昭和三年中本邦電氣界

事業數及發電力(其二)

電氣供給事業數 一二二(電氣會社、支社、町營共)
 總容量(受電共) 二、五五五キロ
 汽力 二、〇〇五キロ
 瓦斯力 三三〇キロ

電燈電力需要狀況

電燈電力需要狀況
 電燈總數 二四、四三〇戸
 一〇七、七五二燈(十燭換算一五二、〇七二燈)
 一、二五戸 四九五馬力
 資本金(電氣供給事業固定資本) 四、三八五、〇〇〇圓

朝鮮電氣事業統計(昭和二年三月末 朝鮮總督府調査)

事業數
 電氣供給 七二
 電氣鐵道 七一
 電氣小計 一四三
 官廳 一
 合計 一四四

原動力別發電力(供給鐵道及營業)
 水力 三、七二二キロ
 汽力 一、四〇〇キロ(受電ヲ除ク)
 瓦斯力 一、一七二キロ
 重油力 一、〇〇〇キロ
 受電 三、三三三キロ
 合計 一〇、六二七キロ

電線路及支持物(未開始ヲ除ク)

電線路 延長 一、四七六哩
 電線路 延長 四、九七七哩
 支線 延長 五、九七七哩(内鐵柱九一五、混凝土柱一八三本)

電燈需要狀況

電燈需要狀況
 電燈總數 一六四、九一四戸
 需要家中內地人四七% 鮮人五一% 外人二%
 需要家中內地人四七% 鮮人五一% 外人二%

電力需要狀況

電力需要狀況
 電力需要狀況
 電力需要狀況

昭和二年中電氣事業故障件數(選信省電氣局調査)

昭和二年中電氣事業故障件數(選信省電氣局調査)
 設備不全 三、一五〇
 操作者過失 三、七六八
 自然損傷 一、七六八
 其他 一、七六八

昭和二年中電氣事業災害數(同上)

昭和二年中電氣事業災害數(同上)
 停電一日以上ニ互ル件數 一五二
 死者 三三二
 合計 七三三

全國各府縣電柱稅率一覽

(昭和三年末現在、同日迄に回答未着は二年六月電氣協會調査に據る)

府縣名	府縣電柱稅率(一本ニ付年額)		市町村附加稅率(一本ニ付年額)	
	木柱	同支柱	木柱	同支柱
東京	0.00	0.00	0.00	0.00
神奈川	0.00	0.00	0.00	0.00
埼玉	0.00	0.00	0.00	0.00
千葉	0.00	0.00	0.00	0.00
茨城	0.00	0.00	0.00	0.00
栃木	0.00	0.00	0.00	0.00
群馬	0.00	0.00	0.00	0.00
山梨	0.00	0.00	0.00	0.00
静岡	0.00	0.00	0.00	0.00
愛知	0.00	0.00	0.00	0.00
三重	0.00	0.00	0.00	0.00
岐阜	0.00	0.00	0.00	0.00
長野	0.00	0.00	0.00	0.00
石川	0.00	0.00	0.00	0.00
富山	0.00	0.00	0.00	0.00
大坂	0.00	0.00	0.00	0.00

昭和三年中本邦電氣界

昭和四年電氣年鑑

府縣名	本柱	同支柱	鐵柱	混凝土柱	鐵塔	木柱	同支柱	鐵柱	混凝土柱	鐵塔
京都	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
兵庫	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
奈良	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
和歌山	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
滋賀	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
徳島	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
高知	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
廣島	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
鳥取	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
島根	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
岡山	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
山口	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
香川	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
愛媛	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
長門	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
福岡	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
大分	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
佐賀	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
宮崎	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
鹿児島	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
沖縄	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
宮城	0.70	0.35	1.05	0.70	2.10	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30

府縣電柱税率(一本二付年額)

市町村附加税率(一本二付年額)

昭和四年電氣年鑑

府縣名	同答會社	地方名	鐵塔	鐵柱	鐵塔	鐵柱	鐵塔	鐵柱
新潟	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
福島	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
山形	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
青森	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
岩手	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
秋田	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
北海道	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
朝鮮	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
關東	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
關東	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
神奈川	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
埼玉	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20
千葉	0.10-0.30	0.10-0.30	1.00-2.00	0.80-1.00	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20	0.10-0.20

鐵塔、鐵柱の課税區別表 (昭和三年六月現在電氣協會調査)

鐵塔鐵柱の課税上に於ける區別

一 基又は一本當り課税年額

一 等鐵塔 四脚塔以上三、〇〇〇

二 等鐵塔 三脚塔以下二、〇〇〇

鐵柱 二脚塔 一、八五〇

鐵柱 四脚塔 一、〇〇〇

鐵柱 塔 一、〇〇五

鐵柱 柱 一、〇〇五

但し底面積九平方尺未滿は、二、〇〇〇とす

但しタワーは鐵柱として課税せらる

高壓一萬一千ヴォルト送電用鐵柱は鐵塔として課せらる

但し地表面主脚一邊の長さ三尺のもの電燈電力送電用のものは鐵柱として課税せらる

但し脚一邊の長さ一尺五寸程度のもの

昭和三年中本邦電氣界

昭和四年電氣年鑑

府縣名	回答會社	鐵塔鐵柱の課税に於ける區別	一基又は一本當り課税年額	備考
茨城	水戸市	鐵塔—鐵材四本を以て組立てたるものは其の構造よりして又脚張の面積よりするも一個の工作物即ち鐵塔とす	一、〇〇〇 〇、九〇〇	木柱H柱は單柱とし三角鐵柱（各脚の基礎共通）を鐵柱として課税せらる
静岡	濱松市	脚張面積によりて區別す	〇、九〇〇	四角鐵柱、三角鐵柱は鐵柱として加税せらる
愛知	名古屋市	鐵塔—二脚以上を有するもの	一、三〇五 〇、五〇〇	三角柱に對し鐵柱とし課税せらる
岐阜	岐阜市	鐵塔—組立てたるものは簡單のものとし鐵塔と見做さるゝが如し	一、三〇五 〇、五〇〇	H形柱及二脚可撓の鐵柱を四脚鐵塔同様課税せらる
長野	長野市	鐵塔—主務省より鐵塔として認可せられて居るものは鐵塔として課税せらるゝが如し	〇、一〇〇 〇、二〇〇	基礎の開き三尺五寸内外、占用面積〇・三坪のものにて四角組立のものを鐵塔として課税せらる
長野	池田町	鐵柱—構造の如何を問はず脚張が木柱と大差なきものは四脚にして各脚に別々の基礎を有せるもの	〇、一〇〇 〇、二〇〇	木柱代用の四角、三角鐵柱の如きは鐵柱として課税せらる
上田	上田市	鐵塔—三脚又は四脚にして各脚に別々の基礎を有せるもの	〇、一〇〇 〇、二〇〇	
福井	鯖江市	鐵柱—電柱基礎の面積木柱と大差なきものを鐵柱とするもの、如し	二、三〇〇 〇、〇〇〇	三角四角鐵柱は鐵柱として課税せらる
福井	福井市	鐵柱—電柱基礎の面積木柱と大差なきものを鐵柱とするもの、如し	二、三〇〇 〇、〇〇〇	基礎の面積木柱と大差なきものは鐵柱として課税せらる
三重	大山田村	鐵柱—鐵塔木柱の外鐵柱と稱するもの課税し認め居らず	〇、一七五 〇、七五〇	一脚の鐵柱コンクリート柱及び角鐵二本を抱き合せたるH形組立柱を鐵塔として課税せらる
石川	高濱町	木柱代用のものは凡て鐵柱とするもの、如し	〇、一七五 〇、七五〇	木柱代用四角鐵柱は鐵柱として課税せらる
富山	富山市	鐵塔鐵柱木柱の區別なし	〇、一七五 〇、七五〇	但し岸和田市特別税とす
岸和田	岸和田市	鐵塔鐵柱木柱の區別なし	〇、一七五 〇、七五〇	組立鐵柱にして其脚張木柱と大差なきものは鐵柱として課税せらる
大阪	大阪市	鐵塔鐵柱木柱の區別なし	〇、一七五 〇、七五〇	組立鐵柱にして其脚張木柱と大差なきものは鐵柱として課税せらる

昭和四年電氣年鑑

府縣名	回答會社	鐵塔鐵柱の課税に於ける區別	一基又は一本當り課税年額	備考
和歌山	高野口町	鐵塔—三脚及四脚に基礎を有し相當脚張面積を有するもの	〇、一〇〇 〇、六〇〇	組立鐵柱に對しては凡て鐵柱として課税せらる
和歌山	和歌山市	鐵柱—二脚にして其兩脚間接近し一見一本柱の感あるもの	〇、一〇〇 〇、六〇〇	
京都	京都市	鐵塔—三脚又は四脚の各脚に基礎を有するもの	一、〇〇〇 〇、五〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
奈良	奈良市	鐵塔—各脚に基礎を有し組立てたるものにして脚張面積に關係せず	一、〇〇〇 〇、五〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
滋賀	大津市	鐵塔—主脚材の間隔メートル以上のもの	〇、一〇〇 〇、六〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
徳島	徳島市	鐵柱—凡て組合せたる鐵柱の電柱	〇、一〇〇 〇、六〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
高知	高知市	鐵塔—一本の鐵材のもの	〇、一〇〇 〇、六〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
鳥取	鳥取市	鐵塔—三脚以上の組合せ鐵材は鐵柱とす	一、〇〇〇 〇、五〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
鳥根	松江市	鐵柱—四角鐵柱、三角鐵柱、ベーツポール等木柱代用のもの	一、〇〇〇 〇、五〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
山口	下関市	鐵柱—四角鐵柱、三角鐵柱等木柱代用のもの	一、〇〇〇 〇、五〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
廣島	廣島市	鐵柱—四角鐵柱、三角鐵柱、ベーツポール等木柱代用のもの	一、〇〇〇 〇、五〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
愛媛	松山市	鐵塔—設計明細書に依る工事施行の申請書添付の書類に從ふもの、如し	一、〇〇〇 〇、五〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
熊本	熊本市	鐵塔—鐵柱の組立にて主脚基礎を異にし相當所要面積を有するもの	一、〇〇〇 〇、五〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる
長崎	長崎市	鐵柱—主脚基礎同一にして木柱代用程度のもの	一、〇〇〇 〇、五〇〇	事業者より上記の區別にて届出で其まゝ課税せらる

昭和三年中本邦電氣界

三五

府縣名 回答會社 地方名

府縣名	回答會社	地方名	鐵塔鐵柱の課税上に於ける區別
福岡	博多市	鐵柱	四角鐵柱、三角鐵柱、ベイツボイル
	若松市	鐵柱	四本の鐵脚を有し塔状をなすもの、本の柱状をなすものは鐵柱と見做さるゝに似たり
大分	大分市	鐵塔	四本の鐵脚を以て組立てられたるもの、三本以下の鐵脚を以て組立てたるもの
	佐賀市	鐵塔	當局係員の見解としては柱間距離の長短に依るもの、如し
宮崎	宮崎市	鐵塔	主脚の本数二以上を以て組立てたるもの
	鹿兒島	鐵塔	脚張面積四才以上に組立てたるもの
新潟	新潟市	鐵柱	脚張が木柱と所要面積大差なく道路上に建設するも、交通に支障を及ぼさざる程度のもの、如し
	高田市	鐵塔	三本又は四本の主脚を有し各脚に別々の基礎あり且脚張面積數坪に及ぶもの、三角鐵柱、四角鐵柱等木柱に代はるもの
福島	若松市	鐵塔	各脚に別々の基礎を有し脚張面積數坪に及ぶもの、一個より成り木柱と所要面積大差なきもの
	八戸市	鐵塔	柱二本以上を組合せ建設したるもの、柱一本にて獨立建設したるもの、但し支柱を有するものも然り
青森	青森市	鐵柱	鐵柱

一基又は一本當り課税年額

鐵塔	送電用	〇、四〇
鐵柱	送電用	〇、四〇
鐵柱	配電用	〇、四〇
鐵柱	配電用	〇、四〇

送電用三角鐵柱を鐵塔とし配電用木柱代用の組立鐵柱は鐵塔として課税せらるる
三角鐵柱を鐵塔として課税せらるる
三角柱にて脚張面積四才位のものは鐵柱として課税せらるる
四角鐵柱の脚張面積木柱に大差なきため鐵柱として課税せらるる
事業者より上記の區別にて届出で其ま、課税せらるる
事業者より上記の區別にて届出で其ま、課税せらるる
昭和二年度までは巴式鐵柱及ベイツボイル式鐵柱とは何れも鐵柱として課税せられたるも最近鐵塔として課税せらるる傾向あり

道府縣名	納税開始年度	回答事業者の主な供給地名	道府縣稅 (年額)		市町村附加稅課率(年額)
			最高率	最低率	
山形	大正十一年	鶴岡市	鐵塔	三、〇〇	事業者の届出により其儘課税せらるる
			鐵柱	一、五〇	
群馬	大正十四年	前橋市	鐵塔	一、元	市町村附加稅課率(年額)
			鐵柱	一、元	
千葉	昭和二年	八千代市	鐵塔	一、七六	市町村附加稅課率(年額)
			鐵柱	一、七六	
茨城	大正十五年	日立市	鐵塔	二、〇〇	市町村附加稅課率(年額)
			鐵柱	二、〇〇	

昭和三年中本邦電氣界

昭和四年電氣年鑑

Table with columns for Prefecture (道府), Name (縣名), Start Year (始年), and Rate (率). It lists various municipalities and their electricity rates for the year 1933.

昭和四年電氣年鑑

Table with columns for Prefecture (道府), Name (縣名), Start Year (始年), and Rate (率). It lists various municipalities and their electricity rates for the year 1933.

道府納税開
の主な者
給地名

免稅せらるゝ用途名

市町村附加稅率(年額)

昭和四年電氣年鑑

Table with columns for Prefecture (道府), Year (年), and various municipalities (市町村). It lists electricity-related data and tax rates for the year 1932.

昭和四年電氣年鑑

Table with columns for Prefecture (道府), Year (年), and various municipalities (市町村). It lists electricity-related data and tax rates for the year 1932.

道府納税開の主な供(年額) 道府納税(年額) 免税せらるゝ用途名

Table with columns for Prefecture (道府), Tax Year (納税年度), and Tax Amount (年額). Includes sub-sections for '山形' (Yamagata), '福島' (Fukushima), '岩手' (Iwate), and '新潟' (Niigata) with various municipalities listed.

市町村附加税課率(年額) 最高率 最低率

Table showing additional tax rates for municipalities, listing names and their respective rates.

昭和四年電氣年鑑

Table with columns for Prefecture (道府), Tax Year (納税年度), and Tax Amount (年額). Lists various prefectures and their corresponding tax data.

各府縣發電水利使用料

(昭和三年七月社団法人電氣協會調査に據る)

昭和三年中本邦電氣界

Table with columns for Prefecture (道府), Tax Year (納税年度), and Tax Amount (年額). Lists various prefectures and their corresponding tax data.

昭和三年中本邦電氣界 (全國地方鐵道現況)

種別	開業線				工事施行認可線			
	電力	電氣	瓦斯	新	電力	電氣	瓦斯	新
軌道數	117	30	76	11	135	3	6	2
哩數	1,569.1	408.8	1,021.6	8.9	1,093.7	22.3	51.9	0.5
建設費豫算額	175,353,075	41,112,615	322,275,624	6,385,397	240,681,047	1,669,690	14,564,342	1,669,690
資本金	202,386,562	36,250,176	610,123,000	6,200,000	169,466,954	2,530,000	300,000	169,466,954

昭和三年中本邦電氣界 (全國軌道現況)

種別	開業線				工事施行認可線				敷設特許線				備考			
	電力	電氣	瓦斯	新	電力	電氣	瓦斯	新	電力	電氣	瓦斯	新	電力	電氣	瓦斯	新
軌道數	93	11	11	1	4	5	3	2	1	7	5	5	2	1	1	1
哩數	1,236.1	22.0	1,000.0	0.5	1,236.1	22.0	1,000.0	0.5	1,236.1	22.0	1,000.0	0.5	1,236.1	22.0	1,000.0	0.5
建設費	632,611,179	22,665,611	2,864,710	17,821	645,189,561	22,665,611	2,864,710	17,821	645,189,561	22,665,611	2,864,710	17,821	645,189,561	22,665,611	2,864,710	17,821

○全國地方鐵道現況 (昭和四年二月鐵道省監督局調査ニ據ル)

備考 一、開業線軌道ニシテ建設費豫算額不明ノモノアルヲ以テ昭和二年度末ノ各會社年度ノ決算額ヲ計上シ未開業線ハ建設費豫算額ヲ計上ス

二、其ノ他地方鐵道現況表ノ備考欄參照ノコト

昭和三年中本邦電氣界 (全國地方鐵道現況)

敷設免許線		計		備考	
電氣	蒸汽	電氣	蒸汽	一、鐵道敷設ノ計ガ内譯ト一致セザルハ一鐵道ニシテ二動力以上ヲ併用シ若ハ開業線、工事施行線、免許線等ヲ併セ有スルニ因ル	二、一部開業ノ建設費豫算(分割シ難キモノニ限リ)ハ開業線ノ部ノ又未開業線ニシテ工事施行線、免許線ヲ併セ有スルモノハ工事施行線ノ部ヘ計上ス
蒸汽	電氣	蒸汽	電氣		
併用	併用	併用	併用		
通過	通過	通過	通過		
條	條	條	條		
懸	懸	懸	懸		
齒	齒	齒	齒		
高	高	高	高		
地	地	地	地		
下	下	下	下		
併用	併用	併用	併用		
倫敦	倫敦	倫敦	倫敦		
計	計	計	計		
八六二・二五	一・〇〇八	九八、三五一、三六〇	六三、九五九、五五〇		
四七二・五八	二一・四四	三一七、九八五、九七三	三六六、四四〇、〇〇〇		
〇・五四	三・四〇	三一七、五〇〇、〇〇〇	九、一八五、〇〇〇		
三・四〇	二・二〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇		
四九・二二	二〇・四八	七〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇		
一〇〇・二八	一五・三九	二〇四、四八〇、〇〇〇	一八七、〇二〇、〇〇〇		
三二・五〇	三・八六	一五、三九〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇		
二・五四・二九	六五・六二	三八六・三一〇	二、七〇〇、〇〇〇		
二・九一・〇九	三二・九、六三三、一八五	六五六、六二二、六四三	六三四、〇七四、五五〇		
四・五八・六四	四七、一〇八、九三五	三二九、六三三、一八五	三〇七、四三六、五六二		
二、九六・六一	七八〇、三六八、四三一	四七、一〇八、九三五	三六、二五〇、一七六		
三七・一三	一六、四三三、〇二〇	七八〇、三六八、四三一	一、一〇二、一三九、九〇四		
〇・五四	五〇〇、〇〇〇	一六、四三三、〇二〇	一五、六八五、〇〇〇		
三・四〇	七〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇		
四・二二	一四、〇八七、四九一	三・四〇	七〇〇、〇〇〇		
五・二三	二二四、五一二、四八八	四・二二	二〇七、〇二〇、〇〇〇		
七九・二七九	一六八、一九四、九九一	五・二三	一八七、四四六、八四八		
六〇・七九	五、九五六、〇〇〇	七九・二七九	三、八〇〇、〇〇〇		
七、二九七・四四	一、五八七・四九四、五四一	六〇・七九	一、八六〇、九七八、〇九〇		
四〇〇		七、二九七・四四			

二 電氣化學工業

電氣化學界は近年兎角沈滞の狀勢なりしが、肥料問題と關聯して昭和三年中比較的堅實なる方面の發育を促がし、朝鮮窒素關係工事の如き、益々進行を急ぎ、硫安計畫が大資本的に勃興する事となれり、是等については今後尙ほ多くの變遷發達を期待し得るものと謂ふべし。

昭和二年中電氣化學品生産高

品名	生産額(圓)
炭化石灰	六、九六六、九三〇
石灰素硫酸安母尼亞	二九、九六四、一七六
鐵、銅、合金鐵	七〇三、二三四
銀、金	四、九五一、二七六
丹、亞鉛	五三、四九〇、九一八
電氣化學品	八、七六一、九〇二
鹽酸	四、六七二、一一四
過酸化曹達、金屬ナトリウム	三七五、〇〇九
苛性曹達	一、三六三、七八一
其他粉	一、五一七、五一二
計	一三〇、七三九、六九六

三 電氣商工業

商工業界は一般事業界の沈滞影響を受けて大體に業務不振の狀況著しきものあり、國産品の進展、外國品の關稅問題等にも自ら時代性の經濟的悲運を語るもの無きにあらずりと雖も、國産努力の效果は種々の方面に現はれ、鐵道省旅客急行車引用百噸電氣機關車は續々完成し、新潟

昭和三年中本邦電氣界

昭和二年中電氣機械器具材料其他生産高

品名	生産額(圓)
鐵工所のアイセル二千指示馬力、二萬二千馬力水車其他、大ダイヤモンド	一、四九一、五二四
ヨシ水力發電機、二八〇馬力三相直接整流子電動機、千六百馬力バルブ	一四九、四五二
アラインダー用電動機等に注目すべき製品多く、我邦電氣製作界の實力向上を示すもの多きは誠に慶賀すべき事と云ふべし。	六、七六四、六三一
電氣機械器具及材料品	一五、一四六、九四五
水汽タービン	六八〇、五四二
發電機及電動發電機	五、四九三、九三一
電動機	三、〇二〇、六五四
變流機	三、三〇一、四二四
變壓器	三、五三六、七七九
配電盤及附屬品	二、八三二、三九七
計器類	一四、一七四、四七〇
電燈器具類	二、七二九、九二一
電信電話機及部分品	五、五四五、六〇二
懐中電燈及乾電池	一、八九四、三一五
蓄電池	六、四一六、六一一
電熱器具類	一、七三八、〇八三
電熱管其他電氣用陶器類	一、四三六、九九三
電氣用鑄物金物類	七五四、六九九
電氣用絶緣材料	一、八八六、〇四八
電氣用炭素製品	九四、〇〇一、五九五
電氣用漆、車體及制御器其他用具	三二、七四五、〇二六
其他雜品	三〇、九七二、二六〇
計	四七

Table with columns for '電力ケーブル', '電信電話用ケーブル', '同局内ケーブル', '電線', '可撻線', '被引線', '亞鉛線', '其他線', '電球', '金線', '炭線', '瓦封入電球', '其他器具', '計' and corresponding numerical values.

電氣労働争議一覽表

Table listing labor disputes with columns for '争議發生會社名', '發生月日', '終結月日', and '争議發生場所'.

Table listing labor disputes for the year 1934, with columns for '争議發生會社名', '發生月日', '終結月日', and '争議發生場所'.

電氣労働組合設立及解散

Table listing the establishment and dissolution of electrical labor unions, with columns for '設立', '解散', and '組合名'.

四特許

特許局に於ける電氣に関する發明及實用新案の分類は左の如し
(イ) 電氣磁氣材料
(ロ) 電氣機械
(ハ) 送電及制御
(ニ) 電氣磁氣測定及試験
(ホ) 電氣通信
(ヘ) 電氣應用
(ト) 電氣化學

昭和四年電氣年鑑

金屬蒸氣整流器の調極引込部装置	第七四九六三號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	非同期機用起動装置	第七五五四〇號	獨逸	シイメンス・シユツケルト
並列運轉安定方式	第七五〇四〇號	獨逸	同	電氣機械の過轉子	第七五五四一號	獨逸	シイメンス・シユツケルト
並列運轉方式	第七五〇四九號	獨逸	同	集電環製造方法	第七五五二號	東京	株式會社 芝浦製作所
變換機組の調整方式	第七五〇五二號	東京	同	誘導機の起動方式	第七五五五號	獨逸	シイメンス・シユツケルト
正弦波交流發電機	第七五〇七二號	米國	別 宮 貞 俊	電機子成層部分の固定装置	第七五六一號	神奈川	堀 山 秀 男
電動空氣制動方式	第七五〇八〇號	東京	株式會社 芝浦製作所	停止誘導線輪	第七五五七一號	福岡	安川電機株式會社
同期電氣機起動方式の改良	第七五二一四號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	籠型誘導電動機	第七五五七五號	神奈川	富士電機製造株式會社
可變速交流電動機	第七五二二六號	東京	都築謙雄、川 又 孝	垂直軸電機取付け方式	第七五六一三號	獨逸	シイメンス・シユツケルト
誘導電動機に於ける力率補償装置	第七五二四七號	兵庫	福 田 勝 外 二 名	水銀蒸氣整流器の點火方式	第七五六一五號	獨逸	シイメンス・シユツケルト
非同期機方式	第七五三二一號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	周波電流變調装置	第七五六三三號	米國	インダナシヨナル・スタンダード電氣
誘導型蒸氣放電装置	第七五三三二號	神奈川	東京電氣株式會社	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
自働的に振搖する扇風機	第七五三四三號	英國	グエリテイス・リミテツド	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
同期變相機磁用自働調整装置	第七五三四四號	洪牙利	カルマン・ド・カンドー	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
電機に關する改良	第七五三五四號	英國	チャールズ・アルガー	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
捲線の改良	第七五三七三號	東京	株式會社 芝浦製作所	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
交流装置用捲線	第七五三七四號	東京	株式會社 芝浦製作所	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
發電方式	第七五三八〇號	米國	ウエスチングハウス	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
交流直接電動機の過轉	第七五四〇六號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
固定子給電三相電流分	第七五四一號	獨逸	同	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
捲線制動方式	第七五四三七號	東京	株式會社 芝浦製作所	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
誘導電氣機運轉方式	第七五五〇七號	米國	ウエスチングハウス・エア・ブレイク	電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣
電動氣制動裝置				電動機用制動機	第七五六三三號	米國	スタンダード電氣

昭和四年電氣年鑑

無音特別高壓直流發電機	第七五七九一號	京都	株式會社 島津製作所	自働再開合遮斷方式	第七六二五六號	東京	株式會社 芝浦製作所
發電機の冷却装置	第七五七九四號	獨逸	プラオン・ボグエリ	同期電動機制動裝置	第七六二五七號	東京	株式會社 芝浦製作所
電機通風のアンバランス	第七五八〇〇號	獨逸	プラオン・ボグエリ	誘導電動機速度調整裝置	第七六二七〇號	東京	株式會社 明 電 會
檢測裝置	第七五八二四號	東京	財團法人理化學研究所	任意位相の單一振動を得る方式	第七六二九二號	日本	獨 信 大 臣
檢測體のアンバランス	第七五八二五號	東京	財團法人理化學研究所	發電機の原理説明器	第七六三〇一號	福岡	橋 本 高 水
檢測裝置	第七五八二六號	東京	三 菱 電 機 株 式 會 社	同期化裝置	第七六三〇九號	東京	株式會社 芝浦製作所
誘導電氣機裝置	第七五八二八號	東京	三 菱 電 機 株 式 會 社	刷り保持器用張力指示裝置	第七六三七〇號	東京	株式會社 明 電 會
制御電源用電力發生裝置	第七五八六五號	東京	株式會社 芝浦製作所	整流裝置	第七六三七二號	東京	株式會社 明 電 會
振動電流發生裝置	第七五九二八號	東京	株式會社 芝浦製作所	電動運轉機電車等の自働停止裝置	第七六三九四號	東京	株式會社 明 電 會
誘導電動機用自動交流磁機改良	第七五九四八號	神奈川	宮 島 文 告	電動機電路閉閉裝置	第七六四一二號	東京	株式會社 芝浦製作所
整流子電機	第七六〇六九號	東京	株式會社 明 電 會	非同期發電機起動制動方式	第七六四二二號	東京	株式會社 芝浦製作所
電氣機自働制動裝置	第七六〇八〇號	東京	株式會社 日立製作所	六對八にて極數の切替	第七六四三二號	獨逸	シイメンス・シユツケルト
電動機保安閉閉器	第七六〇九九號	東京	株式會社 日立製作所	非同期機の補助整流子	第七六四三四號	獨逸	シイメンス・シユツケルト
電動機自働起動裝置	第七六一一〇號	東京	株式會社 日立製作所	電機同期制動方式	第七六四四三號	東京	東洋電機製造株式會社
電氣扇風機	第七六一一三〇號	福岡	延 原 大 郎	變壓器捲線	第七六四五〇號	米國	ウエスチングハウス
電機同期制動裝置	第七六一一三七號	日本	延 原 大 郎	變流子面に於る閃越弧	第七六四五七號	神奈川	佐 立 健 雄
電機同期制動裝置	第七六一一四七號	日本	延 原 大 郎	非同期機の速度調整方式	第七六四八一號	東京	株式會社 芝浦製作所
六對八にて極數の切替	第七六一一七六號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	起動裝置	第七六四八二號	東京	株式會社 芝浦製作所
同期機の三相交流各個	第七六一一七八號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	電機自働操作裝置の改良	第七六四九〇號	東京	株式會社 日立製作所
電動機用薄板	第七六一一七九號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	端固定裝置	第七六五七九號	神奈川	堀 山 秀 男
補助整流子の磁磁裝置	第七六一一八一號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	端固定裝置	第七六五八〇號	東京	株式會社 明 電 會
擴大器裝置整流器裝置	第七六一一八五號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	補給付分捲電動機	第七六五九三號	獨逸	シイメンス・シユツケルト
の接續方式	第七六一一八五號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	電動機調整裝置	第七六六七三號	東京	株式會社 日立製作所
變流裝置	第七六一一八五號	獨逸	シイメンス・シユツケルト	電動機調整裝置	第七六六七三號	東京	株式會社 日立製作所
誘導電機之過轉子	第七六一一九五號	東京	三 菱 電 機 株 式 會 社				
他動磁式誘導起動電動	第七六一二〇四號	神奈川	富士電機製造株式會社				
機起動方式	第七六一二五五號	東京	株式會社 芝浦製作所				

大水銀整流器に對する陰極	第七六六九號	獨逸	ジーメンス・シュケルト	變成器	第七七三六七號	獨逸	ジーメンス・シュケルト
電氣整流裝置	第七六七一三號	日本	逓信大臣	內燃機點火用磁石發電機	第七七四七五號	伊國	ミケランセロ・マリヤ
整流裝置	第七六七一四號	東京	株式會社	分接電動機の亂調防止裝置	第七七四六二號	獨逸	ジーメンス・シュケルト
天井型扇風機首振裝置	第七六七五六號	東京	株式會社	非同期周波數變換裝置	第七七四七三號	東京	株式會社
變成器の改良	第七七七六六號	東京	株式會社	變成器用コイルの改良	第七七四七五號	東京	株式會社
電磁裝置の改良	第七七七六七號	東京	株式會社	電氣機器用油槽に對する保護裝置	第七七四八〇號	神奈川	梶山秀男
交流用整流裝置	第七七八二五號	米國	エドウィン・ラスヴェン	水力發電所の水車の調整手段	第七七五〇三號	瑞西	アクチエンゲ・セルシヤフト
電機子成層鐵心の改良	第七七八七三號	東京	株式會社	電氣機器の並行運轉方式	第七七五三二號	東京	株式會社
運轉方式	第七七八七四號	東京	株式會社	交流電磁石	第七七五三六號	佐賀	戸上信文
電氣機鐵心溝の挿木挿入用具	第七六八七五號	東京	株式會社	同期化に位相調整用裝置	第七七五五六號	獨逸	テレフンケン・ゲセルシヤフト
真空整流器の陽電極	第七六八九〇號	東京	株式會社	電壓變換裝置	第七七五六六號	東京	三菱電機株式會社
誘導電壓調整器の改良	第七六八九八號	福岡	安川電機株式會社	水銀整流器陽極の改良	第七七六〇〇號	東京	株式會社
補給を有する週軌電氣機械	第七七九八五號	東京	三菱電機株式會社	誘導電動機の速度調整裝置	第七七六四五號	東京	株式會社
分布型變成器鐵心	第七七一二六號	東京	株式會社	變壓器タップ變更方式	第七七六八五號	米國	ウエスチング・ハルス
誘導電壓調整器並列運轉方式	第七七一三二號	東京	株式會社	同期速度減速による自動停止裝置	第七七六九〇號	愛知	豊田式機株式會社
電壓調整裝置用平衡裝置	第七七一八一號	和蘭	ナームロップ・エ・フェノイチヤツプ	非同期電動機の運轉方式	第七七七三五號	獨逸	ジーメンス・シュケルト
定極性週轉變流機の改良	第七七一九七號	福岡	加藤惣一郎	首振扇風機	第七七七六二號	兵庫	株式會社
變成器保護裝置	第七七二〇三號	東京	三菱造船株式會社	原動機と週轉電機との連結裝置	第七七七七三號	英國	メトロポリタン・ピツカリス
扇風機首振裝置	第七七二二三號	東京	株式會社	週轉電機兼電氣裝置	第七七七七八號	東京	三菱電機株式會社
電磁機	第七七二六〇號	兵庫	株式會社	非同期週轉變流機	第七七七七八號	東京	三菱電機株式會社
水銀整流器	第七七二八三號	東京	株式會社	誘導週轉變流機	第七七七七八〇號	福岡	原田恭介
水銀蒸氣整流器の金屬電極の製法	第七七三三五號	東京	株式會社	同期高速電動機の支撐裝置	第七七八〇一號	東京	株式會社
補助整流子機を有する非同期機	第七七三六八號	獨逸	ジーメンス・シュケルト	同期電氣機に於る制動捲線の改良	第七七八三五號	東京	株式會社
				凸極型電氣機	第七七八三六號	東京	株式會社

整流機セメント用絶縁貼付雲母	第七七八九五號	東京	菅原浩	交流整流子電機の勵磁方式	第七八四一號	獨逸	ジーメンス・シュケルト
變成器油面の變更裝置	第七七九〇六號	東京	友成	誘導主機と補助整流子機	第七八四二號	獨逸	ジーメンス・シュケルト
誘導電動機の速度調整裝置	第七七九一七號	大阪	川北電氣製作所	周波數變換方式	第七八四一四號	獨逸	ジーメンス・シュケルト
非同期機迅速自動調整裝置	第七七九二六號	東京	株式會社	空氣冷却電機	第七八四一六號	獨逸	ジーメンス・シュケルト
非同期機迅速自動調整裝置の改良	第七七九二七號	東京	株式會社	細分せる導體を有する整流子機	第七八四一七號	獨逸	ジーメンス・シュケルト
電氣機刷子	第七八〇八七號	東京	株式會社	廣範圍電壓調整可能交流電機	第七八四二八號	大阪	川北電氣製作所
可變電壓定速電動機	第七八〇九三號	東京	株式會社	分接整流子電動機	第七八四九二號	東京	伊藤泰二
交流電氣機の勵磁裝置	第七八一九三號	東京	株式會社	非同期機調整裝置	第七八四九五號	東京	株式會社
電機子導體	第七八一九四號	東京	株式會社	單相發電機の起動裝置	第七八五三五號	福岡	加藤惣一郎
高壓磁石發電機一次線斷接裝置	第七八一九五號	東京	株式會社	周波數變換裝置	第七八五八五號	獨逸	エン・ゲレルシヤフト
電動機制御方式	第七八二四六號	米國	ウエスチング・ハルス	可變周波數多相振動電流發生裝置	第七八六一六號	東京	株式會社
整流裝置	第七八二九六號	神奈川	東京電氣株式會社	水銀整流器容器的氣密接合裝置	第七八六二二號	瑞西	アクチエンゲ・ゲレルシヤフト
全密閉型電機	第七八二九九號	大阪	川北電機製作所	整流器無負荷電壓上昇防止裝置	第七八六五八號	東京	株式會社
同期電氣機の改良	第七八三二五號	東京	株式會社	非同期機調整裝置の改良	第七八六五九號	東京	株式會社
水銀蒸氣整流器保護裝置	第七八三二六號	東京	株式會社	週轉變流機に於ける電壓調整	第七八六六〇號	東京	株式會社
電氣器液槽表示裝置の取付裝置	第七八三二八號	東京	株式會社	可變速度定電壓發電機の改良	第七八六六六號	東京	株式會社
水銀蒸氣整流器	第七八三五二號	大阪	土原豊喜	電磁石の減衝裝置	第七八六六八號	東京	株式會社
非同期機週轉裝置	第七八三六四號	東京	三菱電氣株式會社	交番電流整流器	第七八七一七號	米國	ユニオン・スウィッチ・アンド・シグナル
非同期發電機の勵磁方式	第七八三三三號	東京	株式會社	高速垂直軸給油裝置の改良	第七八七八三號	佛國	コンストラクシオン・フランモーズ
週轉周波數變換機	第七八四〇五號	獨逸	ジーメンス・シュケルト	ワイヤー付整流子	第七八八四六號	東京	株式會社
勵磁電壓に依り調整する非同期機	第七八四〇八號	獨逸	ジーメンス・シュツケ	變成器三次捲線自動接地裝置	第七八八四七號	東京	株式會社
非同期機方式	第七八四〇九號	獨逸	ジーメンス・シュケルト				
非同期機補助整流子勵磁方式	第七八四一〇號	獨逸	ジーメンス・シュツケ				

昭和四年電氣年鑑

水銀整流器流光導筒	第七八八四八號	東京	株式會社 芝浦製作所	電氣扇風機	第七九二六五號	米國	ウエスタンガ ハウス
同種電動機又は同種發電機の改良	第七八八八三號	英國	ジュームス・フランクス、ギル外一名	整流器	第七九二七六號	佛國	アンリ・ゲオルゲ・ファン
タップを有する變成器	第七八九二二三號	東京	三菱電機株式會社	水銀蒸氣整流器の逆弧光防止裝置	第七九二九四號	東京	株式會社 芝浦製作所
整流子電機	第七八九二八號	福岡	安川電機製作所	電氣扇風機	第七九三二九號	東京	井筒 岩 太郎
和佛複捲電動機の定速度運轉裝置	第七八九四九號	東京	株式會社 明電舎	堅軸高速度電動機	第七九三三一號	東京	株式會社 芝浦製作所
電氣機回路の保護裝置	第七八九七九號	東京	株式會社 日立製作所	水銀整流器用濾波裝置	第七九三三二號	東京	株式會社 芝浦製作所
電氣裝置の漂遊負荷損失減少裝置	第七八九八一號	東京	株式會社 日立製作所	酸化銅整流器	第七九三四四號	米國	ウエスタンガ ハウス
多相分捲整流子電機刷子移動裝置	第七八九九六號	大阪	川北電氣製作所	誘導發電機運轉方式	第七九三七五號	東京	株式會社 芝浦製作所
擴風器附天井用電氣扇	第七九〇四〇號	東京	丹野 武雄	非同期電動機の運轉方式	第七九四二六號	東京	株式會社 芝浦製作所
電氣製成裝置の改良	第七九〇五八號	英國	イングリッシュ・エレクトリック	調整機組裝置	第七九四二六號	東京	株式會社 芝浦製作所
非同期電機之調整方式	第七九一一八號	獨逸	シイメンズ・シユケルト	滑り周波数を以てする勵磁方式	第七九四二九號	獨逸	シイメンズ・シユケルト
電動機之同種轉方式	第七九二二一號	獨逸	シイメンズ・シユケルト	附加整流子機を有する非同期機	第七九四三四號	獨逸	シイメンズ・シユケルト
補助整流子機裝置	第七九二二三號	獨逸	シイメンズ・シユケルト	保形用縛縛環を有する整流子	第七九四三五號	東京	三菱電機株式會社
三相分捲電動機調整範圍擴大方式	第七九二二五號	獨逸	シイメンズ・シユケルト	標準周波數發振器	第七九四三八號	日本	堀 信 大 臣
非同期機	第七九二二七號	獨逸	シイメンズ・シユケルト	變壓器の乾燥裝置	第七九四五〇號	神奈川	堀 山 秀 男
非同期機勵磁周波數週轉調整方式	第七九二二八號	獨逸	シイメンズ・シユケルト	變成器三次捲線接地方式	第七九五一九號	東京	株式會社 芝浦製作所
非同期發電機に對する調整裝置	第七九二二九號	獨逸	シイメンズ・シユケルト	無脈動直流發電機	第七九五二一號	京都	小池恒久、志智秀直
真空整流裝置	第七九二五九號	東京	株式會社 明電舎	三相直捲整流子電動機	第七九六二〇號	大阪	川北電氣製作所
昇降機交流二重速度運轉裝置	第七九一六八號	東京	朝倉 元次				
三相直捲電動機裝置	第七九二二五號	獨逸	シイメンズ・シユケルト				
力率繼電機	第七九二二九號	獨逸	シイメンズ・シユケルト				
整流子補助電動機勵磁の裝置	第七九二四二號	獨逸	シイメンズ・シユケルト				

特許及實用新案登録出願及登録件數類別表 (特許局調査に依る)

類別	特許		實用新案		類別	特許		實用新案	
	出願數	登録數	出願數	登録數		出願數	登録數	出願數	登録數
電氣磁氣材料	八七	四三	八二	六九	電熱應用	一六五	四六	五一九	二四五
電氣傳導	五四	一一	一〇八	七二	電熱(電氣爐ヲ除ク)	七〇	一八	二八六	一六七
電氣絶緣	四	一	一	二	電力應用	九一	三四	九七	四三
電氣機械	一三八	六四	一一九	八四	電氣鐵道	一七	一三	一九	二四
發電及電動	一二四	六〇	一一一	七四	電氣雜用	四一	三	一九四	八八
送電及電氣制御	二二三	八五	一九八	九一	電氣化學	一〇三	三二	一九四	一一
送電及配電	一九八	一二五	四七	四五	電氣池	四一	三	一九	一一
電氣制御及電氣調整	二〇九	九〇	三六五	二三〇	電氣雜工	八六	四三	五五	四六
電氣開閉器	八四	五六	五八	四二	電氣治療	四三	二三	七五	四六
電氣的及磁氣的測定	五八	四一	一四	一〇	電氣雜工	八六	四三	五五	四六
電氣及磁氣計器	八四	五六	五八	四二	電氣雜工	八六	四三	五五	四六
電氣通信	二四二	一七四	九九	四一	電氣雜工	八六	四三	五五	四六
電信及電話(有線)	二四二	一七四	九九	四一	電氣雜工	八六	四三	五五	四六
電氣信號及電氣表示	一七五	七五	一九九	八〇	電氣雜工	八六	四三	五五	四六
昭和三年中本邦電氣界					計	二、三、八、三	一、一、三、三	二、七、六、七	一、五、五、〇

五 有線無線電信電話

昭和三年は有線無線の通信關係事項に關し注意特筆すべき記録事項頗る豊富にして、有線關係としては關西方面に自働式電話交換局工事が續々完成し、又東京岡山長距離電話ケーブルは昭和三年十一月一日に東京神戸間の設備を完成せり、部分的設備としては郵便紙自働折疊器、電報氣送管等の應用を見る等大小事項の發達極めて多く、尙選省並に鐵道

省の搬送電話式實用の如き著しき進進を語るものと云ふべし、殊に寫眞電送は新聞及通信社を中心として昭和三年秋より實用せられ、NE式其他好成绩を擧げつゝある事は著しき進展なりと云ふべし、無線方面にて日本無線電信會社は昭和三年中に従来の原町局改善工事を終り對米直通通信を完成し、又愛知三重兩縣下の對歐通信送受信所をも竣工せしむる等其活動大いに特筆すべし。

内地電信取扱局所數 (昭和二年度末)

郵便局	東京	名古屋	大阪	廣島	熊本	仙臺	札幌	合計
郵便局	二	九	九	九	三	八	七	六
電信局	六三(内△二)	七六(内△三)	八三	八三	八六	七九	八	一八九(内△三)
電報局	一	一	一	一	一	一	一	七
電話局	一	一	一	一	一	一	一	七
合計	六四	八七	九四	九四	九一	八九	一六	一八八

備考 △は定期開局、×は電信電話取扱所、×は船内局所

臺灣其他電信取扱局所數 (昭和二年度末)

郵便局	臺灣	樺太	朝鮮	支那(關東廳所管)	南洋
郵便局	無線三	無線一	無線五	無線一	無線一
電信局	一	一	一	一	一
電報局	一	一	一	一	一
電話局	一	一	一	一	一
合計	六	三	八	三	四

郵便局出張所	東京	名古屋	大阪	廣島	熊本	仙臺	札幌	合計
郵便局出張所	三	三	一	一	一	一	一	一
電信取扱局	無線三	無線一	無線一	無線一	無線一	無線一	無線一	無線一
電報取扱局	一	一	一	一	一	一	一	七
電話取扱局	一	一	一	一	一	一	一	七
合計	四	五	三	三	三	三	三	一

備考 ×は船舶無線電信局所、×は電信電話所

電話取扱局所數 (昭和二年度末)

東京	名古屋	大阪	廣島	熊本	仙臺	札幌	合計
東京	七六	七六	八七	七二	六三	七〇	二二〇
名古屋	三五	三五	三五	三五	三五	三五	一八〇
大阪	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	四二〇
廣島	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	一八〇
熊本	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	六〇
仙臺	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	六〇
札幌	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	六〇
合計	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一	一四一	八四〇

電話加入者數 (昭和二年度末)

内地	臺灣	樺太	朝鮮	支那(關東廳所管)	南洋
内地	六〇九,四四六	一,六一七	四〇,八八六	二九,〇四二	一五,四八五
臺灣	一,六一七	一,六一七	一,六一七	一,六一七	一,六一七
樺太	四〇,八八六	四〇,八八六	四〇,八八六	四〇,八八六	四〇,八八六
朝鮮	二九,〇四二	二九,〇四二	二九,〇四二	二九,〇四二	二九,〇四二
支那(關東廳所管)	一五,四八五	一五,四八五	一五,四八五	一五,四八五	一五,四八五
南洋	一五,四八五	一五,四八五	一五,四八五	一五,四八五	一五,四八五
合計	六〇九,四四六	一,六一七	四〇,八八六	二九,〇四二	一五,四八五

加入申込者 1100,001 線路 (昭和二年度末)

架空線 市内 1,131
地下ケーブル線 市内 1,131
水底線 市内 1,131

架空線 市内 1,131
地下ケーブル線 市内 1,131
水底線 市内 1,131

昭和四年電氣年鑑

日本放送協会は昭和三年中に東京、大阪、廣島、熊本、仙臺、札幌の各十キロ大放送局を完成して全國礦石化の活動を實現し、中繼線設備と其應用に就ても著しき進展を示し全國加入者五十萬に達するの盛況なり。

ラジオ

東京中央放送局 二八三、六七四人
大阪同 一五〇、六七四人
名古屋同 五〇、四二二人
廣島同 二一、六三九人

日本放送協會各支部聴取者

支那(關東廳所管) 南洋

昭和四年電氣年鑑

熊本放送局 二一、八七三人
仙臺放送局 一〇、六二三人
札幌放送局 一五、六五三人
計 五六四、五五八人
(昭和四、三、三〇現在)

日本放送所一覽表

Table with columns: 放送所名, 呼出符號, 電波長, 電力. Lists various radio stations like 東京中央放送局 (JOAK) and their technical specifications.

六學事及會合

昭和三年中の學事會合關係事項は、大體順調なる發達を語りたるものにして、而かも諸學會諸團體の部分的活動には可なり注目すべき事項が示されたる事を認め得るなり、昭和三年は昭和新政の御即位式を京都市に舉げさせられたる年にして

昭和三年中本邦電氣界

其の大禮奉祝の催として、全國各地に博覽會開設の機運頗る濃厚なりし感有り。春三月東京上野不忍池畔に大禮記念國產振興東京博覽會が開催せられ、其出品には多くの電氣關係品も陳列せられ、東都の花季を實質的に裝飾せるの觀ありき、秋、御大典の機近づくに及び、京都市には大禮記念京都博覽會の開催あり、大阪には市の主催にて大禮奉祝交通電氣博覽會が開催せらるゝあり、其他或は名古屋大博覽會、御大典記念國產振興阪神大博覽會等何れも一國文化の精華を集めて有意義なる活躍を實現したり、尙春期に、北仙臺に東北産業博覽會が最も模範的に開催せられ、之と略同時期に互りて西九州別府にも産業博覽會あり、又一方には甲府市に於ける山梨電氣博覽會の催しあり、春期、秋期夫々に我邦産業界の光輝ある活動を示したることは、大に注目すべき事蹟なりと謂ふべし。

社団法人電氣協會は一月の通常總會に於て新會長太刀川平治博士(東京電燈取締役)の當選就任を確定し、第三回淺野觀金受領者として通信省電氣試験所の別宮貞俊博士推薦を發表せり

社団法人電氣協會にありては、兼て電氣の全國的一齊の宣傳日として電氣デーを催す事に決し居たりしが、其の日取りに就て種々協議の末、本邦最初の公的電燈點火記念日に因みて毎年三月二十五日を電氣デーと決定するに至れり、昭和三年には特に第一回電氣デーとして全國各支部に賑々しき電氣祭を舉行する處あり、東京に於ては各種電氣關係團體が協同して電氣デーの祝賀を花々しく飾り大に電氣發展の意義を祝願せり 照明學會は二月中家庭電氣普及會と共同主催の下に、東京日本橋三越を會場として「電燈照明と應用の會」を開催したるが此催しは内容と其説明に於て新味頗る多く、短期間の開催ながら相當の成果を收め得たるが如し、之れと略々時を同じくして、照明學會及家庭電氣普及會の共同主催にて大阪大丸樓上に「電氣實演文化展覽會」を開催し之亦短期間に多

昭和三年中本邦電氣界

大の成果を挙げたりと云ふ。照明學會は尙其他に自ら中心となりて七月以降、東京大阪に電氣看板技展覽會を開催せるが、其れにも亦相當に新味を發揮するもの影ながらざりき。秋、米國紐育に於て萬國照明委員會が開催せらるゝに當り、會長本野亨博士は特に委員として之れに参加する事となり、照明學會が一年を通じての活躍振りに全般的に可なり注目すべき内容を語れるの感あり。

前述仙臺市開設の東北産業博覽會は、規模並に内容の點に於て全國に絶を示したりと考ふるを得べく、會々之を機會として五月上旬、電氣學會、電氣電話學會、照明學會の三學會が聯合して仙臺市に學術大會を開き、東北帝大工學部大講堂を會場として、二日間に亘り五十餘篇の代表ペーパーを發表する處ありき。又之に續いては社団法人電氣協會が第七回大會を三日間に亘り仙臺市に開催して大に斯界のため氣焔を擧げたる事あり、春の仙臺市は誠に文化の巨大なる輝きを誇りたりと謂ふべし、秋手行はれたる各地電氣協會支部聯合は何れも順調なる發展の行路を示したるものにして、其中に東北支部が多年の懸案たりし支部事務所移轉問題を解決して竟に仙臺市に事務所を開設せる事は特筆に値す、學校方面の出来事としては、旅順工科大学が五月十日開校式を擧げ、又山梨高等工業學校は十月十五日甲府市に開校式を擧行せり、電氣俱樂部は東京、大阪共に夫々活躍ぶりを示したるが、特に大阪の中央電氣俱樂部は七月十日新築總會を開きて工事資金に關する議案を決定する處ありき。

一月九日 京都 祇園八坂俱樂部

Table listing various electrical events and organizations in 1933, including dates, locations, and names of clubs or associations.

昭和三年中本邦電氣界

Table listing electrical events and organizations in 1933, including dates, locations, and names of clubs or associations.

六〇

昭和三年中各學校電氣科卒業生及檢定試験合格者一覽

Table listing graduates and exam passers of electrical departments in 1933, including school names, dates, and names of individuals.

土本景三 川越竹次郎 前田一男 山本廣三郎

○京都帝國大學工學部電氣工學科(三年三月卒業)

磯野秀一 濱崎實雄 萩野勝夫 近藤重起 太田原謙定
渡邊幸吉 加藤兼三 加藤博見 川上興一
上林明 河合武夫 吉田喜久次 笠井元治
野口鍾顯 中村俊介 山崎正吉 田代忠
安田英一 山縣民男 山崎愛三 山本章昇
小池恒久 青山政次 青木精太郎 酒井直壽
木村章介 白井好巳 白山孝一 志賀秀直
庄源兵衛 百瀬鳴美 百東一 平柳匡克
菅谷龍三 杉野原文顯 諏訪部市郎
○東北帝國大學工學部電氣工學科(三年三月卒業)
相澤茂右衛門 石田彌 遠藤義夫 大泉製明
奥山重次郎 片倉龍夫 橋本寅一
佐藤傳 村上富士男 八卷武郎 山口文太郎
山崎信次 橋地伊三郎
○九州帝國大學工學部電氣工學科(三年三月卒業)
金川準 柿添隆 竹田京 中村香苗
長文泰壽 久布白登致 山田泰藏 高次夫
伏見治三郎 荒瀬寬正 溝口研悟 鹽川新助
守田正 森延光 石橋英樹 河原清
島井惟喜 大塚良夫 小野富士雄

○東京高等工業學校電氣科(三年三月卒業)

井田信男 伊藤鳳一 伊藤義雄 市瀬幸治
磯貝直人 西原貢 本莊正人 土肥準治
大竹羊三 大國幸正 大田貞治 太田勝治郎
太田國弘 岡崎兵一郎 萩村龍城 渡邊俊二
吉村春雄 武田上東平 田村英一 高橋丈夫
竹內雄藏 香掛道夫 矢島美貞 久保幸一郎
山岸享 藤江次郎 根上忠湖 山中林三郎
國中浩敏 網益昇 阿久澤四郎 佐藤信三
齋藤廣太郎 金村龍昇 芝原毅 鹿井信一
寺境一彌 平賀大龍 森泉製裝彌 鹿井信一
森有剛 湯希章 王文輪 鈴木俊夫
鈴木武二 福田春 澤島直 榎井四郎
長谷川桑吉 福田實 榎島直 榎井四郎
新谷實 (以上教員養成所)
池野亮當 陳寬培 林龍波 大塚新平
高木勝三 中西岩次郎 中村壽馬 前田正郎
藤原丈藏 小久保源太郎 鯉淵正夫 榎坂貞雄
荒木政治 菊地重郎 宮部盛 下山田忠三
比留間光一 彦坂善徳 李嘉謨 土井繁太郎
岩谷英男 ○大阪高等工業學校電氣科(三年三月卒業)
泊里八十雄 伊東雅三 飯沼元 和田慶治
鎌田忠一 高畑義雄 岡松正泰 土井慶太郎
反田一 永田義三 植村春三 安岡竹雪
松川美 古賀德三 小島幸 荒木良雄
光岡敏雄 板東芳迪 廣瀬弘 吉岡綱春
井上金二 板東芳迪 大川義成 吉岡綱春

○米澤高等工業學校電氣科(三年三月卒業)

内藤弘 (以上教員養成所)
淺野誠一 波多野修 磯木清一 伊藤長治郎
伊藤信也 川村寬 菊地六郎 久世光忠
森田道廣 中野辰作 大場英夫 大峽義雄
櫻田俊雄 佐藤芳郎 志賀芳雄 關口武夫
渡部庸吉 山口光次 高橋一男 高村東男
竹尾健藏 ○熊本高等工業學校電氣科(三年三月卒業)
中住茂之 諸富好武 岡村幸二郎 坂井正人
吉住一德 (以上第一部) 米村文雄 佐藤忠亮
佐藤一 (以上第一部) 岡村幸二郎 坂井正人
井口照夫 立和正男 原田義一 早志只光
津野一郎 德島元治 市原博美 井井忠明
犬童司 德島元治 市原博美 井井忠明
木下三雄 西村秀雄 大場義任 (以上第二部) 嘉悦正徳
朝川重英 ○仙臺高等工業學校電氣科(三年三月卒業)
石川英夫 石崎健治 板垣康男 内海金吾
大石辰雄 小內好一 大條主稅 上神田正喜
木戸健太郎 菅原精一郎 後藤武雄 後藤政久
篠川諭吉 寺澤五郎 富井桂造 平川孝廣
長崎虎夫 山浦義安 瀧浦正勝 星信兵衛
松井馬太郎 渡部基治 杉浦武造 渡邊英夫
(以上本科) 三瓶吉造 杉浦武造 渡邊英夫
(以上選科)

○北海道帝國大學工學部電氣工學科(三年三月卒業)

稻田金次郎 江柄好一 嘉屋儀十郎 近藤義弘
齊藤一正 鹽谷松夫 永田恒光 長坂孝重
田畑繁 辻二郎 廣田種雄 米田勝彦
松宮征夫 松村資郎 森四郎 米田勝彦
徐慶春
○早稻田大學理工學部電氣工學科(三年三月卒業)
稻葉尚吉 今岡弘 伊藤清次 井上正行
井上謙澄 猪山丈渡 橋本四郎 野場泰治郎
春田邦太郎 岡島二郎 大野留太郎 李相主
小田貞正 若菜猛 笠島三郎 勝俣賢藏
渡井貞正 狩野拾松 笠島三郎 勝俣賢藏
川端茂 狩野末三 曾根喜一 竹内清二
竹下茂 栗橋保道 大和鏡治 長尾清倫
長岡次郎 藤田茂雄 藤原重俊 丸岡靜太郎
小宮山喜治 五賀一男 遠藤乾二 小柴謙六郎
荒畑誠二 有阪致治 安藤志一 手塚義雄
北川直行 三宅孚 水野志 佐野太市
三上圭二 宮崎英磨 土方豊 平井忠一
平岩圭二 本山辰也 須賀方 鈴木友生
今枝良三 井上弘 石塚二十夫 橋本辰二
早川三郎 西村雄太郎 富原輝正 大生正彦
岡田信成 渡邊清 河崎正 慶羽仁恭
福田甲子男 中西金吾 村田寬司 上野辰夫
北野康雄 藤倉啓次郎 須永浩夫 青木英夫
(以上第二分科)

Table listing names and titles for the 1932 Electrical Year Report, including names like 橋上賢作, 近末卓三, 河添恒孝, etc.

昭和三年中本邦電氣界

Table listing names and titles for the 1932 Electrical Year Report, including names like 伊奈豐藏, 井尻久人, 岩田勇一, etc.

昭和三年中本邦電氣界

Table listing names and titles for the 1932 Electrical Year Report, including names like 棚橋三郎, 利光清松, 鳥居豐治, etc.

六四

昭和三年電氣事業主任技術者資格檢定

Table listing qualification exam results for electrical business directors, categorized by exam type (第一種, 第二種, 第三種).

六五

今上鈴北本十相正星富鎗長渡服渡池錦小森李三關小北堀關齊山關小... 大槻繁雄 梅津繁夫 西山長市 加藤進 依田良一 津田元男 依田良一 (大正一二明專) 津田元男 (大正一〇大高工)

昭和三年中本邦電氣界

六六

岩元新一 (同上福岡) 久野助市 梅津繁夫 西山長市 加藤進 依田良一 津田元男 依田良一 (大正一二明專) 津田元男 (大正一〇大高工)

昭和三年中本邦電氣界

六七

●私設無線電信從業者資格檢定試驗合格者 (昭和三年三月卒業) 折田久雄 菊地文雄 北村秀吉 折田久雄 幸增定行 安藤秀俊 折田久雄 幸增定行 安藤秀俊

●電氣事業主任技術者檢合格者 第一種 花形觀司 伯野慶三 (大正八明專) 小田斗志雄 (大正九早大)

Table listing names of individuals in the Japanese electrical industry for 1933, organized by region and profession.

七法令

昭和三年末國際無線電信條約御批准の發表あり、又之に關聯して外國無線電報規則の改訂發表ありたるが、其他一般の電氣關係法令は昭和三年中に於て特に著しきものなく大體は平靜にして順調なる推移を語りたるに過ぎざるの感あり、寫眞電送の實施は昭和三年中に於ける電氣應用の新局面として注目すべき事柄なるが、之に就ては七月末逓信省令の公布を見るに至り、昭和三年秋に於ける昭和聖代御大典の頃よりして寫眞電送が盛んに新聞通信界に應用せらるゝの機運を招來せり。電氣事業法の根本改正案に就ては、今尙ほ電氣事業の複雑なるに伴ひ、内容に多くの研究を重ねられつゝあるもの、如し

一月三十一日官報勅令第一一號(三十日付)を以て同所令中改正、内容は從來横須賀に置かれたる同養成所を吳に移管したるに伴ふ改正にて本年四月一日より施行
○無線電報規則中改正
二月一日官報朝鮮總督府令第一三四號を以て陸軍用無線電報無料取扱に關する改正あり、本令は昭和二年十二月二十九日付公布にして昭和三年一月一日より施行
○電話通話事務開始
二月十四日官報逓信省令第七號を以て電話規則中第三條第二項但書中に官廳若くは公署加入區域二里以上に達せしめ得る條文挿入の旨、公布日(十四日)より施行
○豫約新聞電話規則中改正
二月十五日官報逓信省令第九號を以て同規則中豫約通話時數減少に關する項目其他の改正發表、即日施行
○横濱高等工業學校規程中改正
三月十六日官報を以て同規程第三條中の學科目及程度表改正發表公布あり、即日施行
○電話關係令中改正
三月二十四日官報を以て電話規則中改正(逓信省令第一五號)、特設電話規則中改正(逓信省令第一六號)、電話通話規則中改正(逓信省令第一七號)、市内專用電話規則中改正(逓信省令第一八號)の各發表あり、内容は距離をメートル制とする改正にして何れも本年四月一日より施行
○電信並無線規則改正
三月廿七日官報を以て同報電信規則中改正(逓信省令第一九號)、私設電信規則中改正(逓信省令第二〇號)、私設無線電信規則中改正(逓信省令第二一號)各發表、内容はメートル制實施に伴ふ改正にして何れも本年四月一日より施行

年四月一日より施行せらる
○放送用私設無線電話規則改正
三月廿八日官報逓信省令第二四號を以て同規則中第十條放送施設者特許料の件、第十五條中聽取無線電話許可失効の條項、第十七條出願許可料一圓納付の件(從來は會計年度毎に一圓)等改正發表、本年四月一日より施行
○東京帝大工學部關係規程
四月十九日官報にて海軍學生規程中改正、四月廿一日官報にて工學部規程中改正を各文部省より發表ありたり
○旅順工科大學官制中改正
四月廿六日官報勅令第七四號を以て同官制中改正公布、内容は教授助教授其他増員の件にして公布日(二十五日)より施行
○明治專門學校規則中改正
五月八日官報を以て文部省より同規則中改正發表、内容は入學資格に關する件なり
○政府購入品規格
五月廿八日官報商工省令第一八號を以て銅地金の分析方法規格發表
○工業試驗所官制中改正
五月卅一日官報勅令第一〇一號(卅日附)を以て工業試驗所官制中改正公布あり、内容は技師技手等の増員にして六月一日施行、同時に臨時營業研究所官制廢止
○電話特別開通規則中改正
六月廿三日官報逓信省令第三一號公布、改正内容設備費に關する事項にして公布日(廿三日)より施行
○海軍機關學校令其他改正
六月廿五日官報を以て海軍機關學校令(勅令第一二三號)海軍工機學校令(勅令第一二六號)等公布、何れも公布日(六月廿三日)より施行
○製鐵所官制中改正
七月十二日官報勅令第一四三號を以て同改正(内容は參事技師等増員)公布、公布日(十一日)より施行
○陸軍技術關係法令

昭和三年本邦電氣界

七月十四日官報を以て陸軍部内平時定員改正(勅令第一四四號)陸軍技術會議令改正(勅令第一四五號)の各件公布、何れも十三日附にて公布日より施行

○瘦子窩電氣使用規則中改正
七月十四日官報東廳令第二七號を以て同規則中料金其他の項改正發表、本年七月一日より施行

○瓦斯事業法施行規則中改正
七月廿一日官報商工内務省令を以て同規則中の瓦斯溜容量の制限に關する項目改正公布、即日施行

○專用寫眞電信の省令
七月卅日官報逓信省令第三四號を以て新聞社又は通信社が寫眞電送の專用を爲し得る件公布、即日施行

○朝鮮私設鐵道令施行規則中改正
八月四日官報朝鮮總督府令第四七號を以て同施行規則中第三、十五、二十三、二十七、四十五各條中の改正事項公布あり、内容は認可申請、變更許可申請等に關するものにして本令は昭和三年七月十日より施行

○氣象通知電報規則中改正
八月十七日官報逓信省令第三八號を以て同規則第十八條中全國氣象實況報知に關する規定例外の件公布、本令は九月一日より施行

○朝鮮關東州逓信官制中改正
八月十七日官報を以て朝鮮總督府逓信官署官制中改正(勅令第一九五號)關東廳逓信官署制中改正(勅令第一九九號)の各件公布、何れも八月十六日附公布にて内容職員、増員何れも公布日より施行

○海軍艦政本部臨時職員設置改正
八月十七日官報勅令第一九四號を以て大正九年勅令造船機造兵又は土木建築の事務に従事する海軍艦政本部等の臨時職員設置の件中改正の件公布(十六日附)即日施行

○河川法施行河川
八月廿三日官報内務省告示第二二六號を以て鹿兒島縣川内川、肝川に河川法施行公示

○逓信省關係官制中改正

八月廿三日官報を以て逓信省官制中改正(勅令第二〇一號)、逓信部内臨時職員設置制中改正(勅令第二〇二號)、電氣試驗所官制中改正(勅令第二〇三號)、逓信局官制中改正(勅令第二〇六號)、逓信官署官制中改正(勅令第二〇七號)等公布、何れも廿二日附にして内容は技師其他職員の増員に關するもの、何れも公布より施行

○國產振興委員會官制中改正
八月廿四日官報勅令第二一〇號を以て同官制中改正(定員廿人を卅人に増員)公布(廿三日附)、公布日より施行

○電報規則中改正
八月廿五日官報逓信省令第三九號を以て同規則第三條第三項の改正(日本無線電信株式會社發受電報に關する件)公布、同日より施行

○實業學校卒業檢定規程中改正
八月廿八日官報文部省令第一三號を以て實業學校卒業程度檢定規程中改正(女子規程其他)發表、公布日より施行

○關東廳電氣使用規則中改正
八月卅一日官報關東廳令第三八號(七月卅一日附)を以て同電氣使用規則中改正(定額電燈、從量電力料金)發表、本令は昭和三年三月一日より施行にして尙之と共に瘦子窩電氣使用規則は之を廢止

○陸軍砲工學校其他入學期
九月六日官報陸軍省令第三二號を以て陸軍砲工學校學生入學時期(十二月中旬)其他公布、九月廿日より施行

○經濟會議會官制公布
九月七日官報勅令第二二四號を以て同官制六ヶ條を公布(九月六日附)、右は公布日より施行せらる

○國有鐵道定期乘車券價上令
九月七日官報逓信省告示第一九一號を以て、國有鐵道旅客及荷物運送規則中第一條別表第二號普通定期乘車券運賃中二等及十二ヶ月三等運賃(値上)改正表を公布、右は昭和三年十月十日より施行

○無線電話通話規則其他
九月十三日官報逓信省令第四四號を以て同規則二十ヶ條並に附則公布、同日同省令第四五號を以て私設電信私設無線電信公衆通信取扱規則中改正

正公布、何れも昭和三年十月二十一日より施行

○河川法施行河川
九月廿五日官報内務省告示第二五一、二五二號を以て山口縣佐波川、石川縣手取川に河川法施行公示

○電話規則中改正
九月廿五日官報逓信省令第四八號を以て同規則第五八條中通話度數不算入の場合の項につき改正の件公布、右は本年十月二十一日より施行

○軍用自動車補助法施行細則中改正
九月廿五日官報陸軍省令第二〇號を以て同細則八章七十二ヶ條並附屬書式等全部改正公布、即日施行

○私設電話規則中改正
九月廿九日官報逓信省令第五〇號を以て同規則中改正公布、内容政府は地下ケーブルを私設電信電線として使用し得る場合の條項にして、即日施行

○鐵道省官制中改正
十月三日官報勅令第二三五號(二日附)を以て同官制第十條其他改正公布、内容は專任鐵道監察官三人奏任設置に關する事項にして公布日より施行

○臺灣電氣事業法施行令其他
十月三十日官報臺灣總督府令を以て臺灣電氣事業法施行に關する件(第五五號)三ヶ條並附則、自家用電氣工作物施設に關する件(第五六號)電氣測定法に關する件(第五七號)、明治卅三年府令第八〇號中改正(第五八號)、明治四十三年府令第三六號中改正(第五九號)の各法令公布何れも本年十月十四日公布、施行期日は本年十月二十日なり

○請願通信施設規則中改正
十一月一日官報朝鮮總督府令第六八號を以て同規則中改正の件公布、本年十月二十日公布即日施行

○無線關係規則中改正
十一月七日官報逓信省令を以て官廳用無線電信無線電話規則中改正(省令第五七號)、放送用私設無線電話規則中改正(省令第五八號)各公布、何れも即日施行

十一月二十四日官報臺灣總督府告示を以て、電氣事業法施行規則中檢定吏員證書の件(第二二七號)、同上標旗及標燈樣式の件(第二二八號)、電氣測定法電氣單位標準器仕様細目の件(第二二九號)各公布(何れも本年十月四日付)

○陸軍工兵學校條例中改正
昭和三年十二月六日官報軍令第九號を以て同校令中改正公布、先づ陸軍工兵學校條例を「陸軍工兵學校令」に改め「電氣中隊」に關する條項其他を加へたるものなるが本令は昭和三年十二月十日より施行

○鐵道局官制中改正
昭和三年十二月二十一日官報勅令第二八〇號(廿日附)を以て同官制改正發表、内容は副參事、技師其他増員の件にして公布日より施行

○無線電報其他規則改正
昭和三年十二月二十四日官報を以て無線電報規則中改正(逓信省令第六二號)、私設電信私設無線電信公衆通信取扱規則中改正(逓信省令第六三號)を發表、前者は放送電報料金收領中一名宛毎の月額五圓を一圓に改正の件、後者は取扱費條項變更に關するものにして何れも昭和四年一月一日より施行

○國際無線電信條約
昭和三年十二月廿六日官報號外條約第八號を以て、昭和二年十月四日より同年十一月廿五日迄華盛頓に開催されたる國際無線電信會議結果による國際無線電信條約批准公布あり、内容二十四ヶ條

○外國無線電報規則改正其他
昭和三年十二月廿六日官報號外逓信省令第六五號を以て同電報規則三十ヶ條の改正發表あり、又同號外逓信省告示第二九二九號を以て前記條約第八號華盛頓締結國際無線電信條約附屬一般規則發表あり。外國無線電報規則は昭和四年一月一日より施行

○東京帝國大學官制中改正
昭和三年十二月廿七日官報勅令第二八三號(廿六日附)を以て同官制中改正發表、内容は助教教授其他職員にして本令は公布日より施行

昭和三年中本邦電氣界

昭和三年十二月廿九日官報選信省令第六七號を以て第四條其他各條項改正公布、本令は昭和四年一月一日より施行

八 電氣界人事

昭和三年中電氣界人事の注目すべき移動を挙ぐれば大體左記の如し。福澤桃介氏東邦電力相談役辞任、一月、其後大同電力社長其他退任、中山龍次氏一月末勤任一等選信技師就任と同時に退任し次で日本放送協會東支常務理事就任、永田兵三氏東電電機社長(一月)、木村尚一氏京都市電氣局長(二月)、小林一三氏東京電機社長(二月)、田邊隆二氏京都市電機社長(二月)、黒崎延次郎中將陸軍科學研究所長(三月)、有田邦教氏京阪電機社長(四月)、福澤駒吉氏矢作水力社長(四月)、久原房之助氏選信大臣(五月)、井上景太郎氏電氣協會常務理事(五月)、廣岡宇一郎氏選信政務次官(五月)、松永安左衛門氏東邦電力社長(六月)、伊丹彌太郎氏同上退任、(六月)、上野吉二郎氏京電力社長就任及退任(六月、十一月)、増田次郎氏大同電力社長(六月)、宗宮知行氏北海道帝大教授(六月)、上田一穂氏鹿島市電氣局長(七月)、佐藤大河内氏旅順工科大学教授(六月)、大河内一斐氏東京市電氣局長(十月)、近藤茂氏昭和電力副社長(八月)、納富馨一氏芝浦製作所常務取締役(八月)、池尾芳蔵氏日本電力社長(十一月)、若尾璋八氏京電力社長(十一月)

右に依りて見るに、大電力會社の社長職に移動多き事は最も注目すべき人物の動靜に伴ふ電氣界の大勢轉換も自ら時代性の解釋を表はしつゝ、ありと考ふることを得べし。

昭和三年中、電氣關係學術、工學の研究に依りて學位の榮冠を得たる諸氏は左記の如し、川崎合恒三氏(一月、電氣爐設計に關する論文—工學博士)、(大同電氣製鋼所常務取締役)

大山松次郎氏(四月、熱電堆輻射計に關する論文—工學博士)、(東京帝國大學助教)、山本勇氏(八月、コイル固有電氣振動に關する論文—理學博士)、(東京高等工業學校教授電氣科長)、小川若三郎氏(十二月、檢波用方鉛礦に關する論文—工學博士)、(選信省電氣試驗所第五部長)

右諸氏の學術的效果は將來益々大なるものを期待し得べく、殊に最近電氣應用方面の學術權威者を續々見るに至りし事は、甚だ心強き感を得るもの多し。

昭和三年中海外より新知識を齎して歸朝せる電氣界人士に左の諸氏あり、稲田三之助氏(工學士選信省工務局長)、中上 豊吉氏(工學士選信技師)、箕原 勉氏(工學博士海軍造兵少將)、瀨野 幾平氏(工學士四國水力主任技術者)、高尾直三郎氏(工學士日立製作所工場長)、志田 文雄氏(工學士住友電線製造所技術者)、高橋 本枝氏(工學士古河電氣工業技術部長)、山本 忠興氏(工學博士早稲田大學理學工學部長)、桑田 敬治氏(理學士大阪高工教授)、八木 秀次氏(工學博士東北帝大教授)、出 第二郎氏(東邦電力)、中川 末吉氏(古河電氣工業社長)、佐伯 猛男氏(工學士昭和電力技師)、川崎合恒三氏(工學博士大同電氣製鋼常務)、本野 亨氏(工學博士京都帝大教授)、電氣界人士にして昭和三年中海外に出發せる諸氏多けれども、其氏名は歸朝後に紹介す。

昭和三年十一月京都市に於て御即位式行はせらるゝに當り、全國各方面に亘り國家に功績ある諸氏の爲め授爵昇爵位敘勳褒賞其他功勞表彰の恩命ありたるが其の内に電氣各方面關係の諸氏を多數見出したることは我が電氣界の偉大なる榮譽として特筆すべき事柄なり。

又昭和三年中電氣界關係の人士にして物故せる諸氏の中に

- 丹羽 正道氏(一月) 松風 嘉定氏(一月) 加藤爲次郎氏(一月)
山田 嘉穂氏(一月) 四松喬次郎氏(二月) 蛭川 洪徳氏(二月)
三浦 正忠氏(一月) 平井 清氏(二月) 岩下 清周氏(三月)
大倉喜八郎氏(四月) 中根虎四郎氏(四月) 若尾 幾造氏(四月)
上遠野宮之助氏(五月) 若田 健氏(六月) 菅原 道明氏(六月)
怡 土 東氏(七月) 原 彌 吉氏(八月) 大越 大藏氏(八月)
西崎 醇夫氏(八月) 日野杉耕造氏(八月) 野尻 狂介氏(八月)
川田 馨氏(八月) 兒島牛五郎氏(九月) 宮崎 敬介氏(十月)
齋藤 留氏(十月) 北上源之助氏(十月) 山岡順太郎氏(十一月)
所 喜之助氏(十一月) 中村 順信氏(十一月) 小島 潔氏(十一月)

等多數の諸氏あり、電氣學界、電氣商工業、事業界の爲めに悲しむべし。

九 電氣出版界

電氣出版界は電氣之友社、オーム社、丸善、コロナ社、厚生閣、裳華房等各種の新刊、改訂版等に相當の活躍を續けたりと雖も、大體には寧ろ平凡なる状態に推移したりと云ふべく、電氣學會が特有のポケットブックを刊行を完成したる事は特筆すべきものなり。又講義録は選信社の選信受驗講座、江崎正文堂の初等電氣工學標準講座等の發行を見る、創刊の電氣雜誌として電熱(月一回廿五日發行)電氣通信(月一回十五日)發行の二種あり

電氣試驗所研究報告

- 第二〇九號 又流式電橋
第二一三號 光電池による完全なる配光曲線の畫き方

昭和三年中本邦電氣界

岩佐 茂作
堀岡正家外

Table with 3 columns: Report Number, Title, and Author. Includes reports on long distance radio reception, transformer improvements, and electrical insulation.

電磁氣學	著者 坂山平一	校房と換氣設備	柳澤政之助	實用電鍍法	長谷川源太郎
電氣及磁氣學	著者 J.トムソン	屋內電熱工事仕様書	京都電燈會社	最新電話後編	道田貞治
理論電氣學第四編	著者 水野敏之丞	電氣機關車工學	木村英太郎	電池及電話加入者線	中野直信
交流理論	著者 森兵吾	電氣機關車工學	谷口國松	無線電信電話學	佐伯美津留
新編電氣通論交流理論二	著者 電機學校	電氣機關車工學	牛田繁根次郎	ラゲオ配線圖集	日本無線電話會
交流理論	著者 アーノルド	電氣機關車工學	本田朝雄	代表的ラゲオ受信機の	吉田、共野
電氣理論詳解交流理論	著者 片木久吉	電氣機關車工學	井上義造	昭和三年電氣年鑑	電氣之友社
鳳氏交流理論詳解	著者 杉浦弘	電氣機關車工學	村上喜平	電氣組合年鑑昭和三年度	大阪電氣商工組合
アーノルド過渡現象	著者 春名由己	電氣機關車工學	山尾豪介	電氣組合年鑑昭和三年度	西田順一
對稱座標法解説	著者 別宮貞俊	電氣機關車工學	小林修二	電氣の概念と漏電の豫防	瀧澤元治
ローマ字電氣工學ノ實驗	著者 荒川文六	電氣機關車工學	上村浩	電氣の概念と漏電の豫防	同
双曲線函數表	著者 コロナ社	電氣機關車工學	ラングストルフ	電氣事業報告第三輯	同
圓式對數及逆對數表	著者 シビル社	電氣機關車工學	小澤省吾	電氣事業報告第三輯	同
計算尺の使ひ方	著者 山田英雄	電氣機關車工學	北村末造	電氣事業報告第三輯	同
計算尺の原理及使ひ方	著者 松木、片岡	電氣機關車工學	瀧口三雄	電氣事業報告第三輯	同
電氣磁氣測定並測定器具下	著者 清水興七郎	電氣機關車工學	尾本義一	電氣事業報告第三輯	同
電氣測定法	著者 藤田經定	電氣機關車工學	春名由己	電氣事業報告第三輯	同
送電及配電前編(送電部)	著者 各務米次郎	電氣機關車工學	弘田龜之助	電氣事業報告第三輯	同
送電線の電氣的計算(梯梯(一))	著者 小中孝治	電氣機關車工學	古川隆松	電氣事業報告第三輯	同
繼電保護方式の適用	著者 佐野作一	電氣機關車工學	益田經次郎	電氣事業報告第三輯	同
水力發電所	著者 山田陽晴	電氣機關車工學	桐淵勸藏	電氣事業報告第三輯	同
發電水力第二編(堰堤)	著者 山田陽晴	電氣機關車工學	益田經次郎	電氣事業報告第三輯	同
照明工學	著者 坂下綱次	電氣機關車工學	益田經次郎	電氣事業報告第三輯	同
照明器具目錄	著者 坂下綱次	電氣機關車工學	益田經次郎	電氣事業報告第三輯	同

昭和三年中本邦電氣界

七四

選試重要問題解法	著者 持木勇次郎	屋外可撓線標準仕様書	同	照明工學 第二卷	パーロリス
選試參考書	著者 持木勇次郎	屋內配線用標準シムホル	同	電氣鐵道 第一卷	ラングストルフ
科目別選試(機械的)	著者 電機學校	第十九回電氣事業要覽	同	交流機 第一卷	ローレンス
標準解答(部高等)	著者 佐野作一	屋內電氣工事施設要則	同	電氣機械故障の診療 第一卷	ワイカス
第二種選試問題範圍	著者 山中新造	電氣鐵道運輸基本要項	同	電氣機械故障の診療 第二卷	ワイカス
第三種選試問題	著者 山中新造	電氣鐵道運輸基本要項	同	電氣機械故障の診療 第三卷	ワイカス
選試第三種 受驗要領	著者 電氣學校	同	同		
一次試驗 受驗要領	著者 電氣學校	同	同		
カード式選試問題解答	著者 電氣學校	同	同		
第六輯磁氣測定 第七輯重要概數	著者 電氣學校	同	同		
電氣工學パンフレット	著者 電氣學校	同	同		
一編 瞬時短絡電流計算法	著者 電氣學校	同	同		
二編 最新式避雷器解説	著者 電氣學校	同	同		
三編 電力用繼電器及保護方式	著者 電氣學校	同	同		
四編 大容量水銀整流器の發達と其理論	著者 電氣學校	同	同		
五編 最近に於ける汽力發電所の發達	著者 電氣學校	同	同		
六編 水力發電所の設計と最近の傾向	著者 電氣學校	同	同		
八編 交流ブリッジ法	著者 電氣學校	同	同		
九編 非對稱三相回路計算法	著者 電氣學校	同	同		
一〇編 導線切の計算と行列式の應用	著者 電氣學校	同	同		
一一編 乘數表と指數函數との關係及電氣工學上の應用	著者 電氣學校	同	同		
一二編 電氣工學上の極大極小値決定問題	著者 電氣學校	同	同		
一三編 電氣鐵道の最近に於ける重要問題	著者 電氣學校	同	同		
一五編 架空線路の力學的諸計算	著者 電氣學校	同	同		
英獨和電氣工學術語辭典	著者 山際滿壽一	同	同		
對照電氣用語辭典	著者 鐵道知識社	同	同		
和英對照電氣用語辭典	著者 鐵道知識社	同	同		
電氣工作物拔萃實用便覽表	著者 鐵道知識社	同	同		
單相誘導電動機標準仕様書	著者 電氣學校	同	同		
小型誘導電動機標準仕様書	著者 電氣學校	同	同		

昭和三年中本邦電氣界

七五

關東廳電氣事業

(昭和三年三月末現在、關東廳通信局調査に依る)

事業種別		事業數		事業別	
一		其一		開始	
(イ) 供給	二二	二二	二二	開始	未開始
(ロ) 兼道	一一	一一	一一	開始	未開始
(ハ) 鐵道	一一	一一	一一	開始	未開始
(ニ) 官廳用及自家用	二八	二八	二八	開始	未開始
計	五三	五三	五三	開始	未開始
其二 原動力別		合計		計	
(イ) 汽力	一一	一一	一一	開始	未開始
(ロ) 瓦斯力	一一	一一	一一	開始	未開始
(ハ) 重油力	一一	一一	一一	開始	未開始
(ニ) 受電	二九	二九	二九	開始	未開始
計	五三	五三	五三	開始	未開始
發電力(KW)		其一 事業別		計	
(イ) 供給	三五、九四六・六	三五、九四六・六	三五、九四六・六	開始	未開始
(ロ) 兼道	四二、五〇〇・〇	四二、五〇〇・〇	四二、五〇〇・〇	開始	未開始
(ハ) 鐵道	一一、五一七・七	一一、五一七・七	一一、五一七・七	開始	未開始
(ニ) 官廳用及自家用	九〇、九六四・三	九〇、九六四・三	九〇、九六四・三	開始	未開始
計	一七〇、九一八・六	一七〇、九一八・六	一七〇、九一八・六	開始	未開始
其二 原動力別		合計		計	
(イ) 汽力	一一	一一	一一	開始	未開始
(ロ) 瓦斯力	一一	一一	一一	開始	未開始
(ハ) 重油力	一一	一一	一一	開始	未開始
(ニ) 受電	二九	二九	二九	開始	未開始
計	五三	五三	五三	開始	未開始
發電所數		其一 事業別		計	
(イ) 汽力	一七	一七	一七	開始	未開始
(ロ) 瓦斯力	一三	一三	一三	開始	未開始
(ハ) 重油力	一一	一一	一一	開始	未開始
(ニ) 受電	二九	二九	二九	開始	未開始
計	五〇	五〇	五〇	開始	未開始
電線路(杆)		其一 軌道電柱數		計	
(イ) 電線路互長	二、二九五	二、二九五	二、二九五	開始	未開始
(ロ) 延長	八、七六八	八、七六八	八、七六八	開始	未開始
(ハ) 特別高壓	一、三一七	一、三一七	一、三一七	開始	未開始
(ニ) 電柱數(鐵塔ヲ含ム)	三、四八七	三、四八七	三、四八七	開始	未開始
計	一五、七三〇	一五、七三〇	一五、七三〇	開始	未開始
電氣鐵道(杆)		其一 軌道電柱數		計	
(イ) 軌道互長	一、九四五	一、九四五	一、九四五	開始	未開始
(ロ) 延長	一、五五〇	一、五五〇	一、五五〇	開始	未開始
(ハ) 軌道電柱數	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	開始	未開始
(ニ) 電柱數	五、九四二	五、九四二	五、九四二	開始	未開始
計	一〇、八三七	一〇、八三七	一〇、八三七	開始	未開始



定價金拾五錢
送料四錢

前編 電氣問答
本編 是丈は心得おく事
後編 問答

社會資電氣之友社發行

東京市橋區南金町五番地 電話二五二五 電報掛東京二〇三番
大阪市北區堂島中二丁目 電話九〇九六 電報掛大阪三三五八番

關東電氣事業

其二 車輛數運轉狀況

(イ)客車數	一二五
(ロ)機關車數	三四
(ハ)貨車數	一一
(ニ)附隨貨車數	三七三
(ホ)客車走行料	六、七五七、三四一
(ヘ)乘客數	三一、三二八、四七四
(ト)機關車貨物附隨車走行料	六、一一八、四三七
(チ)載貨噸數	一三、五七四、〇六二

六 電燈需要狀況

(イ)需用家數

八六、九二一

七 電力需用狀況

(イ)電機

(ロ)其他ノ電力裝置

計

需用家數	一、四七二
簡數	二、九八五
KW數	一、六八六
	三、四五七
	四、六七一
	五二、九三九

八 資本(圓)

種別

(イ)資本金

(ロ)拂込資本金

(ハ)固定資本金

(ニ)社債又ハ借入金

(ホ)積立金

計

供	一、七五〇、〇〇〇
給	九五〇、〇〇〇
	一〇、九二四、一八三
	五一四、二八一
	五六四、六〇五

九 收入支出概況(圓)

事業種別

(イ)供給

(ロ)管

(ハ)鐵道

計

收入	五、〇〇一、九〇三
	七、〇二七、二五一
	二二、二九九
	一一、〇五一、四五三

支出

三、六〇五、四九一

六、〇一〇、九〇一

四六、二二九

九、七六〇、八二一

利益

一、四一三、三七一

九三三、四一〇

△一五、二六〇

△二二、九三〇

△三四六、七八一

△五六六、一四九

積立金

一〇九、八六四

一三六、六〇〇

一、五四〇、〇〇〇

二四六、四六四

一、六二四、二五〇

配當金

八四、二五〇

一、五四〇、〇〇〇

一、六二四、二五〇

日誌

(昭和三年一月より十二月迄)

- 一月
- 一日 ▲銀行法、商工會議所法實施、▲特設電話規則改正(他局加入者に便宜を與ふる一部の改正)實施、▲關東北方強震
 - 二日 ▲裏日本一帯大吹雪
 - 三日 ▲政治式、▲大禮使初會議を開く
 - 四日 ▲ワシントンに開催の國際無線會議出席日本代表委員通信省工務局長相田三之助氏一行歸朝、▲明治二十二年名古屋電燈會社創業當時の技師長工學士丹羽正道氏逝去、▲奥羽地方大吹雪
 - 五日 ▲東京市長に市來乙彦氏當選、▲大阪の中央電氣俱樂部新年名刺交換會を開催
 - 六日 ▲松平節子姫秩父宮妃御内定非公式に發表さる、▲朝鮮軍司令部國境守備移動式軍用無線電信開通工費二十萬圓
 - 七日 ▲聖上陛下御踐祚後最初の陸軍觀兵式を代々木練兵場に舉行さる、東京放送局は中繼放送にて一般に御模様を知らしむ、▲後備兵某觀兵式に直訴を企つ
 - 八日 ▲興業債券三千萬圓發行、▲メイトルれち及ウイットオームれちの六角ポルト
- 二月
- 一日 ▲規格外に關し電氣協會より該調査會に意見書提出、▲松風工業株式會社社長松風嘉定氏逝去、▲大同電氣製鋼社常務川崎恒合三氏學位論文に依り工學博士を授與さる、▲京都電氣會例會と新年會を開催
 - 二日 ▲知事及各部長に大更迭行はる、▲全九州ラヂオ組合設立、熊本市に於て設立式舉行
 - 三日 ▲電氣俱樂部新年名刺交換會開催、▲珍らしき暖氣にて各地雪崩頻々
 - 四日 ▲昭和二年施行第七回實業教員檢定試験合格者官報發表電氣科十八名、▲京阪神電氣業者新年會大演一力樓に開催、▲裏日本暴風雪 ▲英國勞資協調會議開かる
 - 五日 ▲各通信局より大口電力供給附帯命令改正、通信局長の認可を受け一邸宅又は一構内に電力又は電燈用電力をも供給するを得ることとなる ▲關東廳令第六〇號親子高電氣使用規則并附則官報にて公布昭和三年十一月より施行
 - 六日 ▲東京電燈會社名古屋方面進出に付同地方に於て東邦電力と東京電燈と相互の供給區域に於て競争せざることを契約し協約書に調印す ▲東京電燈出願の愛知縣一圓の電力大口供給名古屋通信局より認可市部五十馬力以上郡部二十五馬力以上 ▲南朝鮮鐵道株式會社創立總會を丸の内生命保險協會に開會社長根津嘉一郎事務別府丑太郎氏當選 ▲大阪電氣商工組合新年會を北濱舞場に開催す
 - 七日 ▲大禮記念國産振興東京博覽會上野に於て上棟式舉行附院總裁宮殿下臺臨 ▲日本工業組合中央會創立總會を丸の内商工獎勵館に開く ▲東京電燈株式會社臨時總會を日本工業俱樂部に開會東京電力株式會社と合併可決 ▲東京電力株式會社臨時總會を永樂ビルに開會東京電燈株式會社と合併可決 ▲新京阪電氣鐵道淡路高槻間開通 ▲第六回汎米會議開會
 - 八日 ▲大禮期日奉告祭を行はせらる ▲山東鐵道會臨時總會を開き膠濟鐵路借款問題協議
 - 九日 ▲秩父宮殿下松平節子姫と御婚約動許あらせらる ▲帝國發明協會主催の豊田

日誌

- 十九日 ▲佐吉、御木本幸吉兩氏被勳祝賀會丸の内東京會館に開催
- ▲中央金庫利下
- ▲聖上陛下御講書始 ▲文部省告示第二〇號教員無試験檢定指定學校及學科目改正官報にて公布 ▲東京電氣業同盟會主催の家庭電化博覽會を上野に於て開催 ▲大倉喜八郎男旭日大綬章加授せらるる實業家として翁を以て嚆矢
- 二十一日 ▲休會明けの第五回帝國議會解散 ▲議會解散に付東京市内電報受付數二十四萬八百三十七通 ▲總選舉期日二月二十日と決定 ▲工政會主催懇談會を日本俱樂部に開き工業試驗研究機關に關し協議 ▲關西電氣會新年會を大阪天王寺に開催
- 二十三日 ▲總選舉詔書公布さる ▲社團法人照明學會總會を電氣俱樂部に開會、副會長に増永元也氏當選 ▲南洋總令第八號南洋廳電氣使用規則公布昭和三年一月一日より施行官報發表
- 二十四日 ▲借替國債一億五千萬圓發行の件公布 ▲臨時地方長官會議を開く
- 二十五日 ▲全國同業組合大會を丸の内日本工業俱樂部に開催 ▲電氣學會關西支部總會を開會支部長雨宮春雄氏當選 ▲濱松高等工業學校教授村田義人氏電力發生并輸送研究のため米國へ留學を命ぜらる ▲新潟縣下臨時急行列車編組
- 二十六日 ▲日本工業組合中央會創立總會を東京商工獎勵館に開く ▲京濱電氣業者新年會を松本樓に開催 ▲商工省より工業研究獎勵金各三千五百圓を長岡半太郎、湯淺龜一兩氏に交付 ▲公債券騰特別五分利額面突破 ▲小農融資三千萬圓決定
- 二十七日 ▲山梨朝鮮總督官邸に蒲原電氣局長朝鮮電氣事業根本調査書類提出説明をなす ▲京城電氣株式會社總會を日本工業俱樂部に開會配當一割二分可決 ▲大阪電氣軌道株式會社臨時總會開會、大軌土地株式會社合併可決 ▲司法官會議開會 ▲中小商工融資五千萬圓決定
- 二十八日 ▲宮中御歌會始 ▲鐵道省緊急豫算省議を開き鐵道新規模豫算と私鐵買收公債交付案を決す ▲社團法人電氣學會總會を丸の内電氣俱樂部に開會會長太刀川平治氏副會長前原助市氏當選 ▲萬國工業會議準備第一回評議員會を丸の内工業俱樂部に開會會長古市公成副會長斯波忠三郎岡琢磨四條隆英の諸氏就任 ▲東京電化カーボン株式會社取締役技師長川網治直氏逝去
- 二十九日 ▲東電、東邦、大同、日電、宇治電
- 三十日 ▲代表者會見、共同調査機關設置決定
- ▲愛媛縣上分町より徳島縣佐馬地村其他の愛媛電氣鐵道發起人大塚豐三郎氏外十餘名に免許狀下附
- 三十一日 ▲社團法人中央電氣俱樂部總會開會理事長に大阪市電氣局長今井田清徳氏當選 ▲阪神電氣鐵道株式會社及阪神國道電軌株式會社の兩社各臨時總會開會兩社合併可決 ▲金澤高等工業學校教授森田利一氏電氣化學研究のため獨逸に留學を命ぜらる ▲勅令第十一號海軍技手養成所令改正四月一日より施行 ▲十五銀行小口拂開始 ▲信越地方大吹雪

二月

- 一日 ▲鐵道省々線電車田端赤羽間運轉開始 ▲東京無線電信局より南洋廳管下七島に新聞電報等放送開始
- 二日 ▲鐵道同志會總會を丸の内電氣俱樂部に於て開催
- 三日 ▲京都市土岐新市長就任職制改革をなし電氣局長山田耕氏技師長、木村尙一氏(元大阪市運輸課長)市電氣局長に任命 ▲農事電化協會會長電氣協會會長帝國農會長連名農村電化促進の爲電動機使用規程改正方各縣に陳情書を提出 ▲東北本線金崎驛附

日誌

- 近にて貨車十四輛編組
- 四日 ▲電子論著者として有名なる電氣學者エツチエーローレンツ教授和蘭ハールレムにて逝去享年七十六
- 五日 ▲悠紀、主基齊田決定
- 六日 ▲後藤子爵歸國より歸朝 ▲昭和三年度電氣事業主任技師資格檢定試験の件官報にて公示受験申請書受付自二月十日
- ▲東電、東邦、大同、日電、宇治川の五大會社電力共同調査委員會第一回を東京電燈株式會社内に開會、▲横濱市電氣局職制改正工務課を廢し土木電氣兩課とし工務課長矢野充土木課長酒井三二氏(元京都市電工務課長)任命、▲日本放送協會廣島、熊本、仙臺、札幌の四放送局許可逕信省告示
- 七日 ▲東京高等工業學校規則及附設工業教員養成所規程中入學檢定に關する二三項目改正の件官報公布 ▲北日本大吹雪
- 八日 ▲建築設備の會創立總會を丸の内東京會館に於て開會 ▲十五銀行和議開始決定
- 十日 ▲電力統制調査委員會を電氣俱樂部に開會委員長に井上角五郎氏當選 ▲東京市債四千五百萬圓銀行團引受決定
- 十一日 ▲紀元節建國祭舉行 ▲家庭電氣普及會照明學會主催電氣實演文化展覽會を大
- 阪の大丸に於て開催 ▲朝鮮鎮南浦無線電信局放送開始
- 十二日 ▲關東地方強震
- 十三日 ▲日本動力會議の電力統制委員會を開會具體案を議す
- 十四日 ▲逕信省令第七號電話規則中第三條第二項改正の件官報公布
- 十五日 ▲逕信省令第九號豫約新聞電話規則中改正(豫約通話時數減少に關する件其他)即日施行官報公布 ▲電燈照明に應用の會を二十八日まで三越に開催 ▲一九〇八年より八ヶ年間英國自由黨内閣首相たりしアスキス氏逝去 ▲米國汽船チャキー號房州沖にて油庫爆發沈没 ▲信越地方大風雪
- 十六日 ▲秩父宮殿下を英國協會總裁に仰ぎ東京會館にて推戴式舉行、殿下には日英親善の英語御演説を遊ばさる
- 十八日 ▲工業化學會第三百回常會を丸の内電氣俱樂部に開く
- 二十日 ▲第一回普通選舉法に依る衆議院議員總選舉全國一齊に行はる ▲東京府下に店舗を有する電氣關係業者の東京電友會第一回は上野山下に於て開催
- 二十一日 ▲逕信省令に依る私設無線通信従事者檢定試驗三月五日六日施行官報發表
- 二十二日 ▲大阪市債三千八百五十三萬三千八百圓(電氣事業其他充當)銀行團と契約の件市參事會にて可決 ▲山口縣電氣事業公債二千七百七十一萬六千圓住友三井安田三信託會社にて引受決定
- 二十三日 ▲後藤子爵歸朝歡迎會を電氣俱樂部に開催 ▲米澤高等工業學校教授古谷丹氏交直流電氣工學理論及應用研究のため米國留學を命ぜらる ▲東京逕信局分館階下より出火分館及附近十二戸焼失
- 二十四日 ▲京都電燈株式會社臨時總會を開會公會堂に開き東京電燈山陰支社買收、社債二千二百萬圓發行可決、逕信省簡易保險局長田邊隆二氏(副社長就任條件)、大澤徳太郎氏取締當選 ▲九州水力電氣株式會社臨時總會を開き別途積立及繰越金の内三百十萬八千圓を配當其他可決 ▲東北大暴風福島縣下にて貨物電車吹飛さる
- 二十五日 ▲東京熱海間鐵道省線電化完成電氣運轉開始 ▲養老電氣鐵道株式會社創立總會を大垣市に開會 ▲富士電力株式會社臨時總會を電氣俱樂部に開會社債五百萬圓可決
- 二十七日 ▲國際交通委員會セネバに於て開會 ▲大藏省日本銀行と通貨收縮につき協議をなす ▲臺灣電力株式會社第七回總會臺北同社内に開會年六分配當可決 ▲逕信省簡易保險局長田邊隆二氏退官の結果廣島逕信

局長園田榮五郎氏簡易保險局長に、熊本選
信局長淺野平二氏廣島通信局長に、通信書
記官工務局庶務課長牧野實一氏熊本通信局
長に任命

二十八日 ▲神戸市電氣株式会社の元電氣局長米
田徳太郎氏外赤坂久三氏等判決言渡

二十九日 ▲帝國議會召集詔書公布 ▲東京市
會開會東京市第八回電氣事業公債條例提出
公債額八百三十萬圓以内、電氣局本年度豫
算總額一億二千二百四十八萬餘圓 ▲放送
協會關東支部總會を電氣俱樂部に開き理事
選舉中山龍次氏當選 ▲太平洋橫斷練習中
の飛行士後藤勇吉氏墜落斃死

三月

一日 ▲久宮内親王御不例發表 ▲東京大
阪間高速電氣鐵道目的の日本電氣鐵道株式會
社發起人總會を日本工業俱樂部に開會創立
委員長根津嘉一郎氏常務理事竹川久仁氏
▲東京新宿驛附近に新築中の鐵道病院落成
式舉行工費百七萬圓 ▲コロロンビヤ州議會
に排日案出づ

二日 ▲京成電氣鐵道株式會社臨時總會開
會新たに自動車經營遊園地及娛樂機關設置
等をも營む件可決 ▲鐵道省にて地方鐵道
網整理方針決定

三日 ▲西朝鮮電氣株式會社創立總會を信
洲温泉ホテルに開會社長齋藤宇太郎氏事務
金澤亮氏 ▲京阪神三都市一二等局聯合電
信競技會を大阪中央電信局に於て開催 ▲
移動用蓄電池發明募集一等五千圓社団法人
帝國發明協會より發表 ▲奥羽地方大暴風
雨 ▲神田銀行組合を脱退す

四日 ▲常磐線熊川鐵橋にて貨物十三輛吹飛
さる

五日 ▲社団法人照明學會臨時總會を電氣
俱樂部に開き東海支部設置可決 ▲金剛山
電氣鐵道株式會社東京出張所に臨時總會開
會社債五百萬圓可決 ▲大體記念國產振興
博覽會審査總長部長商工者より囑託發表

六日 ▲日本經濟聯盟理事會開會改革案可
決 ▲電氣協會關東支部電氣一東京祝賀
會委員會開會諸般の案決定

七日 ▲第二皇女久宮祐子内親王殿下薨去
▲朝鮮瓦斯電氣株式會社總會を鐵道協會に
開會配當一割二分可決 ▲日本放送協會關
東支部理事中山龍次氏常務理事就任認可
▲滿鐵煙草炭坑爆發即死五十名

八日 ▲名古屋市埋立地電氣供給範圍の東
邦及矢作兩電に供給權認可可決 ▲陸軍大
異動公表

九日 ▲東京電氣株式會社從業員東京電力
便年金引下公布

二十七日 ▲通信省令第一九號私設電信規則及
同二一號私設無線電信規則改正(メートル
制に改む)四月一日より實施官報公布 ▲
若尾外三行整理完了

二十八日 ▲鐵道省監督局は地方鐵道主任技術
者會議を丸の内鐵道俱樂部に開會 ▲八戸
水電株式會社臨時總會を開き五戸水電株式
會社合併可決 ▲通信省令第二四號放送用
私設無線電信規則改正四月一日施行官報公
布 ▲中央金庫利下げ

二十九日 ▲東京電燈外債一億弗成立す

三十日 ▲富士身延鐵道株式會社富士甲府間
全線開通 ▲勅令第四七號工藝指導所官制
公布さる

三十一日 ▲新規公債七千萬圓發行預金部引受
▲獨逸議會解散 ▲米支協定成立

四月

一日 ▲山梨縣電氣協會主催の山梨電氣博
覽會を甲府市に於て開催、甲府高工會議所
に開會式舉行 ▲十キロ放送記念ラヂオ展
覽會を東京市電氣研究所に於て三十日迄開
催 ▲東京電燈株式會社山陰支社を京都電
燈株式會社へ譲渡完了 ▲日本無線電信株
式會社三重縣三重郡海藏村對歐無線電信局

二日 ▲鐵道省現業員待遇改善委員會第一
回を鐵道省に開會爾來毎月一回開會に決定
▲八王子電氣鐵道承の武藏中央電氣鐵道株式
會社資本金(七百萬圓)創立準備委員會を開
く

三日 ▲日獨通商條約批准大戰後十三年振
りにて田中外相とゾルフ獨大使と交換

四日 ▲日本經濟聯盟理事會を日本工業
俱樂部に開き產業界時弊匡正案を議す ▲
北海道電燈株式會社臨時總會を工業俱樂部
に開き王子製紙の江別町及岩見澤町一般電
氣供給事業を譲受の外其他可決 ▲一畑電
氣鐵道株式會社松江平田間開通

五日 ▲青森函館間海底電話線開通 ▲第
六回全國化學工業大會を上野自治會館に開
催

六日 ▲社団法人工政會創立十年祝賀會を
丸の内東京會館に於て開催

七日 ▲全國工業家第五回大會を丸の内電
氣俱樂部に於て開催

八日 ▲聖上陸下葉山より還幸 ▲東京帝
國大學助教授大山松次郎氏學位論文に依り
工學博士授與さる

九日 ▲鐵道大臣官房研究所落成 ▲學士
院總會本年度授賞者決定 ▲第八回實業教
員檢定試驗十月執行受験申請四月十日官報
發表

十日 ▲久宮内親王殿下御喪儀 ▲商工省
より帝國發明協會に發明獎勵費交付

十一日 ▲久米良作氏外十二名橫濱積環電鐵
株式會社組織電氣鐵道設の件神奈川縣知事に
出願

十二日 ▲故工學博士岸敬二郎氏一周年追悼
會を電氣俱樂部に於て執行 ▲濃飛電氣株
式會社臨時總會開會三合同電氣株式會社
へ合併可決 ▲神戸製綱所總會整理案社債
發行減資案可決 ▲日米不戰條約正式交渉
開始

十三日 ▲聖上三月五日御風氣にあらせられ
しも御快癒御床拂 ▲文部省令橫濱高等工
業學校規程第三條中學校目改正即日施行官
報發表 ▲電氣化學工業株式會社は高砂水
力電氣北陸電氣和賀水力電氣を合併資本金
一千四百萬圓に變更

十四日 ▲望月選相住友電線工場視察 ▲東
京市百萬燈供給計畫主唱者東京市電燈部
長故安藤保太郎氏五周年忌追悼式を東京芝
青松寺に執行

十九日 ▲聖上皇后兩陛下久宮御墓所御製拜
▲鐵道省東海道線橫濱平塚間複々線開通一
▲岩下清周氏逝去

二十日 ▲兩陛下葉山へ行幸啓 ▲野田爭議
議員直訴を企つ ▲電氣一記念電氣展覽
會を大阪白木屋に開催 ▲東京電燈株式會
社臨時總會を工業俱樂部に開會副社長小林
一三氏就任

二十二日 ▲通信省電氣局に於て全國各府縣電
氣監督官會議を開く

二十四日 ▲東京商工會議所主催大體記念國產
振興東京博覽會開會式上野公園の會場にて
舉行開院總裁宮殿下臺臨 ▲東京電燈株式
會社と東京電力株式會社合併の件供給料金
整理其他條件付にて通信省より認可 ▲東
京電燈山陰支社供給區域を京都電燈株式會
社に譲渡認可さる ▲通信省令一五、一六、
一七、一八號電話關係法令改正(距離をメ
ートル制)四月一日より施行の件官報公布

二十五日 ▲電氣一東京大阪其他主要都市に
於て盛大なる祝賀會并諸種の催行はる
▲鐵道省主催の熱海線鐵道電氣化記念祝賀會
を熱海町に開催

二十六日 ▲黒部川水利權事件不起訴決定 ▲
福島電燈株式會社重役會開會社長吉野周太
郎氏辭任承認西形吉次郎氏社長當選 ▲郵

便年金引下公布

二十七日 ▲通信省令第一九號私設電信規則及
同二一號私設無線電信規則改正(メートル
制に改む)四月一日より實施官報公布 ▲
若尾外三行整理完了

二十八日 ▲鐵道省監督局は地方鐵道主任技術
者會議を丸の内鐵道俱樂部に開會 ▲八戸
水電株式會社臨時總會を開き五戸水電株式
會社合併可決 ▲通信省令第二四號放送用
私設無線電信規則改正四月一日施行官報公
布 ▲中央金庫利下げ

二十九日 ▲東京電燈外債一億弗成立す

三十日 ▲富士身延鐵道株式會社富士甲府間
全線開通 ▲勅令第四七號工藝指導所官制
公布さる

三十一日 ▲新規公債七千萬圓發行預金部引受
▲獨逸議會解散 ▲米支協定成立

四月

一日 ▲山梨縣電氣協會主催の山梨電氣博
覽會を甲府市に於て開催、甲府高工會議所
に開會式舉行 ▲十キロ放送記念ラヂオ展
覽會を東京市電氣研究所に於て三十日迄開
催 ▲東京電燈株式會社山陰支社を京都電
燈株式會社へ譲渡完了 ▲日本無線電信株
式會社三重縣三重郡海藏村對歐無線電信局

二日 ▲鐵道省現業員待遇改善委員會第一
回を鐵道省に開會爾來毎月一回開會に決定
▲八王子電氣鐵道承の武藏中央電氣鐵道株式
會社資本金(七百萬圓)創立準備委員會を開
く

三日 ▲日獨通商條約批准大戰後十三年振
りにて田中外相とゾルフ獨大使と交換

四日 ▲日本經濟聯盟理事會を日本工業
俱樂部に開き產業界時弊匡正案を議す ▲
北海道電燈株式會社臨時總會を工業俱樂部
に開き王子製紙の江別町及岩見澤町一般電
氣供給事業を譲受の外其他可決 ▲一畑電
氣鐵道株式會社松江平田間開通

五日 ▲青森函館間海底電話線開通 ▲第
六回全國化學工業大會を上野自治會館に開
催

六日 ▲社団法人工政會創立十年祝賀會を
丸の内東京會館に於て開催

七日 ▲全國工業家第五回大會を丸の内電
氣俱樂部に於て開催

八日 ▲聖上陸下葉山より還幸 ▲東京帝
國大學助教授大山松次郎氏學位論文に依り
工學博士授與さる

九日 ▲鐵道大臣官房研究所落成 ▲學士
院總會本年度授賞者決定 ▲第八回實業教
員檢定試驗十月執行受験申請四月十日官報
發表

十日 ▲久宮内親王殿下御喪儀 ▲商工省
より帝國發明協會に發明獎勵費交付

十一日 ▲久米良作氏外十二名橫濱積環電鐵
株式會社組織電氣鐵道設の件神奈川縣知事に
出願

十二日 ▲故工學博士岸敬二郎氏一周年追悼
會を電氣俱樂部に於て執行 ▲濃飛電氣株
式會社臨時總會開會三合同電氣株式會社
へ合併可決 ▲神戸製綱所總會整理案社債
發行減資案可決 ▲日米不戰條約正式交渉
開始

十三日 ▲聖上三月五日御風氣にあらせられ
しも御快癒御床拂 ▲文部省令橫濱高等工
業學校規程第三條中學校目改正即日施行官
報發表 ▲電氣化學工業株式會社は高砂水
力電氣北陸電氣和賀水力電氣を合併資本金
一千四百萬圓に變更

十四日 ▲望月選相住友電線工場視察 ▲東
京市百萬燈供給計畫主唱者東京市電燈部
長故安藤保太郎氏五周年忌追悼式を東京芝
青松寺に執行

日誌

十日 ▲渡歐中の李王殿下御歸京遊ばさる
▲労働農民黨外三團體結社禁止さる ▲東京大宮電氣鐵道株式會社創立總會を日本工業俱樂部に於て開會社長に諸井恒平氏、事務に田邊汎弘氏就任 ▲元小田原電氣鐵道株式會社社長中根茂四郎氏逝去

十一日 ▲奉海線問題悪化海鐵貨車回收を斷行す

十二日 ▲ミラン定期見本市開場式に行幸の伊太利皇帝に爆彈投下の兇漢あり皇帝無事死傷者五十名

十三日 ▲米國不戰條約を日英獨伊に正式提出 ▲出版物取締執行決定 ▲電氣俱樂部午餐會開催會員の衆議院議員當選者を招待 ▲元阪神電氣鐵道株式會社社長長片岡直輝氏一年祭執行

十四日 ▲東京電燈株式會社大改革新職制を定め人事辭令發表 ▲四月八日日本出發の世界一周の佛機コスト、ルブリ兩氏の飛行機無事巴厘着

十五日 ▲東北産業博覽會を仙臺市に開催 ▲武藏高等學校開校式舉行 ▲東京各縣花見客のため鐵道省の收入六十萬圓を計上す

十六日 ▲大日本實業組合聯合大會を大阪中央公會堂に開き營業收益稅全廢を決議す ▲東京無線電話機商組合第四回總會を開き

十七日 ▲東京ラヂオ商組合と改稱決定 ▲朝鮮晉州電氣株式會社臨時總會を開き泗川電氣、三千浦電氣兩社合併可決 ▲政友、民政兩黨各臨時大會を開く

十八日 ▲宮中御恒例觀櫻會 兩陛下臨御新宿御苑に於て御催しあらせらる ▲京都帝國大學教授河上博士辭職 ▲東京帝國大學新人會解散

十九日 ▲近江鐵道株式會社全線電化開通 ▲十五ヶ年間支那交通部顧問中山龍次氏慰勞午餐會を電氣俱樂部に開く ▲弘前市大火燒失家屋七百戸死者一負傷者九十餘名

二十日 ▲文部省令海軍學生規程中改正の件官報公布 ▲山東省動亂の爲熊本第六師團に動員令下る ▲千葉縣野田替油會社勞働爭議解決す

二十一日 ▲第五十五議會召集衆議院議長二名の差にて政友勝つ ▲所澤陸軍飛行學校々庭に建設の飛行機恩人故佛國陸軍少將フオル氏胸像除幕式舉行

二十二日 ▲文部省令東京帝國大學工學部規程中改正の件官報公布 ▲第五十五議會成立 ▲野黨の内相彈劾案決定

二十三日 ▲陸軍中野電信隊無線隊青島へ出發 ▲男爵大倉喜八郎氏逝去享年九十二歳 ▲高松宮殿下練習艦隊に御乘艦遠洋

二十四日 ▲航海に上らせらる ▲普選最初の第五十五回議會開院式 ▲鐵道省主催の中部地方以西地方私設鐵道會社主任技術者會議を日本工業俱樂部に於て開會

二十五日 ▲日滿直通運輸聯絡協定會議を哈爾濱に於て開會 ▲宇治川電氣株式會社總會を大阪商工會議所に於て開會配當一割可決 ▲田端驛にて省電線線重傷五十名

二十六日 ▲衆議院御大禮豫算原案通り可決 ▲阪神電氣鐵道株式會社總會開會配當一割三分重役再任可決 ▲東武鐵道株式會社總會開會配當一割三分可決 ▲京濱電力及中央電力兩株式會社社長若尾幾造氏逝去享年七十 ▲東京牛込郵便局電報配達夫全員三十名同盟罷業

二十七日 ▲御大禮豫算案貴族院通過 ▲勅令第七四號旅順工科大学官制中教授助教授其他増員の件官報公布

二十八日 ▲第三回全國工業懇話會聯合大會を名古屋商工會議所に開催 ▲社団法人工政會總會を丸の内中央亭に開く ▲政府より治安維持法改正案提出 ▲野黨より内相并内閣彈劾案を衆議院に提出

二十九日 ▲帝國議會三日間停會詔書降る ▲矢作水力株式會社總會配當一割三分、本社を名古屋に移轉、社長福澤駒吉氏に決定

八四

日誌

▲大阪電氣軌道株式會社總會配當及社債一千萬圓募集決定 ▲日本電力株式會社總會配當九割、相武電力合併、電鐵を箱根登山鐵道に譲渡決定 ▲京阪電氣鐵道株式會社總會開會副社長に前大阪市助役有田邦敏氏新任其他決定 ▲日本ラヂオ協會總會開會會長に中原岩三郎氏當選 ▲東信電氣總會開會配當一割二分取締役増員若尾鴻太郎氏決定

二十九日 ▲聖上陛下最初の天長節

三十日 ▲鹿兒島電氣株式會社總會配當八分決定 ▲佛國總選舉政府黨大勝 ▲勃國震災被害者二十九萬人

五月

一日 ▲帝國議會更に三日間停會 ▲上田溫泉電軌株式會社全線開通 ▲第九回マイデー無事終了

二日 ▲神戸鐵道局を大阪鐵道局と改稱村上義一氏大阪鐵道局長

三日 ▲鈴木内相辭表呈出 ▲濟南にて日支兵衝突交戦 ▲大阪電氣商工組合總會を中央電氣俱樂部に於て開會組合長齋野與太郎氏副組合長松本達太郎氏當選

四日 ▲停會明けの帝國議會開會 ▲第二次次山東出兵崩潰決定

五日 ▲追加豫算案衆議院通過

六日 ▲第五十五回帝國議會内閣不信任案審議未了の儘閉會

七日 ▲帝國議會閉院式を行はせらる ▲濟南日支兵再交戦

八日 ▲財團法人電氣學會、電信電話學會、照明學會三學會聯合會を四日間（附近見學共）仙臺市に開く ▲文部省令明治專門學校規則中入學資格改正官報公布 ▲日本銀行特別融通切貸出總額六億八千萬圓

九日 ▲第三師團動員令下る ▲鐵道省左傾從業員六名罷首

十日 ▲社団法人電氣協會第七回定時總會を三日間仙臺市に開會（附近視察共）

十一日 ▲日本軍濟南城占領軍事行動一段落を告ぐ ▲第二次第三次我が出兵費千八百七十萬圓支出決定

十二日 ▲暴支膺懲國民大會各地に催さる

十三日 ▲農事電化協會總會を電氣俱樂部に開催山本農相外數名演説

十四日 ▲手形交換所大會開催三土藏相井上日本銀行總裁演説 ▲東京市神田區學士會館落成

十五日 ▲日本動力協會第一回總會を日本工業俱樂部に開催 ▲大同電氣株式會社臨時總會を電氣俱樂部に開き新設の神奈川電球株式會社に合併の件可決 ▲電氣事業主任技術者資格檢定試驗第二次試驗日時八月二十日より二十五日迄官報發表

十六日 ▲東京電燈株式會社臨時總會を日本工業俱樂部に於て開催松永安左衛門宮口竹雄兩氏取締役に就任 ▲日本電力株式會社東京出張所を重役直屬とし職制變更 ▲帝國鐵道協會増築竣工并創立三十年祝賀會を同會館に催す ▲全國經濟團體會議對支決議を發表す ▲滿洲治安に對し帝國政府南北兩軍に覺書を交付す

十七日 ▲安海軍大將以下海軍の巨頭異動内務次官潮惠之輔氏任命 ▲廣島電氣株式會社臨時總會を開き三千八百四十三萬圓を六千萬圓に増資并一千万圓の社債重役に一任の件決定

十八日 ▲東京電燈株式會社臨時總會を日本工業俱樂部に於て開催松永安左衛門宮口竹雄兩氏取締役に就任 ▲日本電力株式會社東京出張所を重役直屬とし職制變更 ▲帝國鐵道協會増築竣工并創立三十年祝賀會を同會館に催す ▲全國經濟團體會議對支決議を發表す ▲滿洲治安に對し帝國政府南北兩軍に覺書を交付す

十九日 ▲大禮記念國產振興東京博覽會授賞式 ▲動員令下りて第三師團主力出發

二十日 ▲東京中央放送局新編放送所及大阪中央放送局千里山放送所開所式十キロ放送會開始 ▲帝國鐵道協會第二十五回定時總會開催

二十一日 ▲逓信省にて各逓信局電氣課長會議を開き電氣普及方策其他を議す ▲山東軍事郵便開始 ▲東京地方強震

二十二日 ▲松阪鐵道株式會社創立總會を電氣株式會社に合併の件可決 ▲電氣事業主任技術者資格檢定試驗第二次試驗日時八月二十日より二十五日迄官報發表

八五

俱樂部に開會社長渡邊新一事務伊藤五郎兩氏就任

二十三日 ▲久原房之助氏通信大臣翌月主介氏(通信大臣)内務大臣任命 ▲統計局發表日本國貨千二百三億圓

二十四日 ▲聖上陛下東京灣要塞御視察 ▲朝鮮電氣協會三日間同地にて開會

二十五日 ▲兩陛下多摩陵御親拜あらせらる ▲久原通相入閣反對の水野文相遂に辭職野田主計氏後任文相 ▲地方長官異動 ▲電氣協會臨時理事會を開き井上登太郎氏を常務理事に選任 ▲日本無線電氣株式會社第五回總會を日本工業俱樂部に開き七分二厘配當可決

二十六日 ▲東京電燈の外債成立 ▲川崎造船所定時總會を神戸本社に開會松方社長辭任及整理案を議す ▲札幌放送局試驗放送開始 ▲名古屋鐵道株式會社々々長上遠野富之助氏逝去 ▲不職條約對米回答交附

二十七日 ▲上野公園國產振興東京博覽會閉會

二十八日 ▲京都電燈株式會社第八十一回總會を公會堂に開會配當一割二分可決

二十九日 ▲電氣俱樂部定時總會開會 ▲第四回商工融資決定

三十日 ▲國際労働會議西シネープに於て開會 ▲東邦電力株式會社定時總會開會松

永安左衛門氏社長就任 ▲久原通相通信官吏練習所第二十回卒業式に臨場演說

三十一日 ▲勅令第一〇一號工業試驗所官制中改正(技師及技手増員)六月一日施行同時に臨時室審研究所官制廢止官報公布 ▲東京市電電車五時間餘停電全市一時運轉中止

六月

一日 ▲通信省電氣局鬼怒川水力電氣株式會社に不買碍子取替改善を命ず ▲福島に於ける水力電氣の創設者元福島電燈常務菅原道明氏逝去 ▲東北地方一帯強震 ▲張作霖氏北京引揚外交團に秩別の挨拶をなす

二日 ▲株式會社青田工業所長青田健氏逝去

三日 ▲新潟電氣株式會社三十周年記念祝賀式を新潟劇場に開會同時に物故社員追悼式を営む ▲故立川勇次郎氏記念碑を岐阜縣養老公園に建設

四日 ▲三大都市電話普通加入區域擴張する ▲滿鐵奉天驛附近に於て張作霖氏乘車特別列車爆破され張作霖氏重傷

五日 ▲札幌放送局本放送開始 ▲四國電力統制會議を四國水力電氣株式會社内に開く ▲社外船員五萬總罷業開始

六日 ▲皇后陛下慈惠會御成 ▲日本動力

協合理事及監事決定

八日 ▲田中首相上野驛にて刺客に襲はる ▲神田銀行取引中止を命ぜらる

九日 ▲スミス大尉南太平洋橫斷飛行機成功 ▲共同生命保險事業禁止を命ぜらる ▲驅逐艦橫支那北軍に砲撃さる

十日 ▲東京、神奈川府縣會議員選舉 ▲蔣介石氏總司令を辭職す

十一日 ▲日本銀行正副總裁更迭 ▲治安維持法改正勅令案閣議決定

十二日 ▲中尾飛行士墜落機體より落下傘にて無事著陸

十三日 ▲久瀨宮殿下臺灣御遺難事件記事解禁 ▲地方長官會議開會 ▲特別融通損失審査會官制公布 ▲共和黨大統領候補フーゾア氏に決定

十四日 ▲東京電燈外債二千四百三十萬圓政府買上決定

十五日 ▲日米間直通無線電信開始 ▲熊本放送局本放送開始 ▲國際労働會議閉會 ▲川村臺灣總督親任式行はせらる ▲早稻田大學電氣科長山本忠興氏和蘭に開催の國際オリンピック選手引引出發

十六日 ▲聖上陛下御田植 ▲高野登山鐵道開通 ▲大阪市債五分利條件成立

十七日 ▲護國寺前直訴犯人圍縛を横さる

七月

一日 ▲皇太后陛下節子姫に賜謁 ▲赤坂離宮附近にて直訴犯人捕はる ▲鹿兒島電氣軌道讀渡終了鹿兒島市營となる

二日 ▲筑波高速度電氣鐵道株式會社創立總會開會社長下坂藤太郎氏事務大塚尙氏就任

三日 ▲東京市電大曲停留所にて電車衝突大破死者二名負傷者多數を出す ▲京成電氣軌道押上淺草間延長反對運動起る附近住民關係官廳に陳情 ▲江之島電氣鐵道會社江之島片瀬間懸垂式架空電車免許 ▲張學良氏東三省保安總司令受諾

四日 ▲大阪市に於て防空演習行はる

五日 ▲富士山開山式同時に富士山頂へ臨時電話及郵便事務取扱所設置

六日 ▲廣島放送局開局式井本放送開始 ▲北樺太石油協定日露假調印

七日 ▲關西實業家成長會を組織す ▲國民政府條約改訂發表

八日 ▲重要輸出品取締規則公布さる

九日 ▲電氣協會關西支部臨時總會開會中

▲大同電氣株式會社労働爭議解決

二十日 ▲仙臺放送局本放送開始 ▲鬼怒川水力電氣株式會社第三十六回總會一割二分配當可決 ▲南滿洲鐵道株式會社總會を丸の内鐵道協會に開き一割配當可決

二十一日 ▲大連京城間直通電話開通 ▲北海道電燈最上電氣兩社各總會を開き合併可決 ▲九州水力電氣株式會社第三十五回總會を東京本社に開き一割配當可決 ▲張作霖氏死去發表

二十二日 ▲松平節子姫米國より歸朝 ▲赤坂離宮に直訴犯人出づ ▲京成電氣軌道株式會社總會開會一割配當可決 ▲航空隊二機墜落平栗岡中尉慘死

二十三日 ▲通信省令第三一號電話特別開通規則中(設備費に關する件)改正即日施行公布 ▲航空輸送會社長西野氏に決定 ▲信越電力八分配當函館水電一割配當富士電力八分配當各總會を開き可決 ▲山形高等學校同盟休校

二十四日 ▲米國新不戰條約覺書を佛國に送る ▲北極探検ノビレ少將遭難二十九日に救はる

二十五日 ▲昭和三年度特別開通電話募集受付開始 ▲勅令第一二三號同一三六號を以て海軍機關學校海軍工機學校令改正六月二

日誌

十三日施行の件公布 ▲電氣化學工業八分配當一千萬圓以内社債募集、東京電燈八分配當東京地下鐵道八分一厘配當各總會にて可決 ▲佛國金本位復舊 ▲米國第二次不戰條約提示

二十六日 ▲大同電力會社十八回總會を開き尾三電力會社合併、社債二千萬圓募集、福澤桃介氏社長辭任増田次郎氏社長に太田光熙村瀬米一兩氏副社長に就任決定 ▲東邦電力會社八分配當、社債千五百萬圓募集 ▲天龍川電力會社々々長福澤桃介氏辭任福澤胸吉氏就任其他決算總會開催決定 ▲關西及九州地方水害

二十七日 ▲東京電氣業組合電氣俱樂部に於て善行動續者表彰式舉行後京濱電氣懇親會を開催 ▲伊那電氣鐵道總會年九分配當重役重任可決 ▲三重合同電氣會社總會朝熊登山鐵道會社合併可決 ▲尾山電力會社總會にて大同電力に合併可決

二十八日 ▲家庭電氣普及會主催の通俗電氣講演會丸の内朝日新聞社樓上に開催 ▲東京市營乘合自動車六線路認可 ▲福密院に於て治安維持法案緊急勅令案大論戰の末漸く通過 ▲民主黨大統領候補スミス氏決定

二十九日 ▲緊急勅令治安維持法公布 ▲東京渡邊銀行破産宣告 ▲熊本地方水害 ▲朝

中央電氣俱樂部新築の件に付議了
 十一日 ▲我が太平洋横断飛行一年延期決定
 十二日 ▲勅令第一四三號製鐵所官制中改正
 (參事技師等増員)公布 ▲鐵道改良計畫決
 定發表
 十三日 ▲京成電車市内乗入市會を通過し同
 時に革新會分裂す ▲日本不動産協會設立
 決定
 十四日 ▲聖上皇后兩陛下葉山に御遊幸 ▲大
 藏省各省豫算査定開始 ▲銀行土曜半休實
 施 ▲勅令第一四四號陸軍部内平時定員改
 正勅令第一四五號陸軍技術會議令中改正公
 布 ▲關東廳令第二七號親子高電氣使用規
 則中改正(料金其他)七月一日より施行の件
 發表
 十五日 ▲電氣看板技藝展覽會日比谷公園に
 於て開催
 十六日 ▲東京市電千住大橋荒川放水路間延
 長線開通 ▲古河電氣工業技師長高橋本技
 師歸朝
 十七日 ▲東京府會正副議長選舉終了
 十八日 ▲支那南北妥協略成立す
 十九日 ▲建築設備研究會をマツダ照明學校
 内に開く ▲古河電氣工業社長中川末吉氏
 歐洲に向て出發 ▲林總領事張學良氏を訪
 問南北妥協反對警告
 二十日 ▲國民政府日支條約廢棄通告 ▲土
 用入
 二十一日 ▲筑後電氣軌道常務治土東氏逝去
 ▲無産大衆黨結黨式舉行
 二十二日 ▲姫川電力株式會社創立總會を東京
 會館に開き社長田邊七六氏選任 ▲貴族院各
 派對支外交共同調査會設置決定
 二十四日 ▲英米駐劄大使及外務次官更迭 ▲
 富士裾野にて實彈演習中の重砲身破壊死傷
 者九名
 二十六日 ▲萬國工業會議總裁に秩父宮殿下奉
 戴式を丸の内工業俱樂部にて舉行
 二十七日 ▲富山電氣と需用家側電燈料金値下
 の爭議起る ▲米支新關稅條約成立す
 二十八日 ▲和蘭アムステルダムに於て世界オ
 リムピック大會開會 ▲汪公使田中首相を
 訪問 ▲林權助男奉天行
 二十九日 ▲東京に於て暴力團檢舉開始
 三十日 ▲逓信省令第三四號新聞通信社專用
 寫眞電信規則公布即日施行 ▲富士山大荒
 れ
 三十一日 ▲米政府對支條約改訂拒絕回答 ▲
 松島事件控訴判決 ▲畿風來各地被害多大
 ▲大體使典儀官發表 ▲大藏省金融制度調
 査準備委員會を開き休業銀行整理法を審議
 す
 一日 ▲宇治川電氣鐵道部兵庫姫路間直通
 運轉開始 ▲東京地下鐵道株式會社臨時總
 會社債五百萬圓可決 ▲東京市電研究所主
 催夏季電氣展覽會開催 ▲床次氏民政黨脫
 黨新黨樹立聲明 ▲荒川第一帶増水被害
 ▲經濟審議會官制閣議決定
 二日 ▲三重合同電氣株式會社臨時總會社
 債一千萬圓の件其他可決 ▲大阪電氣同業
 組合設立發起認可 ▲新潟縣五泉町六百餘
 戸焼失罹災者三千新發田縣隊より出動救助
 三日 ▲朝鮮總督府令第四七號朝鮮私設鐵
 道令施行規則中改正公布(認可申請、變更
 許可申請の件)
 四日 ▲資本金五十萬圓慶北水力電氣株式
 會社創立總會を大邱に開會定款及重役決定
 社長大須賀哲次郎氏事務弘中良一氏就任
 五日 ▲燃料調査委員會を商相官邸に開く
 ▲陸軍電信電話に多年從事の元陸軍技師原
 彌吉氏逝去
 六日 ▲東京電燈職制再改制人事異動 ▲
 大雄銅業鐵道(神奈川縣)中勢鐵道(三重縣)
 熱海銅業電氣鐵道(靜岡縣)鐵道敷設免許狀
 下付 ▲京城電氣料金値下認可現行より約
 二割四分 ▲濟南戰死論功行賞發表
 七日 ▲帝國對支回答文公表 ▲林權助男

張學良を説く ▲所澤飛行機墜落沼田伍長
 慘死
 九日 鐵道省電氣局關係電力節約につき協
 議會を開く ▲東京中央放送局本日より官
 廳ニユース放送 ▲印旛電氣鐵道(千葉)建
 設費三百萬圓鐵道敷設免狀下附 ▲不職條
 約全權内田伯出發 ▲張學良氏林男を訪問
 南北妥協決意表明
 十日 ▲日本電氣會社丹羽博士發明寫眞電
 送機東京大阪間電送試驗成功 ▲電氣協會
 關西支部委員會電算課稅反對運動方法協議
 をなす ▲昭和電力會社總會開會定款變更
 及重役決定代表取締役近藤茂氏就任 ▲阪
 神急行電鐵神戸線六日の難殺事件五千圓弔
 慰金にて解決 ▲陸軍大異動發表 ▲南京
 にて支那全國交通會議開催
 十一日 ▲東邦電力會社臨時總會社債二千萬
 圓可決 ▲商工省宇治山田商工會議所新設
 認可決定 ▲フーゲーア氏政綱發表 ▲檢
 事局板倉權問題手入 ▲東京市社會局長御
 厨規三氏依願免官廣瀬直幹氏同局長に任命
 十二日 ▲帝都開黒化除謀の殘黨西部某外密
 囑中檢東除謀根底より覆さる
 十三日 ▲各省新事業査定開始 ▲東京高等
 工業學校電氣科長山本眞氏論學提出理學博
 士授與 ▲富山電氣の料金値下爭議需用者
 側三割五分値下説を讀らず知事の調停決裂
 ▲日本電力が小田原電鐵と合併の事業中鐵
 道ケーブル自動車土地建物温泉經營業を分
 離五百萬圓拂込の箱根登山鐵道株式會社設
 立社長池尾芳藏氏就任
 十四日 ▲逓信省にて電氣事業根本調査會開
 催企業形態問題の意見交換 ▲富山縣知事
 富山電氣會社へ斷線の需用家に點燈命令電
 球返納石油ランプ使用の需用家に點燈方懸
 論 ▲電燈料金値下問題各地に飛火
 十五日 ▲逓信省選相以下關係官集會電氣事
 業委員會設置に付談話 ▲東京中央電話局
 にて電話特別開通抽籤 ▲東京實業組合聯
 合會商工省の組合法案に反對可決 ▲支那
 全體會議終了國民政府最高機關決定
 十六日 ▲萬國照明會議參列のため照明學會
 長本野亨氏米國に向て出發 ▲東京市疑獄
 板倉問題より京成電車乗入問題に及ぶ ▲
 盛岡電燈會社技師長日野杉耕造氏逝去 ▲
 勸業銀行職制改革人事異動
 十七日 ▲勅令第一九八號朝鮮總督府逓信官
 署官制中改正勅令第一九九號關東廳逓信官
 署官制中改正公布 ▲逓信省明年度逓信收
 入豫算決定 ▲九州全送電連絡技術關係者
 會議を熊本逓信局に開く ▲東京市電内定
 の電車値上打切に決定 ▲獨支關稅協定成
 立 ▲旭日生命解散命令
 十八日 ▲阪神電鐵臨時總會社債千五百萬圓
 可決 ▲神田銀行破産宣告
 十九日 ▲富山電氣爭議知事調停案約一割三
 分の値下にて解決
 二十日 ▲東京市臨時電氣事業調查會市營業
 合自動車擴張案可決 ▲東信電氣會社臨時
 總會昭和肥料會社設立投資社債一千萬圓其
 他可決 ▲芝浦製作所新職制制定職員大異
 動 ▲臺灣電力株式會社理事大越大藏氏逝
 去
 二十一日 ▲四年度以降省線電化線決定 ▲電
 氣協會理事會富山電氣爭議其他を議す
 二十二日 ▲電氣協會渡邊會長安川塚田兩副會
 長井上常務理事逓信省訪問富山電氣料金値
 下爭議につき陳情
 二十三日 ▲勅令第二〇一號逓信省官制中改正
 同第二〇二號電氣試驗所官制中改正其他逓
 信局官制及逓信官署官制改正公布 ▲奈良
 天理教研究會不敬事件解禁發表 ▲日米仲
 裁條約十ヶ年期間満了
 二十四日 ▲勅令第二一〇號國產振興委員會官
 制改正公布 ▲富士山初雪
 二十五日 ▲逓信省令三九號電報規則(日本無
 線電氣會社發受電報の件)改正公布 ▲大
 阪郊外電燈料金値下京阪電鐵、大阪電軌、南

海鐵道、阪神急行四社協定發表 ▲信越電力臨時總會東北電力、關東水電合併契約承認其他社債の件可決

二十六日 ▲電氣學會関西支部通俗講演會を高山大師堂に開催 ▲鬼怒川電力會社取締役役川田慶氏逝去 ▲浦松佐美太郎氏アルプス最峻峰征服

二十七日 ▲不戦條約巴里にて調印十五ヶ國全權正文に署名日本代表内田康哉氏 ▲東京實業聯合會組合法改正反對實行委員會を開く ▲高田商會常務理事西崎醇夫氏逝去 ▲臺灣電力會社第十八回總會臺北に開會六分配當可決 ▲逕信省電氣事業根本調査會を開く

二十九日 ▲四年度鐵道新線決定 ▲大阪電話同業組合成る ▲九州共產黨員有罪決定

三十日 ▲日本動力協會社団法人設立認可に付臨時總會を開く ▲日本電力會社臨時總會相武電力合併及社債等可決 ▲郵便年金運用規則公布 ▲西日本暴風雨 ▲文官任用令、試験令改正案閣議決定 ▲長野縣小諸の東信電氣第一發電所貯水池堤防決潰八戸流失死者數十名

九 月

一日 ▲秩父宮殿下松平節子姫御婚儀 二

十八日 御式御舉行決定 ▲鎮夫勞役扶助規則(在坑十時間、十六歳未満坑夫及女子坑内作業禁止及深夜業廢止)昭和五年九月一日實施公布 ▲關東震災五周年記念日午前十一時五十八分東京市電車停車、神社寺院太鼓鐘工場船舶は汽笛一般市民祈念、各所法會講演を催す ▲電氣俱樂部例年の如く大震災記念午餐會開催 ▲大阪市營高速鐵道案附議決定 ▲始頁電氣興業株式會社臨時總會加治木電氣會社合併可決

二 日 ▲東京市内各所に落雷王子町變壓器破壊王子瀧の川一帯停電 ▲佛國商務長官モリス便乘飛行機墜落同乗一行焼死

三 日 ▲ジュネーブ第九回國際聯盟總會開催四十餘ヶ國代表二百餘名會合 ▲鮮滿及臺灣を新に加へたる第五回連絡運輸會議を朝鮮鐵道局に開く

四 日 ▲五五電氣鐵道會社琵琶湖鐵道汽船と合併假調印済

六 日 ▲勸令第二二四號經濟審議會官制公布 ▲經濟審議會々々長田中首相副會長中橋商相山本農相委員山本宗太郎氏外任命 ▲日本鋼管富士製鋼釜石鐵山東京鋼材大阪製鐵神戸製鋼住友製鋼小倉製鋼代表者大阪俱樂部に參集原料共同購買の製鋼共同購買會創設 ▲阪神大博覽會を阪神沿線甲子園に

七 日 ▲鐵道省告示一九一號國有鐵道旅客及荷物運輸規則改正(定期乘車券二等及三等十二ヶ月分値上)昭和三年十月十日施行公布 ▲電氣事業根本調査會を逕信省に開き料金、區域、資金等につき協議明日も引續開催 ▲關西急速度電氣軌道株式會社資本金八千三百萬圓敷設申請を京都府知事に提出 ▲高岡電燈株式會社富山電氣と同率値下斷行聲明書發表 ▲大阪中央放送局理事會に於て四部制を廢し總務、放送、技術の三部制に改定 ▲多年通信技師たりし屋井乾電池合資會社支配人兒島牛五郎氏逝去

九 日 ▲滋澤子爵米壽放生會宮城前御蔭に鯉二萬五千尾を放つ

十 日 ▲社団法人日本放送協會關東支部加入二十五萬圓突破祝賀會を東京會館に開く

十一 日 ▲越後鐵道買收公債一千二百四十一萬圓交付官報公布 ▲資本一億圓滿鐵信託株式會社設立關東廳より認可

十二 日 ▲富山電氣株式會社臨時總會開會電氣料金値下報告并中越水電合併其他可決 ▲シーエー會社實驗室にてラヂオテレビ

本日より開催第一會場十七萬坪、第二會場九千坪 ▲宮崎電氣鐵道株式會社創立總會開催社長大野正太專務竹崎健助支配人日高清一の諸氏就任

九〇

ヨシ成功と組育特電

十三日 ▲逕信省令第四四號無線電話通話規則同四五號私設無線電信規則公衆取扱規則改正公布 ▲漢冶萍公司へ債權四千萬圓確保の對策に付陸海軍商工大藏外務の關係官外務省に參集協議 ▲東京商工會議所役員會に於て奢侈關稅十割の改正案を議す奢侈の二字削除最高八割大部分五割程度可決 ▲午前八時中省線發の電車千駄ヶ谷町にて脱線死傷者四人

十四日 ▲天皇皇后兩陛下那須御用邸より還御宮城に入御 ▲秩父宮殿下御婚儀最初の御納采の儀行はせらる

十五日 ▲御大禮御儀式時日決定非公式に發表さる賢所大前の儀十一月十日 ▲晒粉聯合會委員會を堺市に開く晒粉限產措置賣値引上決定

十六日 ▲熊本放送局と有線連絡の福岡演奏所開所式を福岡公會堂に舉行 ▲青森縣電氣協會總會を八戸町に開催

十七日 ▲松平節子姫勢津子と改名 ▲全國主要都市實業組合聯合會有力團體代表者日本工業俱樂部に會合同業組合法改正條項決議意見書提出を決定 ▲京成電氣軌道社長市内乘入案漏賄の嫌疑にて召喚 ▲關西急速度電氣發起人會を京都商工會議所に開

十八日 經濟審議會第一回總會を首相官邸に開き重要政策諮問案を議す

十九日 ▲商工審議會委員會を首相官邸に開會卸賣と小賣價段の開き縮小日常生活簡易合理化消費の無駄其他重要事項提議 ▲太田光熙氏大阪實業家六十餘名小川鐵相を招き懇談會を催す

二十日 ▲全國勞働爭議調停主任官會議を社會局會議室に開く ▲京都市主催大禮記念京都大博覽會開催 ▲長野電燈株式會社臨時總會開會八百四十五萬圓を増資總資本一千六百萬圓可決

二十一日 ▲天皇陛下今春竣成新設備の廊布三聯隊兵會御遊覽遊ばさる ▲東京鐵道局運輸委員會開會貨物運賃等級改正案審議 ▲日本不動産協會總會を東京銀行集會所に開き不動産取引株式會社設立案不動産抵當債權保證讓渡證券案可決

二十二日 ▲電氣協會理事會常設調査機關設立決定 ▲東京電氣業組合主催の故菅原綱氏追悼會を電氣俱樂部に催す ▲越佐電氣協會を新潟水力電氣株式會社内に開催

二十四日 ▲東京山手急行電鐵會社創立總會開會社長利光鶴松氏就任 ▲青森急行列車と金ヶ崎南方にて飛行聯隊自動車衝突兵士

一名即死重傷二十名 ▲日本埃及間無線電信開始

二十五日 ▲行政制度審議會幹事會首相官邸に開會恩給制度其他を議す ▲大阪電氣同業組合創立總會開會定款其他議了組長熊野與太郎氏副組長松本龜太郎神田善三郎大野正五郎氏決定 ▲東京瓦斯株式會社社外供給瓦斯料金引下認可 ▲石炭鑛業聯合理事會開催現行送炭制限に付協議

二十六日 ▲鐵道省保健課御大典に付東京縣其他の空氣検査をなし引續き東海道沿線各驛の検査執行 ▲陸軍大將大島久直氏逝去 ▲資本金四百萬圓滋谷吉祥寺間九哩の滋谷急行電鐵事業逕信省より許可

二十七日 ▲東京電燈株式會社と鐵道省の電力賣買契約九月末日滿了更に十月より一ヶ年省一キロワット時二錢四厘にて契約決定 ▲前京都市長法學博士市村光惠氏逝去 ▲大阪府下工業用電燈電力値下期同盟會代表者大阪府及逕信局に出頭値下の件陳情

二十八日 ▲秩父宮殿下松平勢津子姫の御婚儀を擧げさせらる ▲御婚儀奉祝燈行列其他滿都奉祝の歡聲に充つ ▲臺灣電力株式會社第十八回總會を臺北に開く配當六分可決

二十九日 ▲滿鐵の疏安事業認可 ▲電氣協會

九一

東京工手養成所委託生第一回卒業式を東京
保善工業學校に擧ぐ

三十日 ▲日本動力協會設立認可に付創立總會を電氣俱樂部に開會夕より東京會館に右披露の宴を張る ▲日本電力株式會社臨時總會を開き相武電力合併社債二千五百萬圓募集其他可決 ▲東邦電力株式會社奈良區城電燈定額料十月一日より従量は十一月より値下發表 ▲川崎造船所資金三百萬圓低資融通案神戸市會に提案

十月

一日 ▲聖上陛下東京地方裁判所新陪審法廷に親臨遊ばさる ▲陪審法實施 ▲滋澤子爵米壽祝賀會帝劇内にて開催 ▲獨逸造船工五萬人罷業 ▲太平洋ロータリー大會を帝國ホテルに開催 ▲日本放送協會關西支部職制改正人事異動 ▲大阪市主催大禮奉祝交通電氣博覽會開會式を大阪天王寺公園第一會場にて舉行

二日 ▲高松宮殿下遠洋航海より御歸朝遊ばさる ▲陸上運送監督權を逕信省より鐵道省に移管の件閣議にて決定

三日 ▲大藏省豫算會議を逕相官邸に開く ▲東京外五大市長會議を開き軌道乘入其他協議

四日 ▲東北に行はる、陸軍特別大演習のため大元帥陛下盛岡へ行幸

五日 ▲鐵道省と東京電燈との電力供給契約正式調印済 ▲岡山縣中國合同電氣、山陽中央水力電氣岡山電燈三社一月一日より料金値下實施發表 ▲關直彦氏外數名發起京濱無軌道電車株式會社設立出願 ▲放送協會關東支部主催ラヂオ中央講習日本青年會館にて開催

六日 ▲通信省電氣局電氣事業法改正案決定 ▲暴風雨東京を襲ふ

七日 ▲阪神電鐵大株主會にて一億圓に増資決定 ▲大阪府下工業組合大會を府立實業會館に開催

八日 ▲東京電燈、東邦電力、日本電力、宇治川電氣、大同電力五社共同の電力會議成立

九日 ▲大元帥陛下 東北より還幸 ▲復興局工政會員を學士會館に招き復興事業説明

十日 ▲御大禮用 御召列車正式試運轉 ▲宮城縣對仙臺市電との供給權讓渡契約成立

十一日 ▲鐵道省多年勤続者表彰式舉行 ▲早稻田大學理工學部二十周年記念式を舉行

十二日 ▲省線橫濱驛竣工 ▲山梨高等工業學校開校式舉行

十三日 ▲商工審議會總會を東京商工會議所に開く

十四日 ▲舊大阪電燈社長現大同電力副社長宮崎敬介氏逝去享年六十三 ▲新任駐米大使出淵勝次氏ワシントン着

十五日 ▲八幡市商工會議所設立認可 ▲訪日獨逸機織霧のため東京市外矢口附近に着陸 ▲都市美觀を保つため俗惡廣告取締規則決定即日施行 ▲學習院開校五十年記念祝典舉行 ▲季節外れの颪風來る

十六日 ▲矢田總領事支那王正廷氏と會見日支交渉開始 ▲支那國民政府列國に治外法權擴張要求 ▲電氣協會關東支部總會第一日部會を電氣俱樂部に開催

十七日 ▲電氣協會關東支部總會第二日目支部長に青木正太郎氏就任 ▲電氣協會東北支部總會を仙臺市に開會支部長金田一國士氏當選 ▲日本學術協會第四回大會を九州帝國大學に開く ▲日本の國富一千二十三億圓と統計局長發表 ▲羽田沖水雷發射訓練中驅逐艦磯波の第四水雷艇沈没す

十八日 ▲昭和肥料株式會社創立會を東京に開き重役決定す ▲日本産業協會を華族會館に開催産業貿易功勞者表彰式舉行受賞者八十二名

二十四日 ▲電氣協會と日本動力協會の電力統制委員會聯合協議會を電氣俱樂部に開く ▲信託協會東西聯合理事會を開き擔保附社債信託法改善決定當局に建議 ▲御大典放送に付マイクローフォン設置場所二重橋前丸ビル内其他に設置許可

二十五日 ▲阪神電鐵總會一割三分配當、大阪電軌總會一割二分配當、大同電力總會尾三電力合併及三百萬圓増資、阪神急行電鐵總會重役選舉 ▲福澤桃介翁叙勳祝賀并業界引退の慰勞宴を東京會館に催す ▲北海道稚内大火七百戸焼失

二十六日 ▲不職條約調印式に列せる内田伯歸朝 ▲東京市會財政計畫案を議す ▲九州水力電氣社長森村開作氏辭任麻生太吉氏後任に決定 ▲矢作水方總會一割三分配當、熊本電氣總會一割二分配當可決 ▲渡邊修氏發起の電氣製造業者東西懇談會を工業俱樂部に開く日立、富士電機、三菱電機、芝浦製作、電業社、明電會、小穴、小田、安川、黒崎、川北其他主なる電機業代表者會合

二十七日 ▲豫算閣議始まる ▲東信電氣總會一割二分配當、日本電力總會九割配當可決

二十九日 ▲家庭電氣普及總會々長後藤新平伯重任副會長中原若三郎氏就任

三十日 ▲臺灣電氣事業法施行令公布 ▲豫算閣議終了明年度豫算概算十七億五千二百萬圓 ▲鹿兒島電氣總會八分配當可決

三十一日 ▲新年の勅題「田家朝」 ▲宮城縣臨時縣會を開き同縣下の電氣事業買収案を附議決定買収のため起債九百八十二萬七千圓

十一月

一日 ▲東京神戸間電話ケーブル完成 ▲第五十六議會十二月二十四日と決定詔書公布 ▲英國殖民省ゴム輸出制限撤廢 ▲ドイツ製鐵大爭議惡化す

二日 ▲電氣協會中國支部總會を慶島市に開催 ▲田中駐露大使歸朝 ▲臺南省電牛込驛にて貨物列車に追突重傷者を出す

三日 ▲宮中に於て始めて明治節行はせらる ▲電信舊友會を電氣俱樂部に開催 ▲奥羽地方暴風雨貨車吹き飛ばさる

四日 ▲十月十八日訪日飛行完成のドイツ飛行家ヒューイフルト男一行歸國の途につく

五日 ▲電氣協會九州支部第八回總會門司市に於て開催支部長熊本電氣社長の上田萬平氏當選 ▲帝國飛行協會理事重任と決定

六日 ▲御大禮にて鳳城東京御發名古屋離宮着御 ▲内閣出張所を京都市臨内に設く ▲東京市電の本祝花電車運轉

七日 ▲風聲京都着御 ▲預金部地方資金貸付規定各關係方面に通牒 ▲米國大統領共和黨のハイバート・フーズアト氏當選 ▲官廳用無線電信電話規則、放送用私設無線電話規則改正公布

八日 ▲賢所大前の儀並に紫雲殿の儀を行はさせ給ふ ▲授爵叙勳の恩命あり又恩赦の大詔煥發 ▲上毛電氣鐵道開通

九日 ▲監紀御神樂の儀 ▲叙勳恩命の電氣關係者若尾璋八氏外三十餘名

十日 ▲三池炭礦爆發重傷一名

十一日 ▲關西銀行大會開催三土藏相并に土方日銀總裁の演説ありたり

十二日 ▲大嘗祭の御儀

十三日 ▲奈良電氣鐵道開通

十四日 ▲大嘗第一日の御儀

十五日 ▲大嘗第二日の御儀 ▲明電會重宗社長外西人線授褒章、山下東京商工學校長へ藍綬褒章授與さる

十六日 ▲電氣協會東海支部總會を名古屋商工會議所内に開催

十七日 ▲神宮御親謁の儀 ▲電氣協會關東支部委員聯合會席上中川古河電氣工業社長の米國視察談ありたり ▲米國加州邦人會社組織は米大審院に於て確認さる

十八日 ▲外宮御親謁の儀 ▲光明電鐵開通

二十二日 ▲聖上陛下京都へ還幸 ▲ハーバート天文臺長ハローチヤブレイ教授宇宙の中心が銀河の真中に在ることを發表す

二十三日 ▲神武天皇山陵御親謁の儀 ▲全支對日斷交實行を期すべく行政院全支に命令

▲御所近くの京都同志社大學出火

二十四日 ▲泉山陵御親謁の儀 ▲臺灣電氣事業法及關係法令官報にて公布

二十五日 ▲聖上皇后兩陛下明治天皇山陵に親謁の儀行はせらる ▲長野電氣協會を安曇電氣内に開會 ▲京都に於て全國教育家大會開催

二十六日 ▲聖上皇后兩陛下京都御發聲 ▲天津の排日運動益々深刻

二十七日 ▲聖上皇后兩陛下東京へ還御 ▲會津電力總會三割、京都電燈總會一割二分配當可決

二十八日 ▲濱松高等工業學校教授高柳健次郎氏テレグイジョン發明實驗成功 ▲東邦電力總會一割、北海水力電氣總會九分配當可決 ▲電氣協會關西支部第八回總會を中央俱樂部に開催 ▲電氣事業主任資格檢定口述試驗を行ふ

二十九日 ▲聖上皇后兩陛下多摩陵親謁の儀行せらる ▲古在東京帝大總長病氣辭職小野塚喜平次博士後任當選 ▲關西支部總會二日

十日 日支部長に石川芳次郎氏當選 ▲電氣協會關西支部管内電氣事業從業員第一回表彰式を大阪中央公會堂に舉行 ▲故日本電力社長山岡順太郎氏後任に池尾副社長昇任重役會にて決定

十一日 ▲十一月下旬貿易棉花のため一千五十萬一千圓輸入超過 ▲獨逸鐵鋼罷業益惡化 ▲吾妻川電力當務課長保次氏逝去

十二月

一日 ▲東京電燈會社は關東水力電氣、東信電氣、梓川電氣の三發電所竣工のため合計七萬八千八百キロの電力受電 ▲世界動力會議第一回東京都會役員會を東京會館に開會 ▲チリ大地震建築物倒壊死者二百餘

二日 ▲大體特別製兵式御舉行 ▲熊本大分間橋斷線の豐肥線開通式を熊本縣宮地町に催す

三日 ▲第二富士電力株式會社創立總會を電氣俱樂部に開會取締役會長森村男代表取締役鹿村美久氏に決定 ▲英國皇帝陛下御大患

四日 ▲大體特別製式御舉行 ▲東京市債一千六百萬圓發行認可さる ▲北海道帝國大學盟休擴大す ▲觀艦式陪觀船甲板落ち三十餘名重傷を負ふ

五日 十一月二十八日執行の電氣事業主任資格檢定口述試驗の第一種第二種合格者發表

六日 ▲六大都市市會議長會議京都にて開催 ▲米國大使チャイルス・マクヴェ氏歸朝 ▲國際勞動局長アルベール・トーマス氏一行着京す

七日 ▲宮中御慶宴第一日 ▲落石無線電信局根室受信所類焼 ▲東北地方大吹雪三四尺秋田山形兩管内列車一時間運延 ▲日華實業協會幹事會開催支那の等差稅實施の通告對策を協議 ▲北平反日會日本紙幣禁止決議

八日 ▲第三回國際電波會議へ出席の長岡博士歸朝 ▲國際勞動協會年次大會を學士會館に開會トーマス氏出席

九日 ▲昭和四年二月一日より實施の支那の新關稅內容發表品種二、總品目七一八

十一日 ▲東京電燈會社に大同、東邦、宇治川、日本、東電五大會社代表者電力會議を開く ▲七日渡支せる床次氏蔭介石氏と會見

十二日 ▲首相官邸に大體奉祝大夜會開かる ▲御大體に際し階級位級勳賞褒賞下賜の恩命に浴せる電氣關係者四十九名のため電氣俱樂部に電氣協會外八團體主催の祝賀會を

催す ▲東京中央放送局技師長北村政次郎氏海外視察の送別會を學子會館に開催 ▲秋田縣電氣協會第十四回總會を秋田市に開催

十三日 ▲東京市御大體奉祝會 兩陛下行幸啓

十五日 ▲東信電氣阿賀野川第一發電所竣工式を新潟縣東蒲原郡鹿瀬村に於て舉行廣岡通信政務次官以下六百名出席 ▲著手後十三ヶ年間工費二千三百一十一萬三千圓岡山米子間の伯備線全通式を新見町に舉行

▲宮崎市民校舎移轉反對のため二千餘縣廳に殺到更に放水破壊

十六日 ▲福島縣下の百七銀行休業 ▲東京瓦斯株式會社從業員罷業起る

十七日 ▲鐵道省豫算會議を開き明年度以降鐵道財政計畫決定 ▲王子電氣軌道株式會社總會一割一分配當、重役再任決定

十八日 ▲熊本電氣株式會社料金値下一月一日より實施發表 ▲東京瓦斯從業員爭議解決 ▲駐日獨逸大使ゾルフ博士歸朝

十九日 ▲出雲電氣總會一割二分配當可決 ▲英支關稅條約正式調印

二十日 明年度豫算內示會 ▲英國正式に支那國民政府に國書を捧呈す

二十一日 ▲筑波高速鐵道東京乘入(上野公園

下開鑿通過)委員會にて承認決定 ▲資源審議會特別委員會を首相官邸に開き資源統制運用計畫に關し審議 ▲大阪市電車堂佐伯重吉氏退職手當金一千圓を社會事業に寄附申出づ ▲内務大臣東京市會に解散を命ず ▲北海道釧路炭坑火災起り坑夫六十餘生死不明

二十二日 ▲九州水力電氣會社一割配當可決 ▲東三省交通委員會の名に依り東支鐵道經營電話局支那に回收ハルビン電話局を改稱ロシア側同鐵道幹部反對す ▲國際勞動局長アルベール・トーマス氏歸京

二十三日 ▲第五六回帝國議會召集さる ▲日本最初の勞資協定たる東京製鋼會社勞資協定成る

二十四日 ▲富士電力、東京地下鐵道各總會八分配當可決、東京發電(舊稱信越電力)八分配當及東北電力、關東水電合併報告 ▲英國皇帝陛下御病狀御輕快

二十五日 ▲大正天皇二周年祭御執行 ▲渡支中の床次氏一行歸京

二十六日 ▲第五十六議會開院式を行はせらる ▲直訴犯人現はる

二十七日 ▲目黒蒲田電車從業員爭議起る ▲九州水力社長麻生太吉氏更替褒賞下賜

二十八日 ▲大使使團關係官恩賞授式 ▲駐英大使砂平恒雄氏出發 ▲南海鐵道會社取締役大塚惟明氏逝去

二十九日 ▲萬國工業會議出席の加茂博士の談話會鐵道協會に開催 ▲露國政府東支鐵道電話回收事件に對し支那へ抗議 ▲東三省國民政府に屬し白日旗奉天全街に掲げらる ▲駐日ドイツ大使エルンスト・アルツル・フォレツ博士家族同伴着任 ▲トーマス氏歸國の途につく

三十一日 ▲宮中に於て除夜祭執行 ▲日銀帳尻兌換券發行高十七億七千三百七十餘萬圓貸出九億一千八百六十七萬餘圓